

**戸田市**

**子ども・子育て支援事業に関する  
ニーズ調査報告書**

**平成 26 年 3 月**

**戸田市**



# 目 次

<b>第1章 調査実施の概要</b> .....	<b>3</b>
1 調査の目的 .....	3
2 調査の設計 .....	3
(1) 調査票の種類と調査対象者等 .....	3
3 調査の実施方法と配布・回収状況 .....	3
(1) 調査時期と調査方法 .....	3
(2) 調査の配布・回収状況 .....	4
4 報告書の見方について .....	4
(1) 年齢・学年の定義 .....	4
(2) 電算処理の注意点 .....	4
(3) グラフの見方について .....	4
5 調査対象者の属性・家族状況.....	6
(1) 就学前児童の属性 .....	6
(2) 小学校児童の属性 .....	6
(3) 居住地域の状況 .....	7
(4) 調査回答者の状況と配偶者有無 .....	8
<b>第2章 子育て家庭を取り巻く環境</b> .....	<b>11</b>
1 子育ての環境について .....	11
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況 .....	11
(2) 子育てに関する相談者の状況 .....	14
2 保護者の就労状況 .....	16
(1) 母親の就労状況 .....	16
(2) 父親の就労状況 .....	22
<b>第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望</b> .....	<b>31</b>
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望.....	31
(1) 平日の定期的な教育・保育事業（全体） .....	31
(2) 幼稚園 .....	35
(3) 幼稚園の預かり保育 .....	38
(4) 認可保育所 .....	41
(5) 事業所内保育施設 .....	44
(6) 家庭保育室・ナースリールーム .....	47
(7) その他認可外保育施設 .....	50
(8) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由 .....	53
(9) 休日の教育・保育事業の利用意向 .....	54
(10) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ .....	59
2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向 .....	64
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について .....	64
(2) 不定期の一時保育の利用について .....	66
(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について .....	71
3 放課後の過ごし方について .....	73
(1) 平日の放課後の過ごし方について .....	73
(2) 土曜・休日の学童保育室利用について .....	79

(3) 長期休暇期間中の学童保育室利用について .....	82
4 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について .....	84
<b>第4章 育児休業制度の利用状況 .....</b>	<b>87</b>
1 育児休業制度の利用状況 .....	87
2 地域の子育て支援の環境や支援への満足度 .....	95
<b>第5章 自由記述 .....</b>	<b>99</b>
<b>資料編</b>	
1 「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査票」の見本 .....	107

# 第 1 章

## 調査実施の概要



## 第1章 調査実施の概要

### 1 調査の目的

平成24年8月に、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする「子ども・子育て支援法」が成立し、新しい「子ども・子育て支援制度」が施行されます。

そのため、戸田市においても、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育ての意義を踏まえて、今後5年間の事業計画を作成することになりました。このような状況により、事業計画の策定に必要な情報を得るため、子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的としたアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

### 2 調査の設計

#### (1) 調査票の種類と調査対象者等

調査対象者別の調査内容は、以下のとおりです。

図表 1.1 調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（就学前児童用）」	
調査対象者	就学前児童を持つ保護者
調査件数	2,500件
調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、育児休業の現状・利用意向に関する設問
②調査票「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（小学生用）」	
調査対象者	小学校児童を持つ保護者
調査件数	1,500件
調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、放課後の過ごし方に対する希望に関する設問

### 3 調査の実施方法と配布・回収状況

#### (1) 調査時期と調査方法

子ども・子育て支援ニーズ調査は、平成25年10月15日～10月31日にかけて実施しました。

「就学前児童の保護者」「小学校児童の保護者」とともに郵送方式により調査票を配布・回収しました。

## (2) 調査の配布・回収状況

図表 1.2 調査票の配布・回収状況

調査対象者区分	就学前児童の保護者			小学校児童の保護者		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
市全域	2,500人	1,090人	43.6%	1,500人	659人	43.9%

## 4 報告書の見方について

国資料は「就学前児童」と「就学児童」の名称を使用していますが、この報告書では違いを明確にするため、「就学児童」を「小学校児童」と表記しています。

### (1) 年齢・学年の定義

図表 1.3 ニーズ調査における年齢・学年定義

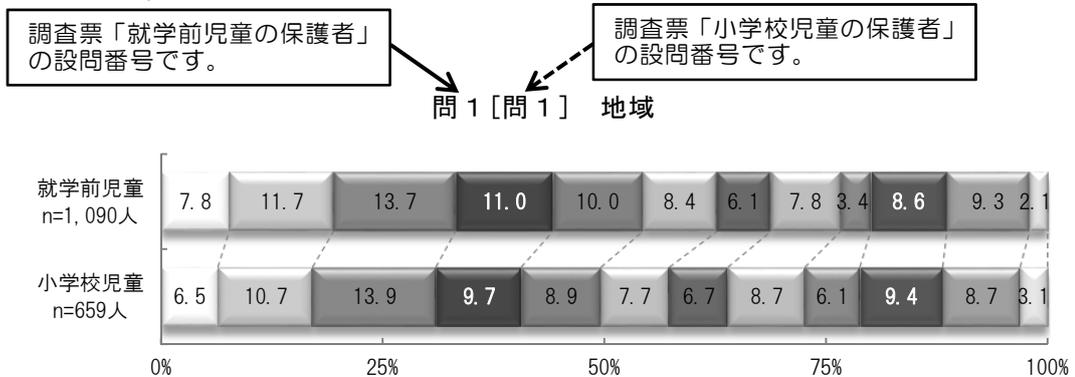
年齢区分	該当する生年月	年齢区分	該当する生年月
0歳児	平成24年4月以降	6歳児	平成18年4月～平成19年3月
1歳児	平成23年4月～平成24年3月	7歳児	平成17年4月～平成18年3月
2歳児	平成22年4月～平成23年3月	8歳児	平成16年4月～平成17年3月
3歳児	平成21年4月～平成22年3月	9歳児	平成15年4月～平成16年3月
4歳児	平成20年4月～平成21年3月	10歳児	平成14年4月～平成15年3月
5歳児	平成19年4月～平成20年3月	11歳児	平成13年4月～平成14年3月

(注) 調査期間【平成25年度】における年齢定義

### (2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

### (3) グラフの見方について



## (用語の定義)

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設 （児童福祉法第39条）
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています
家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業（保育ママ）
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
家庭保育室・ナーサリールーム	市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業
ファミリー・サポート・センター	保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業
緊急サポートセンター	子どもが病気の時や緊急的に保育が必要となったときに子どもを預かる事業
こんにちは赤ちゃん訪問	生後4か月までの赤ちゃんのいるすべての家庭を保健師が訪問する事業
産前産後支援ヘルプサービス事業	妊娠中または出産後1年未満の方に、家事・育児を支援するヘルパーを有料で派遣する事業

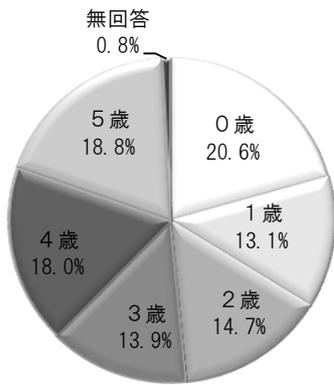
## 5 調査対象者の属性・家族状況

### (1) 就学前児童の属性

年齢は、「0歳」(20.6%)が最も多く、次いで「5歳」(18.8%)、「4歳」(18.0%)となっています。

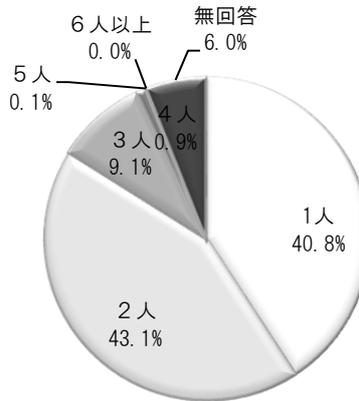
子どもの人数は、「2人」(43.1%)、1人(40.8%)となっています。

問2 年齢



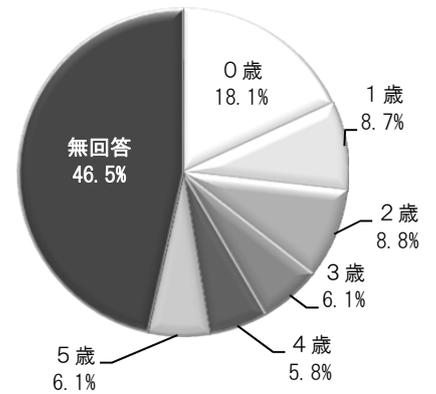
就学前児童  
n=1,090人

問3 子どもの人数



就学前児童  
n=1,090人

問3.1 末子の年齢



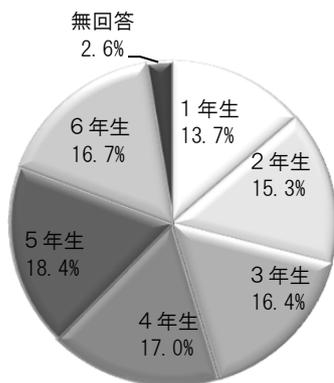
就学前児童  
n=1,090人

### (2) 小学校児童の属性

年齢は、「5年生」(18.4%)が最も多く、次いで「4年生」(17.0%)となっています。

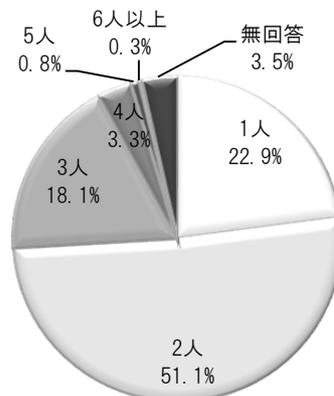
子どもの人数は、「2人」(51.1%)、「1人」(22.9%)となっています。

[問2] 年齢



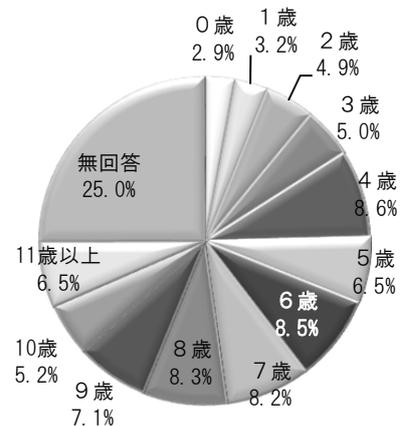
小学校児童  
n= 659人

[問3] 子どもの人数



小学校児童  
n= 659人

[問3.1] 末子の年齢



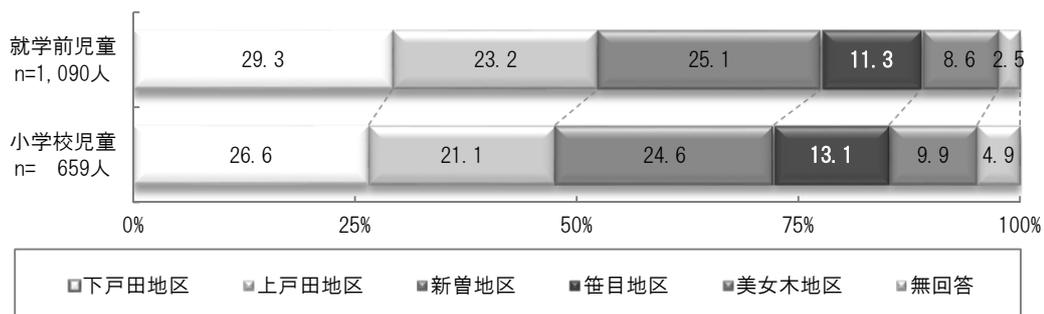
小学校児童  
n= 659人

(3) 居住地域の状況

回答者が居住している地区は、就学前児童は「下戸田地区」が最も多く、次いで「上戸田地区」、「新曽地区」の順となっています。

小学校児童も同様に「下戸田地区」が最も多く、次いで「新曽地区」、「上戸田地区」の順となっています。

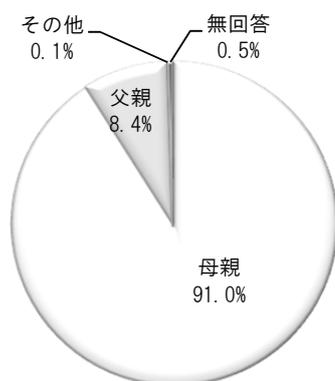
問1[問1] 地域（市全域）



(4) 調査回答者の状況と配偶者有無

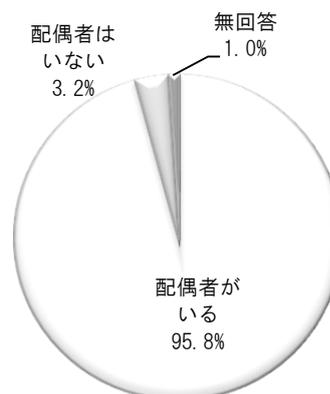
就学前児童、小学校児童ともに、調査回答者は母親が約9割となっています。  
 配偶者関係は就学前児童と小学校児童は約9割が「配偶者がいる」と回答しています。また、主な保育者は、就学前児童は「主に母親」が約5割で「父母ともに」よりやや多くなっています。小学校児童は「父母ともに」と「主に母親」がほぼ同数な割合となっています。

問4 調査回答者（就学前児童）



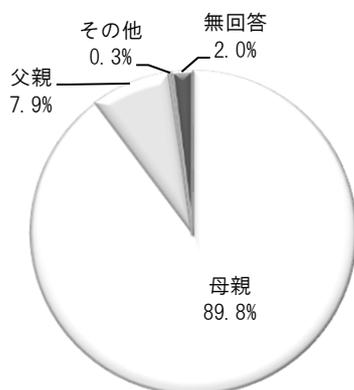
就学前児童  
n=1,090人

問5 配偶者の有無（就学前児童）



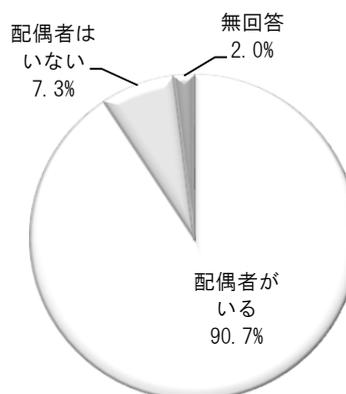
就学前児童  
n=1,090人

[問4] 調査回答者（小学校児童）



小学校児童  
n= 659人

[問5] 配偶者の有無（小学校児童）



小学校児童  
n= 659人

## 第 2 章

### 子育て家庭を取り巻く環境



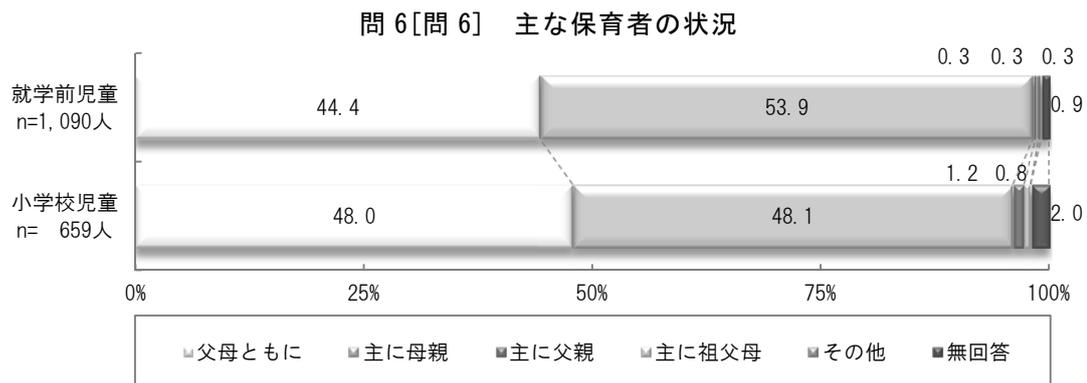
## 第2章 子育て家庭を取り巻く環境

### 1 子育ての環境について

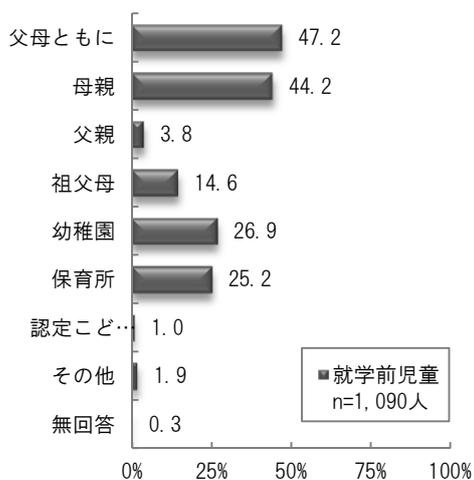
#### (1) 主な保育者と親族等協力者の状況

主な保育者の状況をみると、就学前児童では「父母ともに」(44.4%)と「主に母親」(53.9%)が大半を占めています。小学校児童でも「父母ともに」(48.0%)と「主に母親」(48.1%)と同じような傾向となっています。

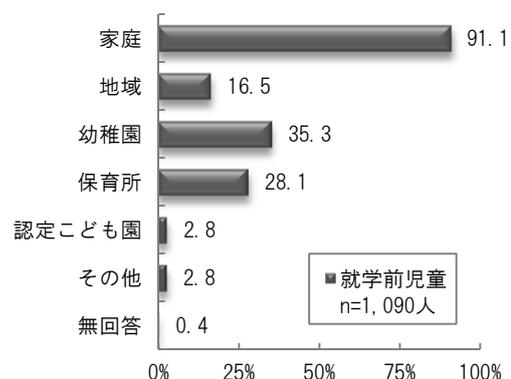
就学前児童では、こうした状況の中で日常的に子育てに関わっている方(施設含む)は、「父母ともに」(47.2%)、「母親」(44.2%)、「幼稚園」(26.9%)、「保育所」(25.2%)の順に多くなっています。また、子育てに影響を与える環境は、「家庭」(91.1%)が最も多く、次いで「幼稚園」(35.3%)、「保育所」(28.1%)、「地域」(16.5%)の順に多くなっています。



#### 問7 日常的に子育てに関わっている方(施設含む)



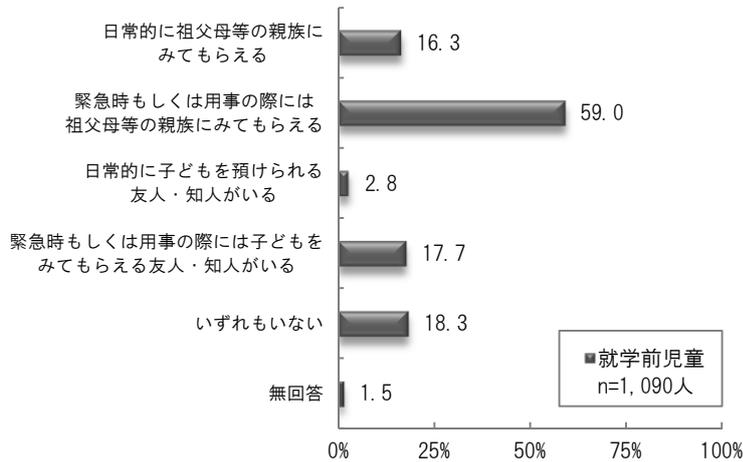
#### 問8 子育てに影響を与える環境



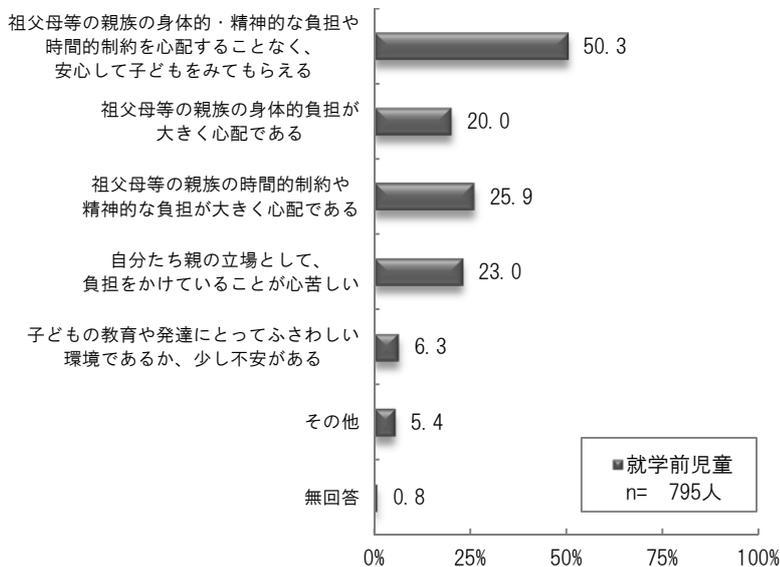
主な親族等協力者の状況をみると、就学前児童では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(59.0%)が最も多く、次いで「いずれもない」(18.3%)の順に多くなっています。

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、就学前児童では「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」方(50.3%)がいる一方で、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもを見てもらっている方(20.0%)もいます。また、友人・知人に預かってもらうことへの考えに対して、就学前児童では「友人・知人の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」方(42.0%)がいる一方で、友人・知人の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもを見てもらっている方(26.9%)もいます。

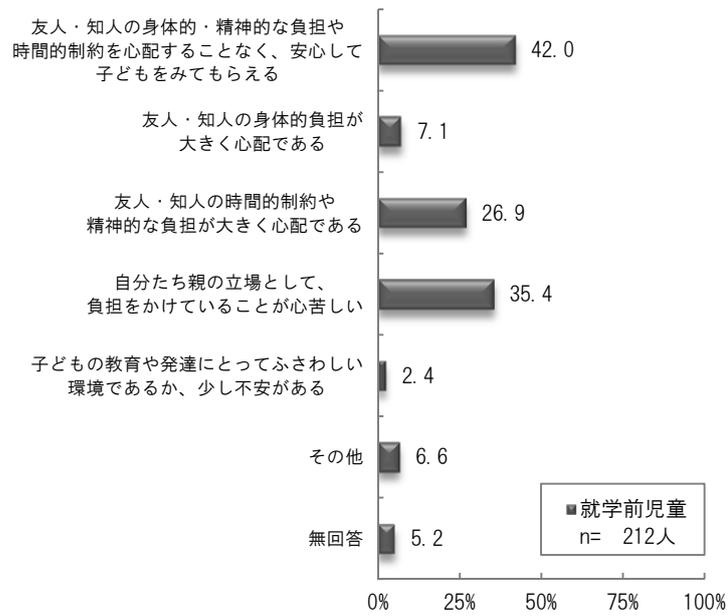
問9 主な親族等協力者の状況



問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



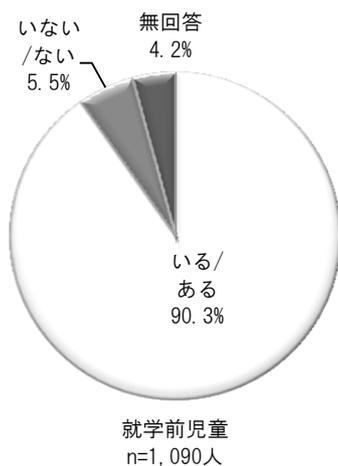
問9-2 友人・知人に預かってもらうことへの考え



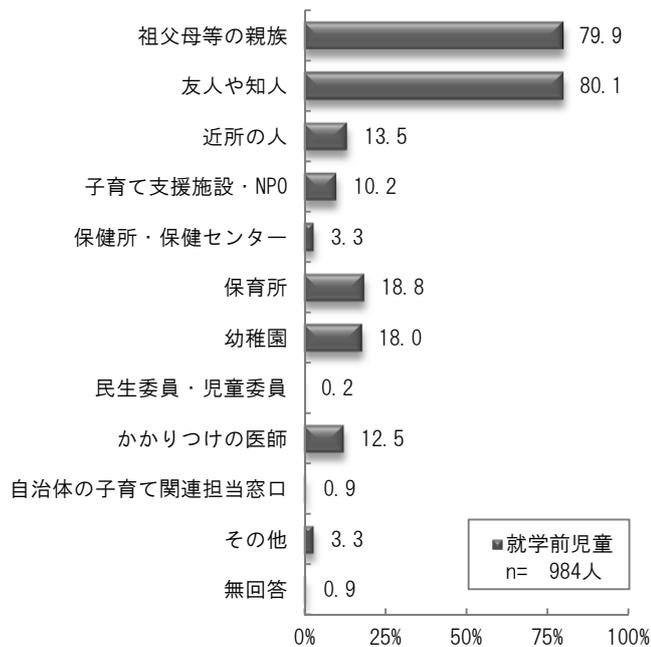
## (2) 子育てに関する相談者の状況

気軽に相談できる人の有無をみると、就学前児童では「いる／ある」(90.3%)とほとんどの方が「いる」または「ある」と答えています。その相談できる相手としては、就学前児童で「知人や友人」(80.1%)、「祖父母等の親族」(79.9%)が多くなっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



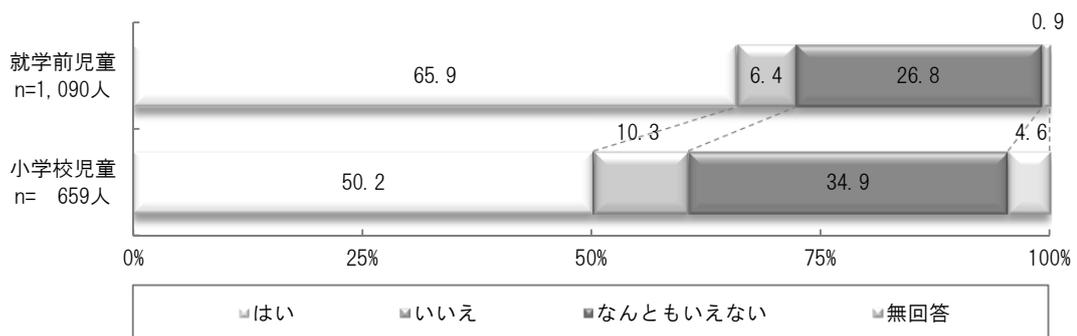
問 10-1 気軽にできる相談者の状況



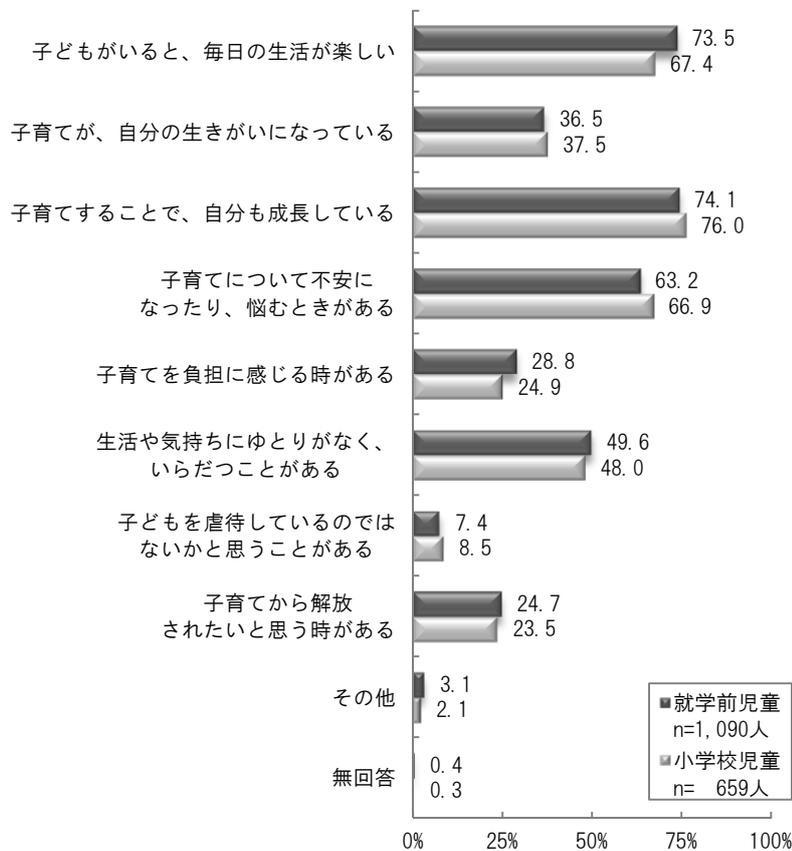
ゆっくりした気分でお子さんと過ごせる時間の有無で「はい」と回答しているのは、就学前児童（65.9%）、小学校児童（50.2%）で過半数となっています。

子育て中の今の気持ちでは「子育てすることで自分も成長している」が、就学前児童（74.1%）、小学校児童（76.0%）で最も多く、次いで差がなく「子どもがいると毎日の生活が楽しい」「子育てについて不安になったり、悩むときがある」となっています。

問 11[問 15] ゆっくりした気分でお子さんと過ごせる時間の有無



問 11-2[問 16] 子育て中の今の気持ち

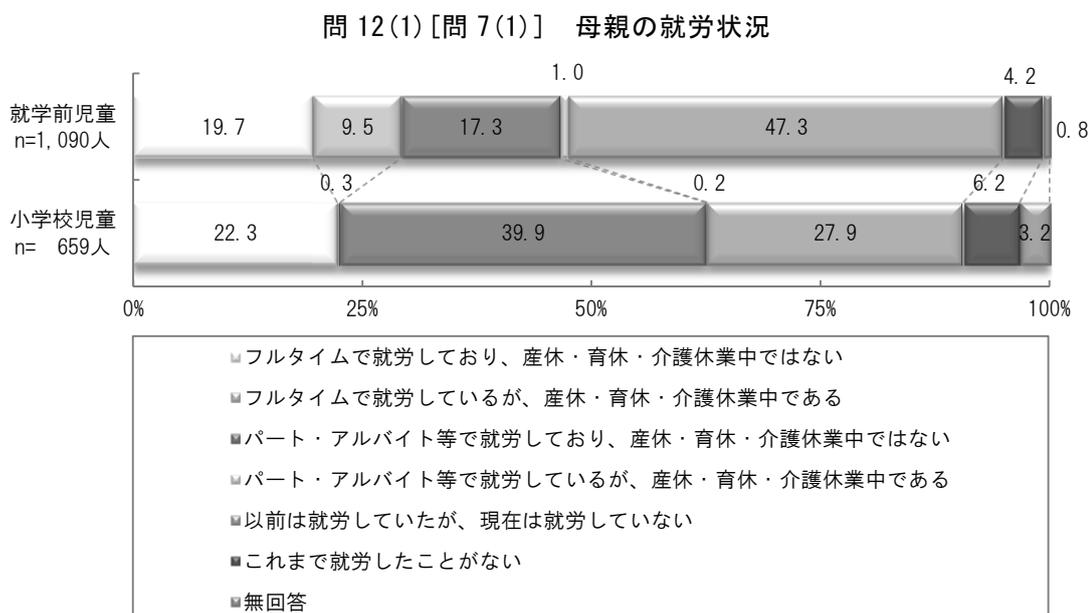


## 2 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

母親の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(19.7%)をはじめ 4 割弱の方が就労し、「現在産休・育休・介護・その他休業中」の方が(9.5%)となっています。

小学校児童では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(39.9%)をはじめ約 6 割の方が就労しています。

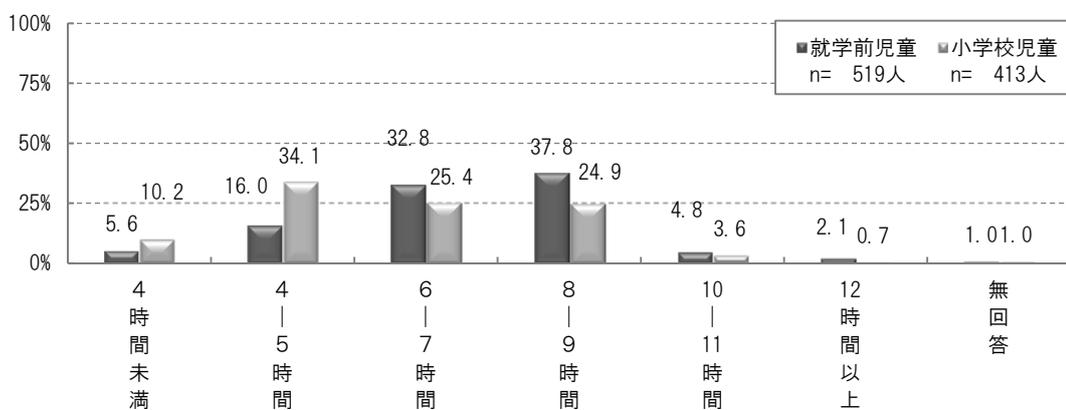
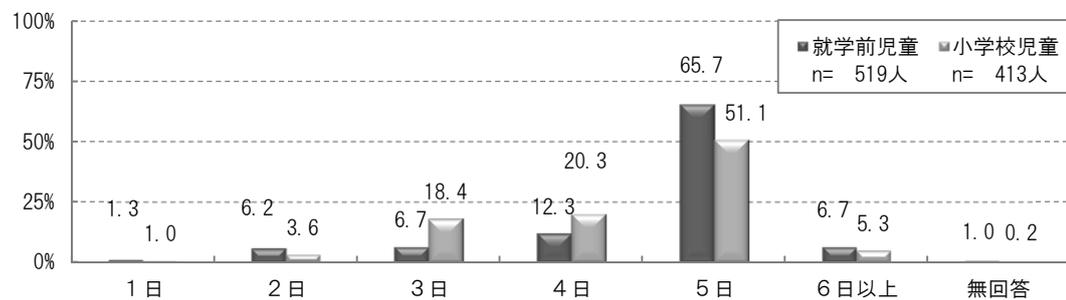


母親の就労日数・就労時間をみると、就学前児童では「5日」(65.7%)、「8-9時間」(37.8%)、小学校児童では「5日」(51.1%)、「4-5時間」(34.1%)が最も多く、両者ともに「6日以上」が約5%います。

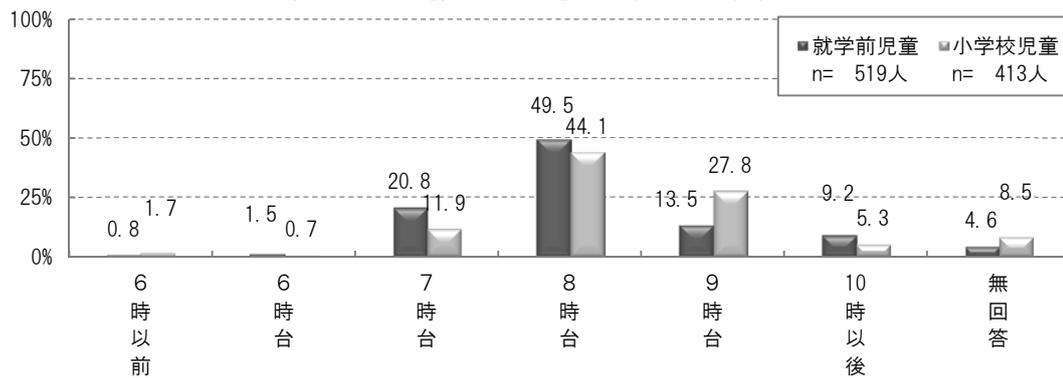
母親の出勤時間は、就学前児童では「8時台」(49.5%)、「7時台」(20.8%)、「9時台」(13.5%)の順、小学校児童では「8時台」(44.1%)「9時台」(27.8%)、「7時台」(11.9%)の順に多くなっています。

帰宅時間は、就学前児童では「18-19時台」(52.6%)、「16-17時台」(15.0%)の順、小学校児童では「12-15時台」(31.7%)、「18-19時台」(31.0%)の順に多く、20時以降の帰宅は約8%台になっています。

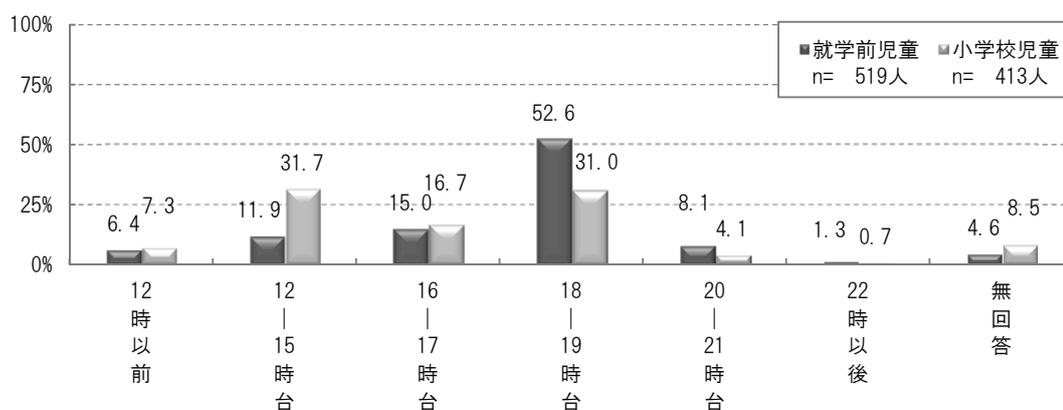
問 12(1)-1[問 7(1)-1] 母親の就労日数・就労時間



問 12(1)-2[問 7(1)-2] 母親の出勤時間



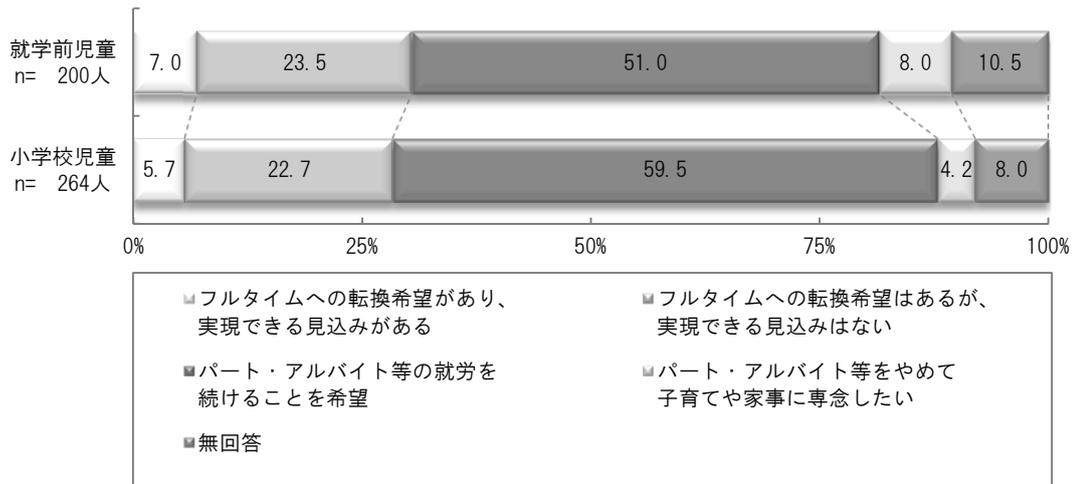
問 12(1)-2[問 7(1)-2] 母親の帰宅時間



母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する方は（7.0%）（23.5%）いますが、実現できる見込みのある方は（7.0%）となっています。

一方、小学校児童でもフルタイム勤務を希望する方は（5.7%）（22.7%）いますが、実現できる見込みのある方は（5.7%）となっています。

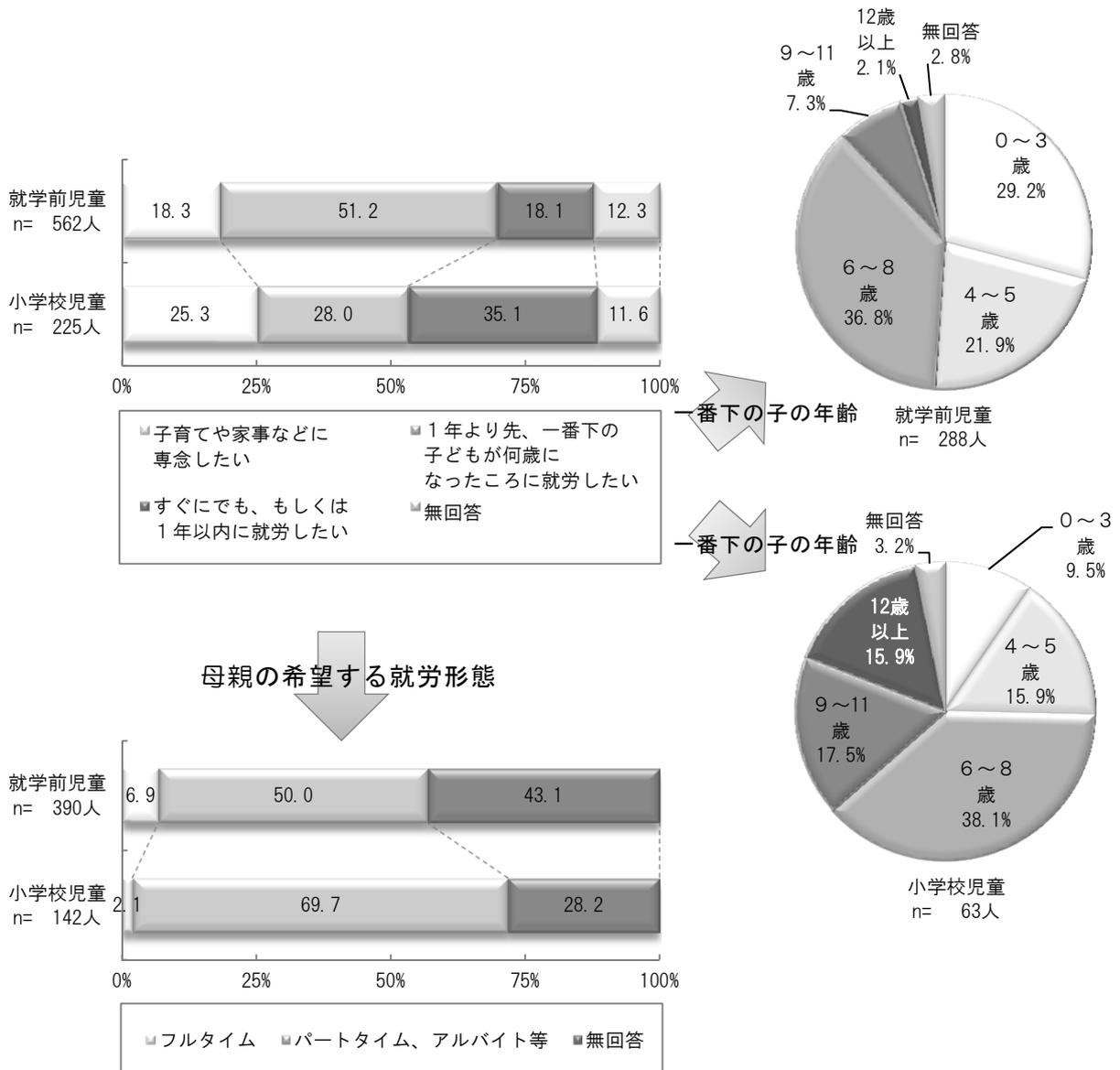
問 13(1) [問 8(1)] 母親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



就労していない母親の今後の就労希望は、就学前児童では「1年より先、一番下の子が何歳になったところに就労したい」(51.2%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(18.1%)、就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(50.0%)、「フルタイム」(6.9%)となっています。就労時期となる子どもの年齢としては「6～8歳」(36.8%)、「0～3歳」(29.2%)、「4～5歳」(21.9%)の順となっています。

小学校児童では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(35.1%)、「1年より先、一番下の子が何歳になったところに就労したい」(28.0%)、就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(69.7%)、「フルタイム」(2.1%)となっています。就労時期となる子どもの年齢としては「6～8歳」(38.1%)、「9～11歳」(17.5%)、「12歳以上」(15.9%)の順となっています。

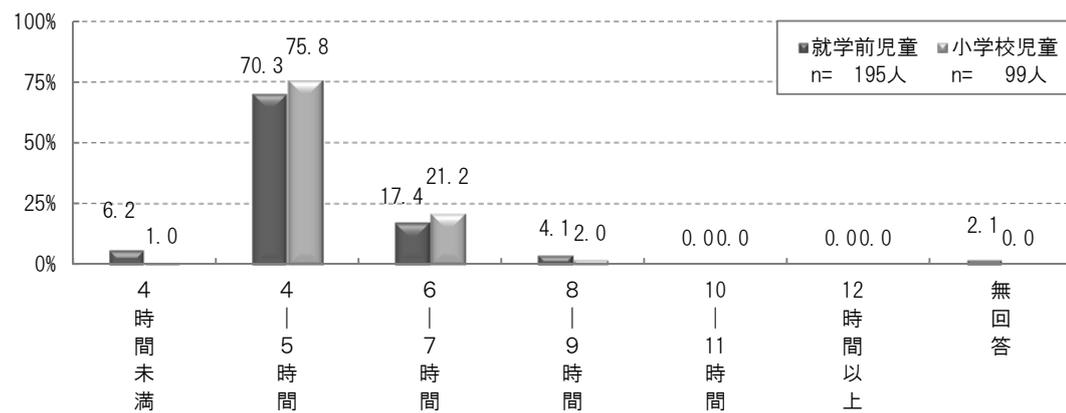
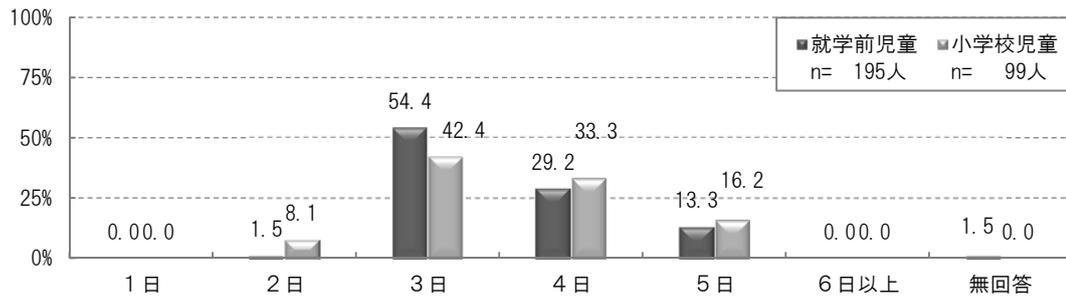
問 14(1) [問 9(1)] 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



母親の希望する就労形態をみると、就学前児童では就労日数は「3日」(54.4%)、「4日」(29.2%)、「5日」(13.3%)の順、就労時間は「4-5時間」(70.3%)、「6-7時間」(14.7%)の順となっています。

小学校児童では、就労日数は「3日」(42.4%)、「4日」(33.3%)、「5日」(16.2%)の順、就労時間「4-5時間」(75.8%)、「6-7時間」(21.2%)の順となっています。

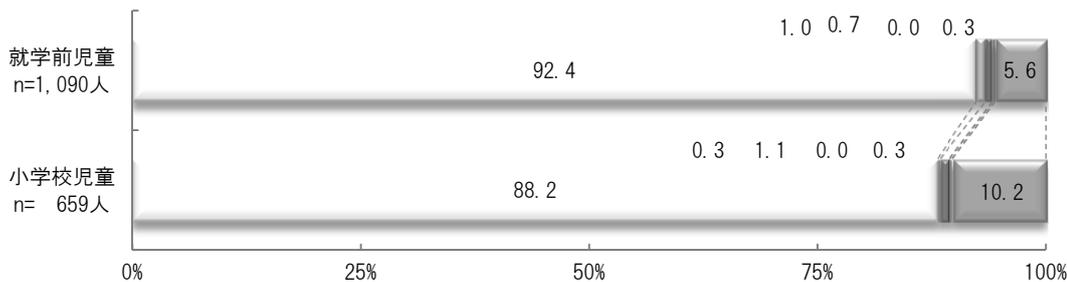
問 14(1)-2[問 9(1)-2] 母親の希望就労日数と希望就労時間



(2) 父親の就労状況

父親の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(92.4%)で最も多くなっています。  
 小学校児童では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(88.2%)と前者と同様に最も多くなっています。

問 12(2) [問 7(2)] 父親の就労状況



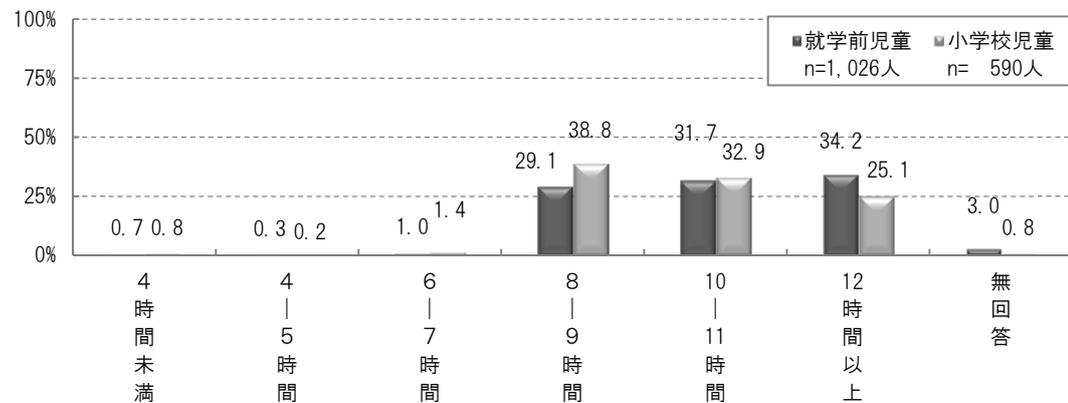
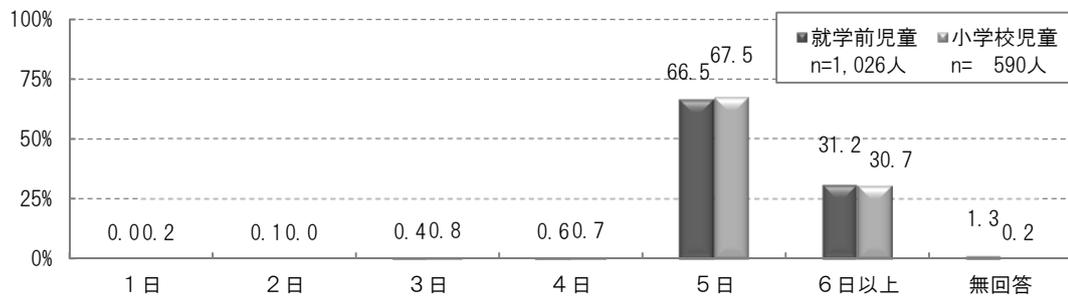
- フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

父親の就労日数・就労時間をみると、就学前児童では「5日」(66.5%)、「12時間以上」(34.2%)、小学校児童では「5日」(67.5%)、「8-9時間」(38.8%)が最も多く、両者ともに「6日以上」(30%台)、「10-11時間」(30%前後)、「12時間以上」(30%前後)となっています。

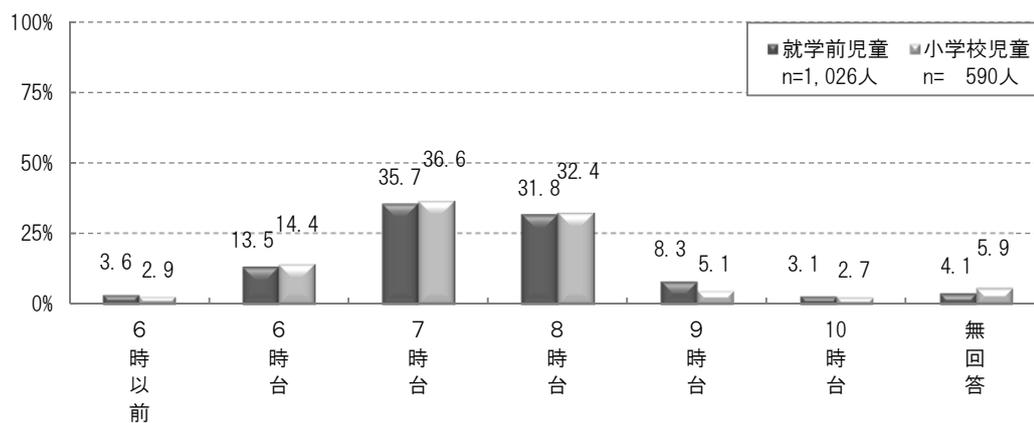
父親の出勤時間は、就学前児童では「7時台」(35.7%)、「8時台」(31.8%)、「6時台」(13.5%)の順、小学校児童では「7時台」(36.6%)「8時台」(31.8%)、「6時台」(14.4%)の順に多くなっています。

帰宅時間は、就学前児童では「20-21時台」(36.5%)、「22時以降」(29.0%)の順、小学校児童では「20-21時台」(36.4%)、「22時以降」(24.2%)の順に多く、両者ともに22時以降の帰宅は2割となっています。

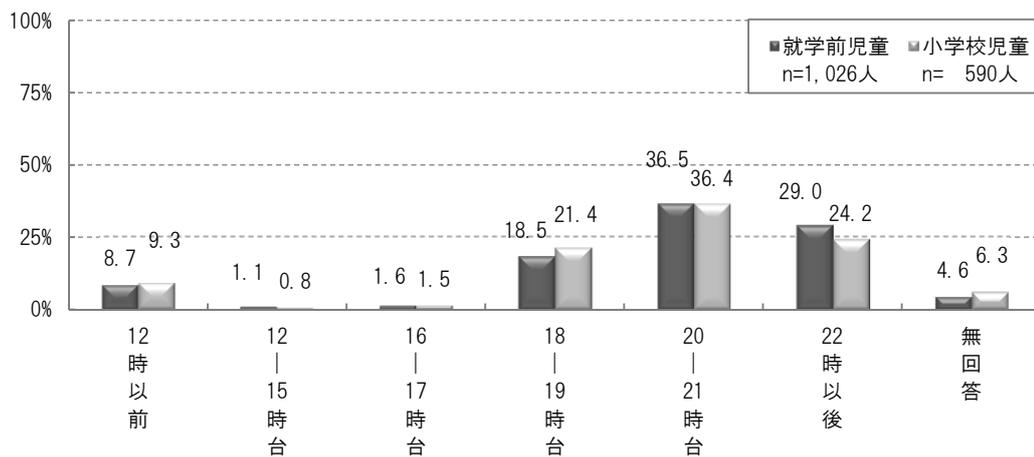
問 12(2)-1[問 7(2)-1] 父親の就労日数・就労時間



問 12(2)-2[問 7(2)-2] 父親の出勤時間



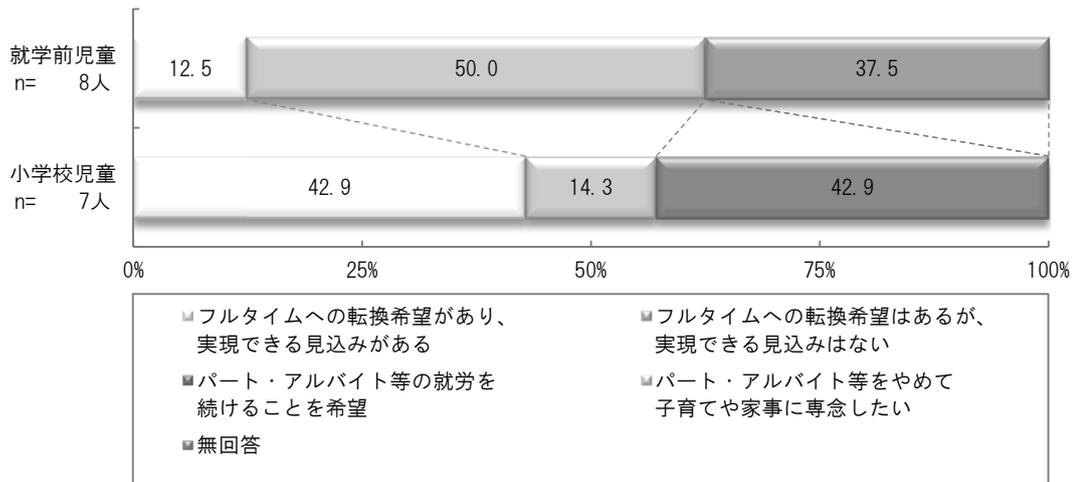
問 12(2)-2[問 7(2)-2] 父親の帰宅時間



父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向をみると、就学前児童ではフルタイム勤務を希望する方は 62.5%いますが、実現できる見込みのある方は 12.5%と少数に留まっています。

小学校児童ではフルタイム勤務を希望する方は 57.2%いますが、実現できる見込みのある方は 42.9%でした。

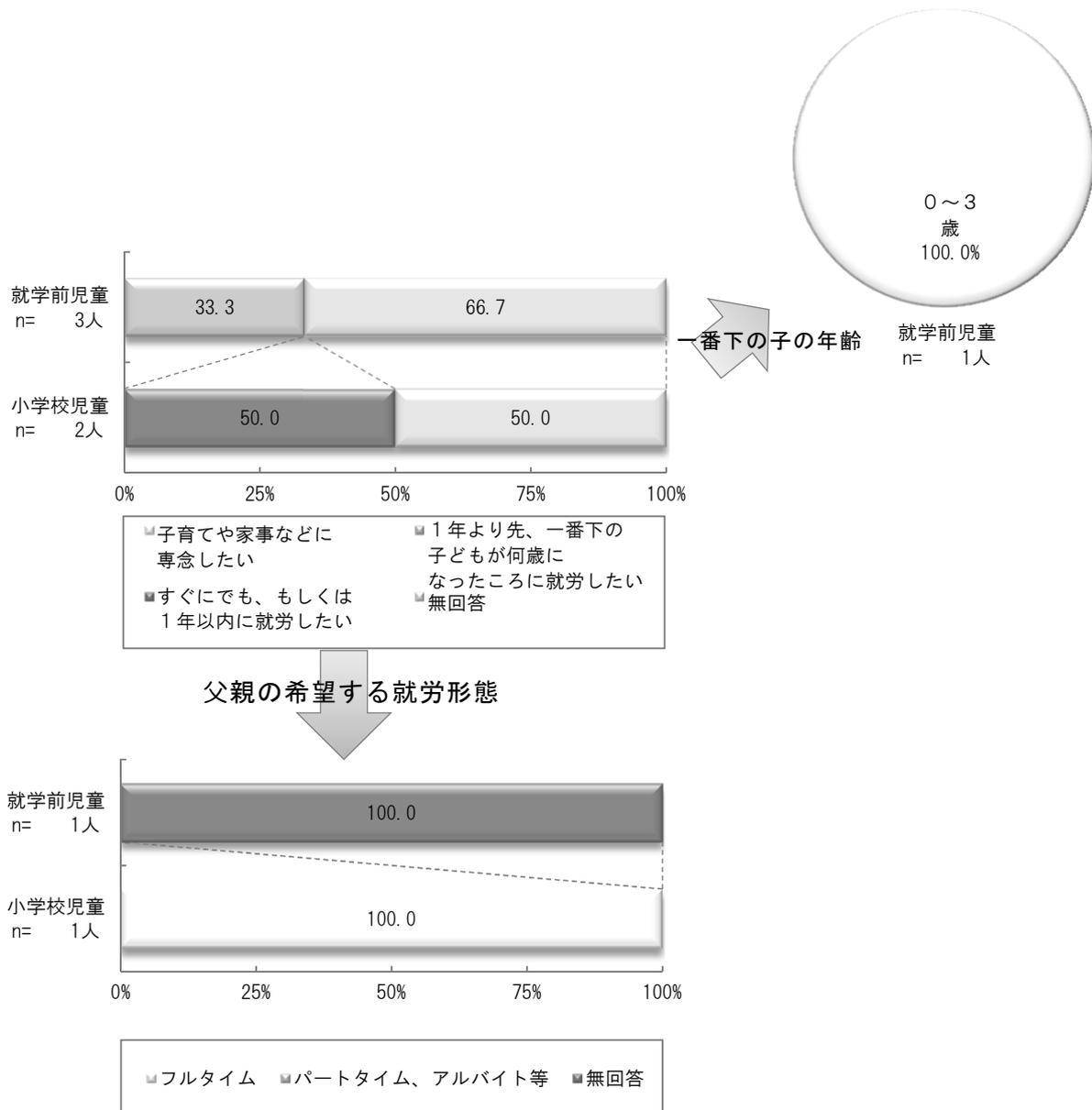
問 13(2) [問 8(2)] 父親のパートタイムからフルタイム勤務への意向



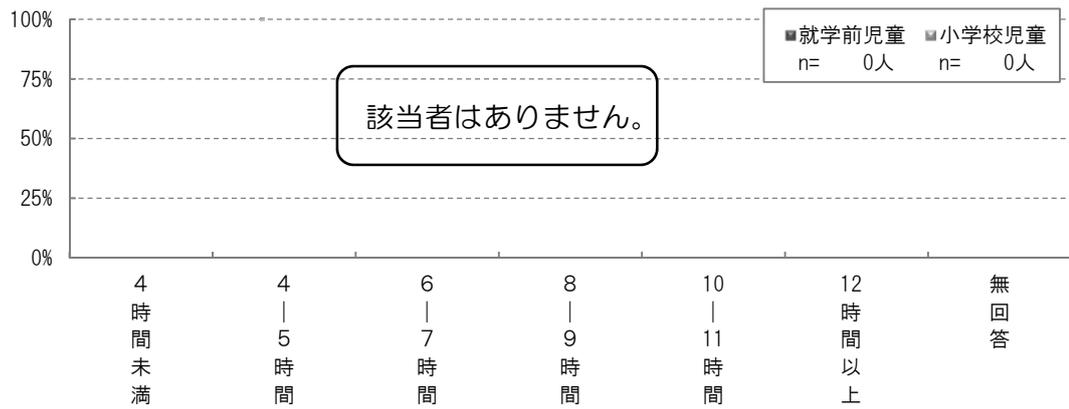
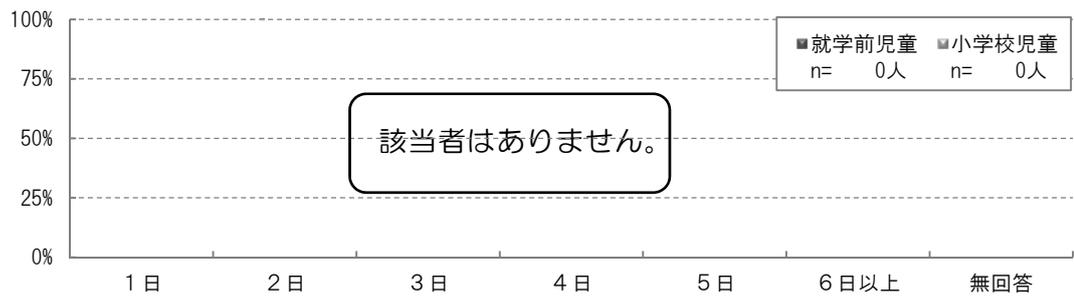
就労していない父親に対して今後の就労希望を聞いたところ、就学前児童では就労したい方が100%おり、その内訳は「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(66.7%)、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(33.3%)、就労形態は「フルタイム」(100%)、「パートタイム、アルバイト等」はいませんでした。

小学校児童では就労したい方も100%であり、その内訳が「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(50.0%)、「1年より先、一番下の子どもが何歳になったところに就労したい」(50.0%)と答え、就労形態は「フルタイム」(100%)、「パートタイム、アルバイト等」はいませんでした。

問 14(2) [問 9(2)] 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



問 14(2)-2[問 9(2)-2] 父親の希望就労日数と希望就労時間



**第 3 章**  
**子育て支援サービスの現状と**  
**今後の利用希望**



## 第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

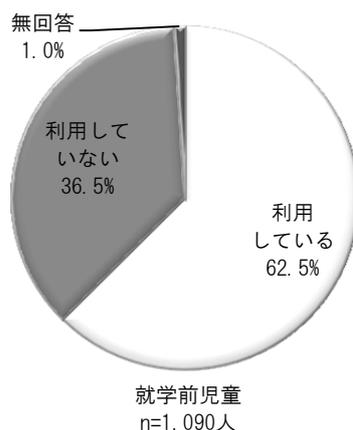
#### (1) 平日の定期的な教育・保育事業（全体）

定期的な教育・保育事業（全体）の利用状況をみると、利用している就学前児童は62.5%となっています。

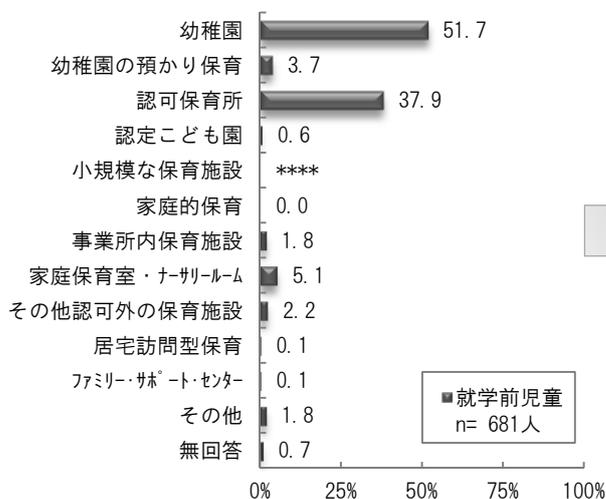
利用中の事業としては、「幼稚園」（32.3%）、「認可保育園」（23.7%）、「家庭保育室・ナースリールーム」（3.2%）、「その他認可外の保育施設」（1.4%）の順に多くなっています。

一方、今後の利用希望では「幼稚園」（62.2%）が大きく増加し、「認定保育所」（43.0%）、「幼稚園の預かり保育」（29.9%）、「ファミリー・サポート・センター」（9.4%）がともに増加しています。

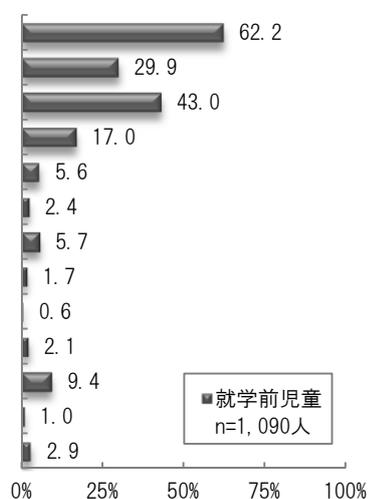
問 15 定期的な教育・保育事業の利用状況



問 15-1 利用中の定期的な教育・保育事業



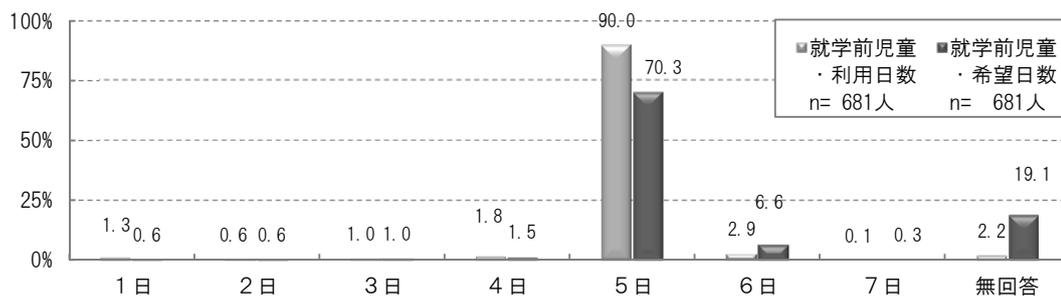
問 16 希望する定期的な教育・保育事業



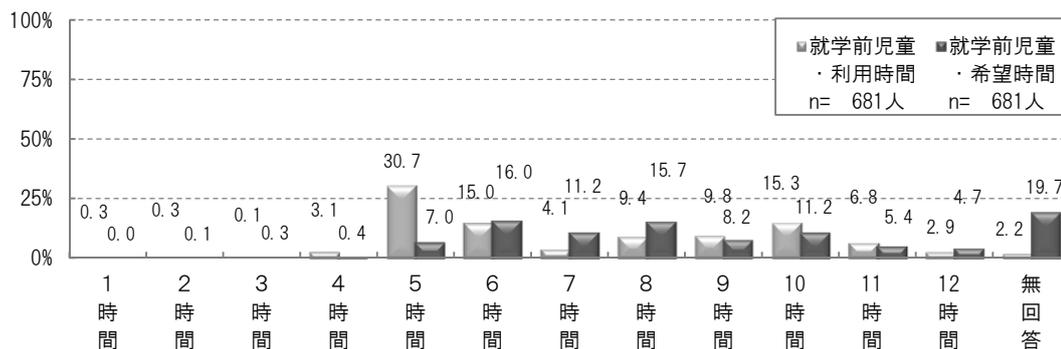
定期的な教育・保育事業（全体）の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（90.0%）、「6日」（2.9%）、希望では「5日」（70.3%）「6日」（6.6%）となっています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「5時間」（30.7%）、「10時間」（15.3%）、「6時間」（15.0%）、「9時間」（9.8%）の順に多く、希望では「9～11時間」がやや減少しています。

問 15-2 (1)-1(2)-1 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

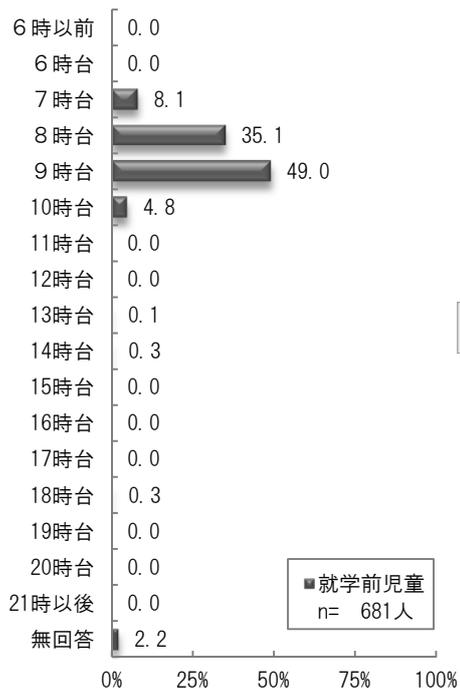


問 15-2 (1)-2(2)-2 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）



定期的な教育・保育事業（全体）の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9 時台」（49.0%）、「8 時台」（35.1%）、「7 時台」（8.1%）の利用順、終了時間は「14 時台」（38.2%）、「18 時台」（20.4%）、「17 時台」（12.8%）の利用順となっています。利用時間と希望時間との差は、「無回答」を考慮すると概ねありませんでした。

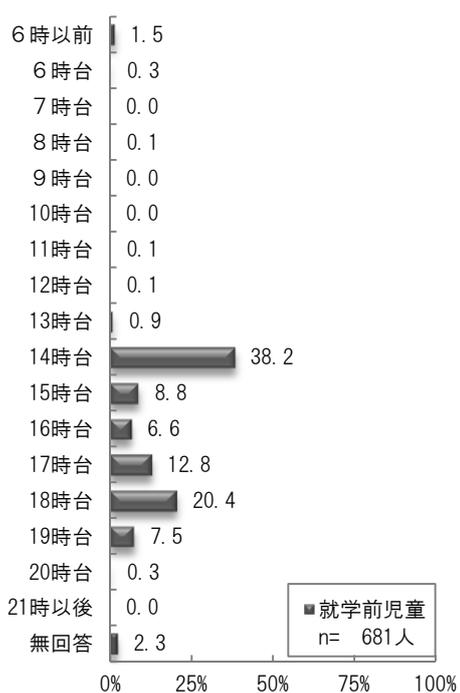
問 15-2 (1)-3 利用開始時間



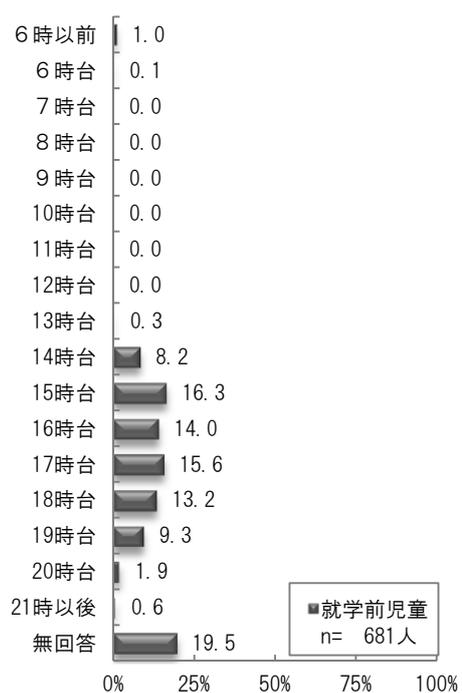
問 15-2 (2)-3 希望開始時間



問 15-2 (1)-4 利用終了時間

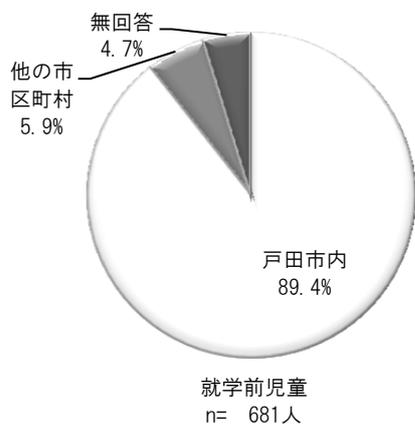


問 15-2 (2)-4 希望終了時間

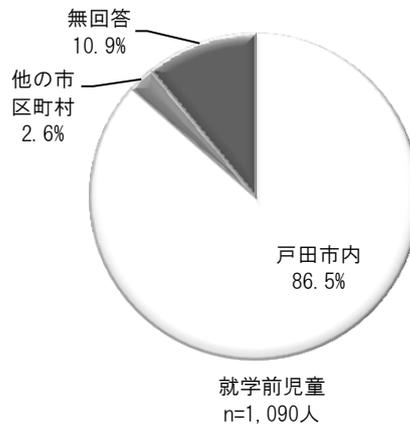


定期的な教育・保育事業（全体）の教育・保育施設の利用場所は、「戸田市内」（89.4%）と回答し、ほとんどの方が市内の施設を利用しています。  
希望したい実施場所も「戸田市内」（86.5%）となっています。

問 15-3 教育・保育の実施場所



問 16-1 教育・保育の希望実施場所

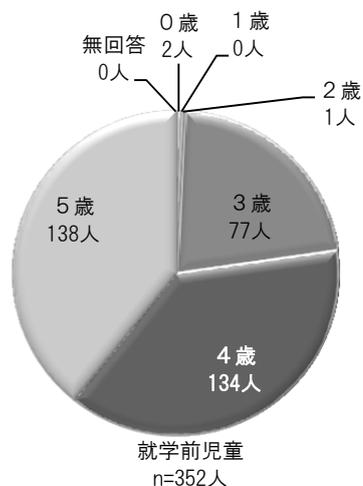


(2) 幼稚園

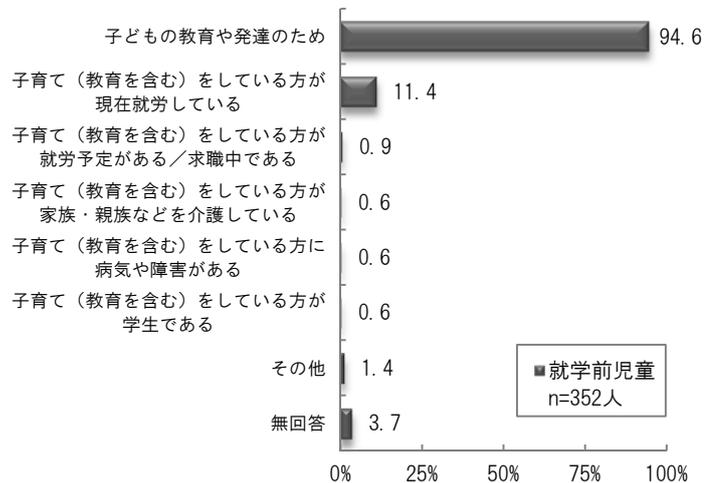
幼稚園の年齢別利用者数は、5歳（138人）、4歳（134人）、3歳（77人）の順に利用されています。

利用している理由は、ほとんどが「子どもの教育や発達のため」（94.6%）であり、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（11.4%）の順に多く、その他理由はごく少数となっています。

問 15-1. ① 幼稚園の年齢別利用者数



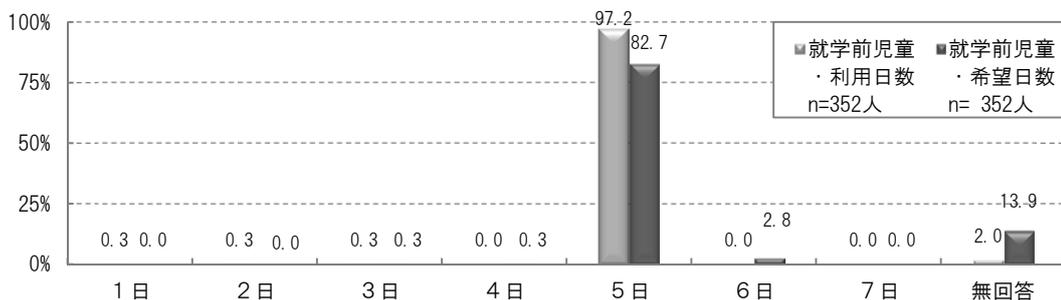
問 15-4. ① 幼稚園を利用している理由



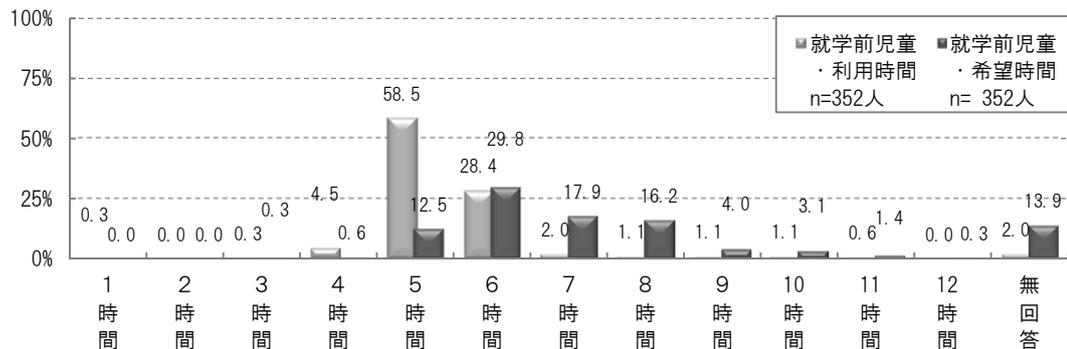
幼稚園の利用日数と希望日数(1週当たり)をみると、利用では「5日」(97.2%)が最も多く、希望では「5日」(82.7%)が減少した一方で「6日」(0%)がやや増加しています。

また、利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「5時間」(58.5%)、「6時間」(28.4%)、「7時間」(2.0%)の順に多く、希望では「5時間」が減少した一方で「6時間」「7時間」が増加しているため、一部の利用者に時間延長を希望していることが伺えます。

問 15-2(1)-1. (2)-1. ① 幼稚園の利用日数と希望日数 (1週当たり)

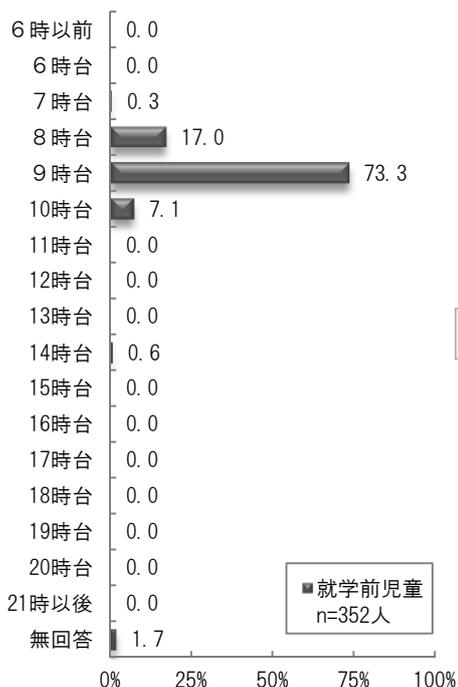


問 15-2(1)-2. (2)-2. ① 幼稚園の利用時間と希望時間 (1日当たり)

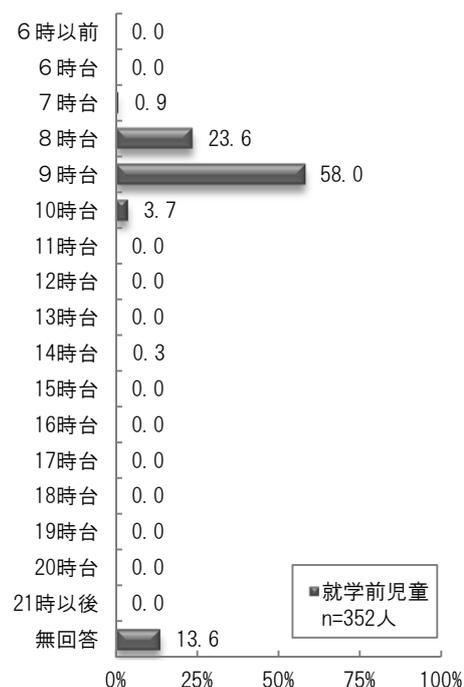


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9時台」(73.3%)、「8時台」(17.0%)、の利用順、終了時間は「14時台」(74.2%)、「15時台」(16.2%)、「16時台」(2.3%)の利用順となっています。利用時間と希望時間との差は、希望終了時間において「14時台」が減少した一方で「15時台」以後が増加しています。

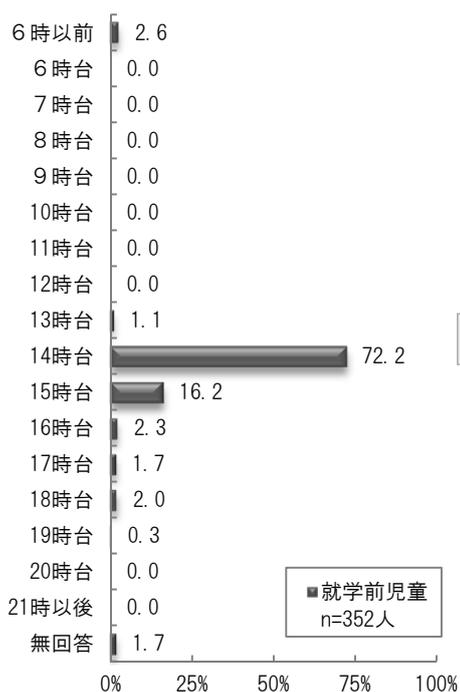
問 15-2(1)-3. ① 利用開始時間



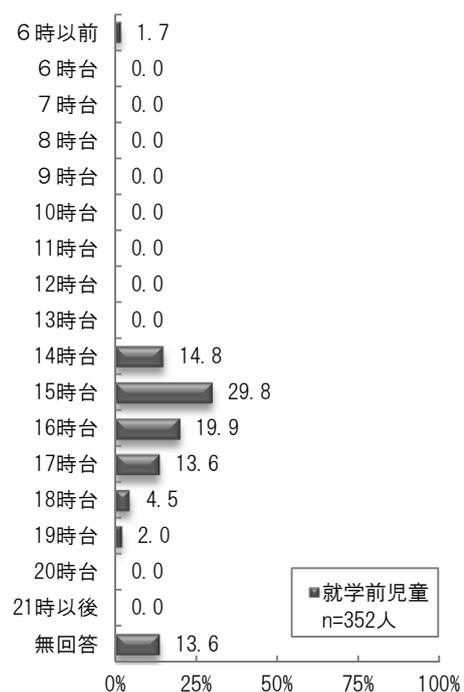
問 15-2(2)-3. ① 希望開始時間



問 15-2(1)-4. ① 利用終了時間



問 15-2(2)-4. ① 希望終了時間

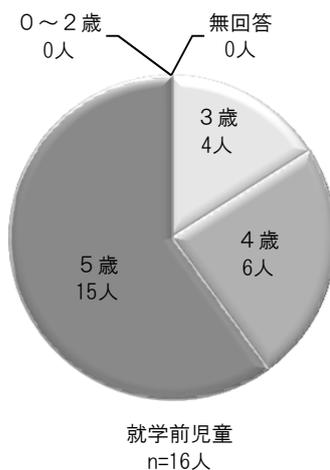


### (3) 幼稚園の預かり保育

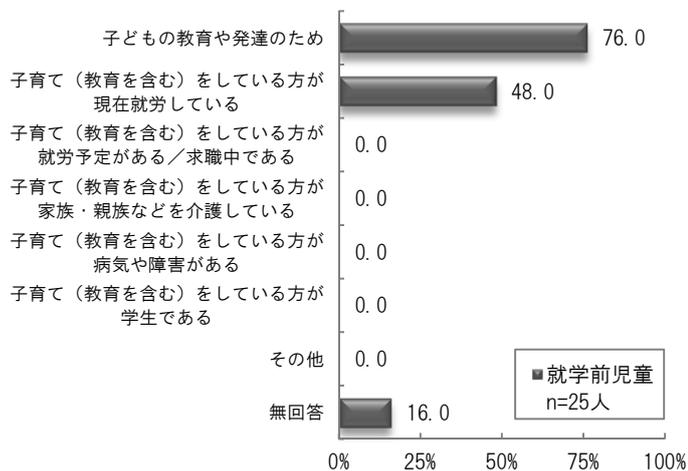
幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数は、5歳（15人）、4歳（6人）、3歳（4人）の順に利用されています。

利用している理由は、ほとんどが「子どもの教育や発達のため」（76.0%）であり、次いで「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（48.0%）の順に多く、その他理由はごく少数となっています。

問 15-1. ② 幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数



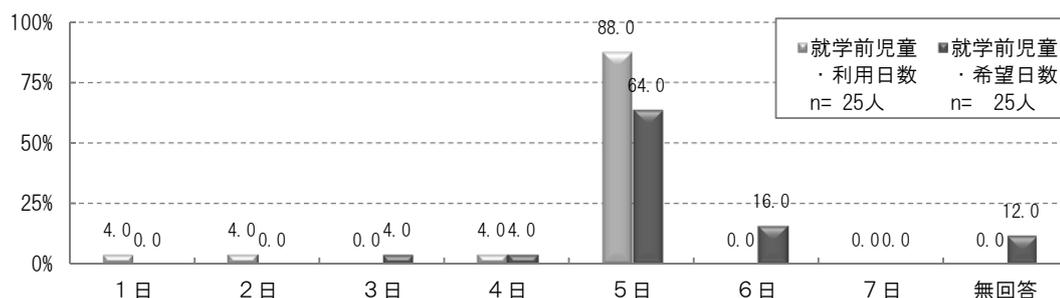
問 15-4. ② 幼稚園の預かり保育を利用している理由



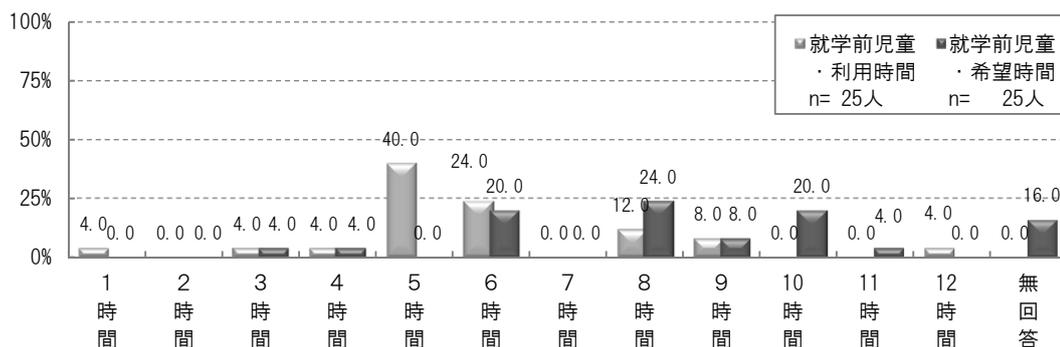
幼稚園の預かり保育の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（88.0%）、希望でも「5日」（64.0%）で変化がありました。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「5時間」（40.0%）、「6時間」（24.0%）、「8時間」（12.0%）の順、希望では「5時間」が減少した一方で「8時間」と「10時間」が増加しているため、一部の利用者に時間延長を希望していることが伺えます。

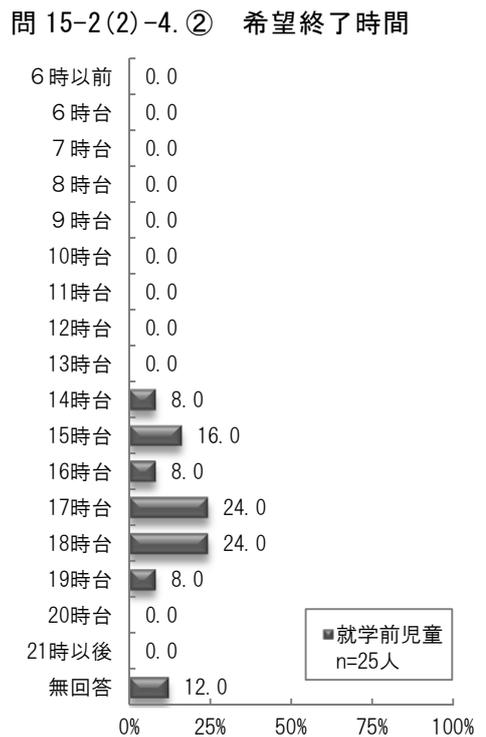
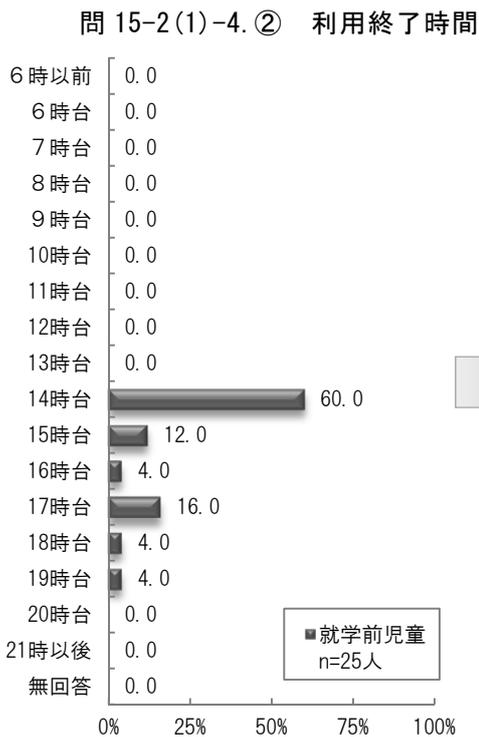
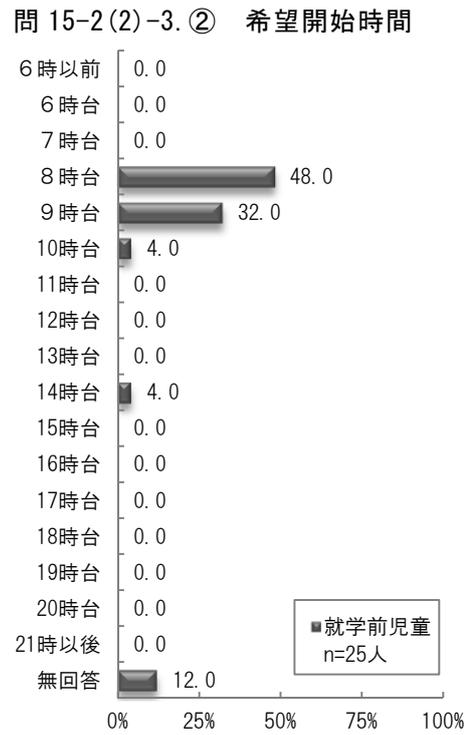
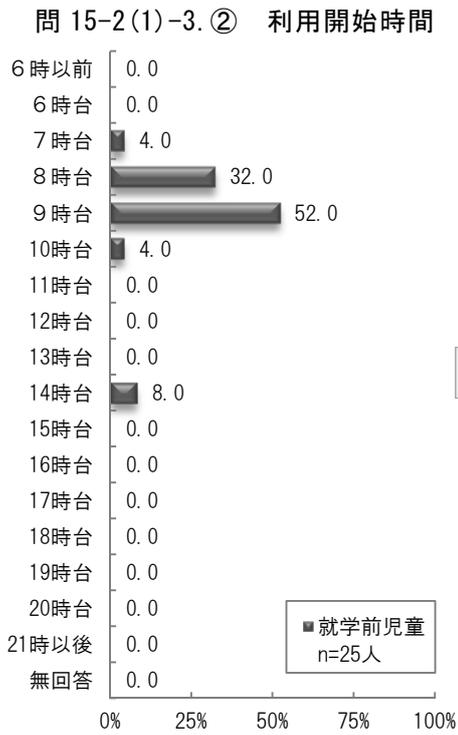
問 15-2(1)-1. (2)-1. ② 幼稚園の預かり保育の利用日数と希望日数（1週当たり）



問 15-2(1)-2. (2)-2. ② 幼稚園の預かり保育の利用時間と希望時間（1日当たり）



利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9 時台」(52.0%)、「8 時台」(32.0%)、「14 時台」(8.0%)の利用順、終了時間は「14 時台」(60.0%)、「17 時台」(16.0%)、「15 時台」(12.0%)の利用順となっています。利用時間と希望時間との差は、希望終了時間において「14 時台」が減少していますが、「無回答」の比率を考慮すると概ねありませんでした。

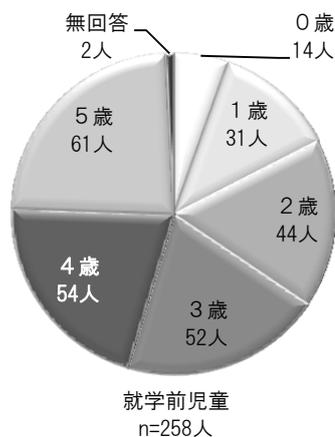


(4) 認可保育所

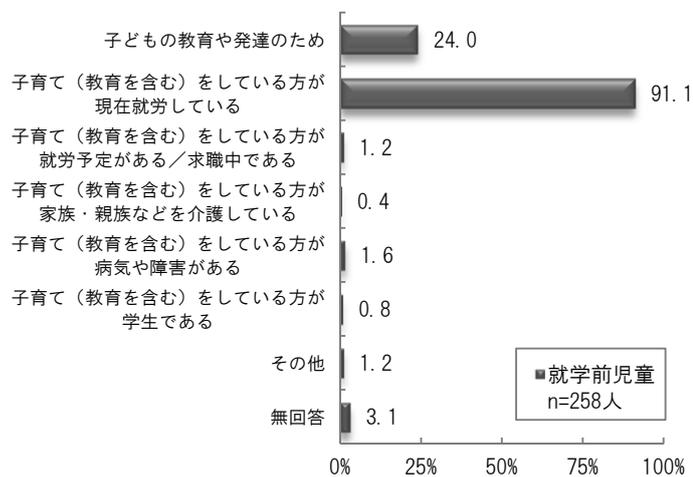
認可保育所の年齢別利用者数は、5歳（61人）、4歳（54人）、3歳（52人）、2歳（44人）、1歳（31人）の順に利用されています。

利用している理由は、ほとんどが「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（91.1%）であり、次いで「子どもの教育や発達のため」（24.0%）の順に多く、その他理由はごく少数となっています。

問 15-1. ③ 認可保育所の年齢別利用者数



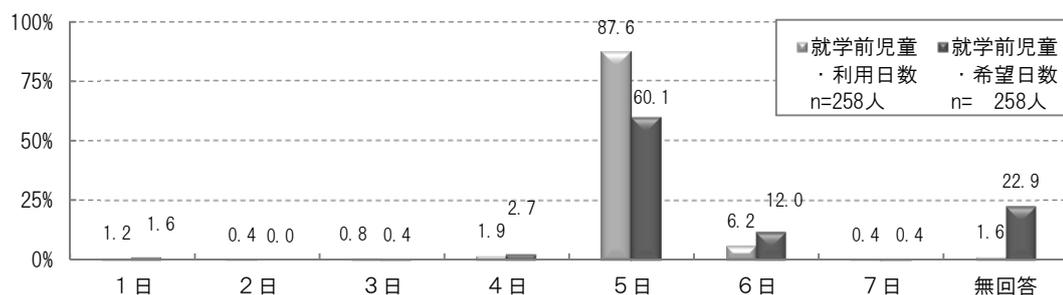
問 15-4. ③ 認可保育所を利用している理由



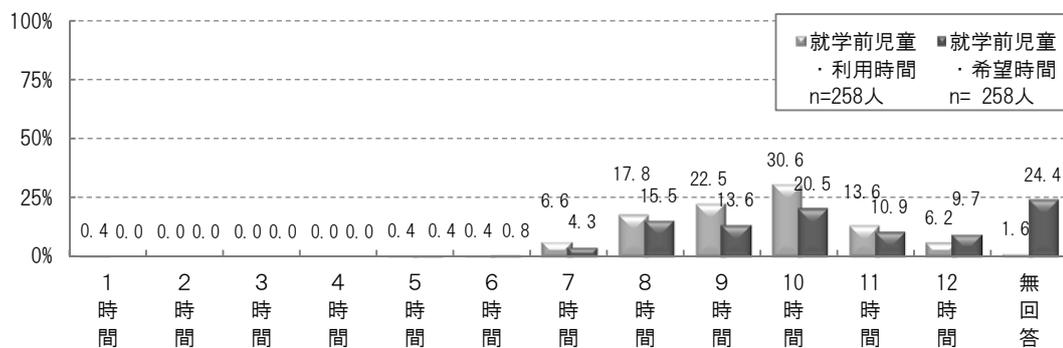
認可保育所の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（87.6%）、「6日」（6.2%）の順に多く、希望では「5日」（60.1%）が減少した一方で「6日」（12.0%）がやや増加しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「10時間」（30.6%）、「9時間」（22.5%）、「8時間」（17.8%）、「11時間」（13.6%）の順に多く、希望では「7時間」～「11時間」がやや減少し、「11時間」以後でやや増加しているため、一部の利用者に時間延長の希望が伺えます。

問 15-2(1)-1. (2)-1. ③ 認可保育所の利用日数と希望日数（1週当たり）

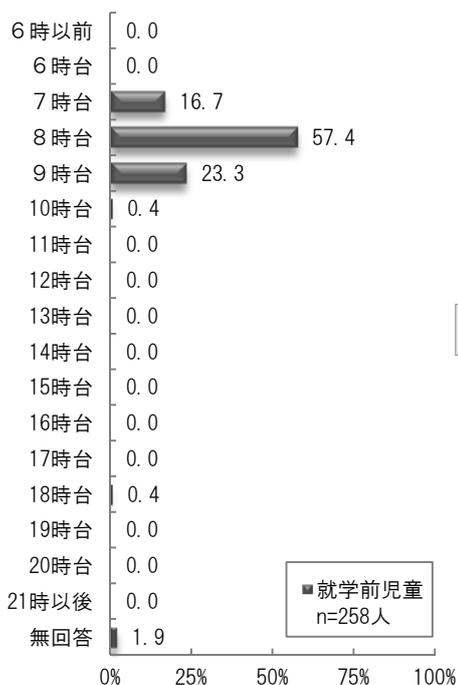


問 15-2(1)-2. (2)-2. ③ 認可保育所の利用時間と希望時間（1日当たり）

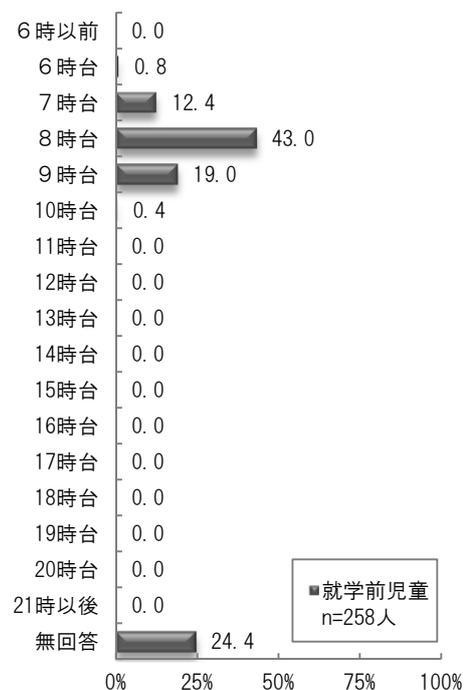


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(57.4%)、「9時台」(23.3%)、「7時台」(16.7%)の利用順、終了時間は「18時台」(41.5%)、「17時台」(25.6%)、「19時台」(15.5%)の利用順となっています。利用時間と希望時間との差は、「無回答」の比率を考慮すると概ねありませんでした。

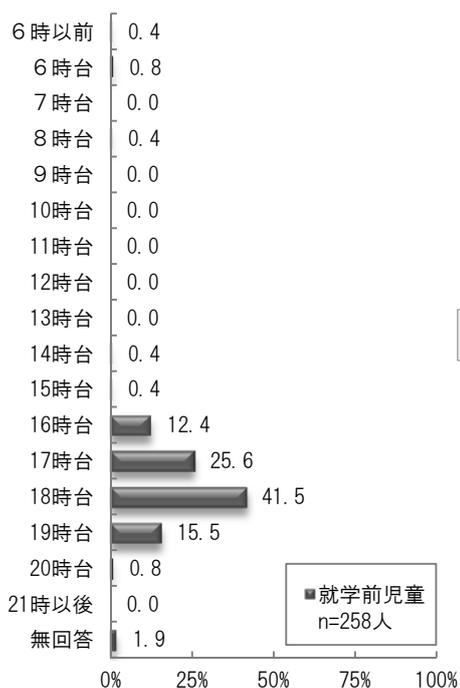
問 15-2(1)-3. ③ 利用開始時間



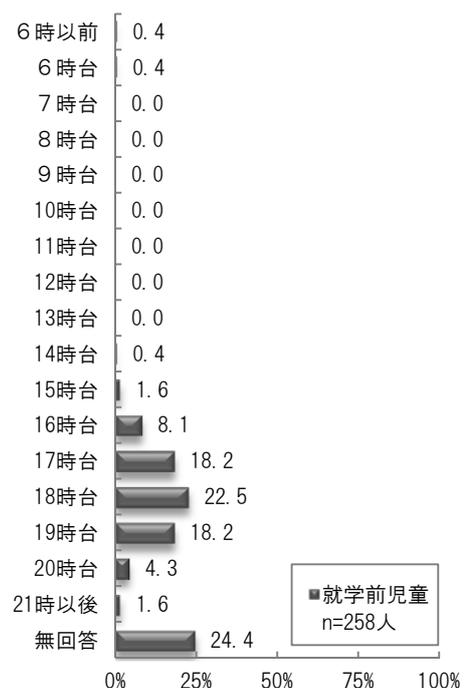
問 15-2(2)-3. ③ 希望開始時間



問 15-2(1)-4. ③ 利用終了時間



問 15-2(2)-4. ③ 希望終了時間



### (5) 事業所内保育施設

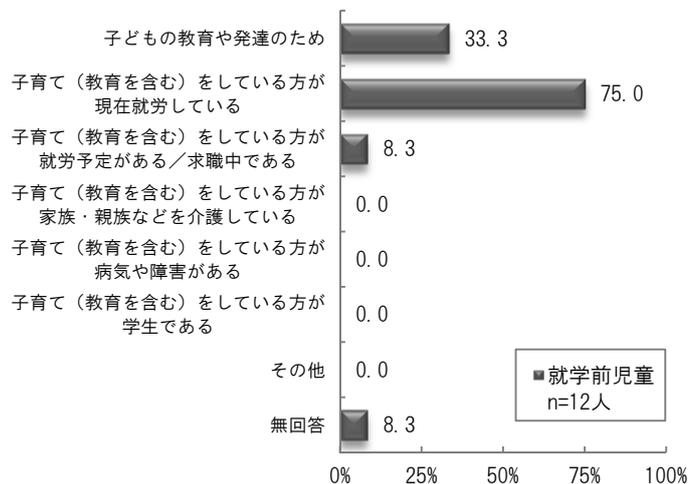
事業所内保育施設の年齢別利用者数は、3歳、1歳（各3人）、5歳、2歳（各2人）、4歳、0歳（各1人）の順に利用されています。

利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（75.0%）と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」（33.3%）の順に多く、その他理由はごく少数となっています。

問 15-1. ⑥ 事業所内保育施設の年齢別利用者数



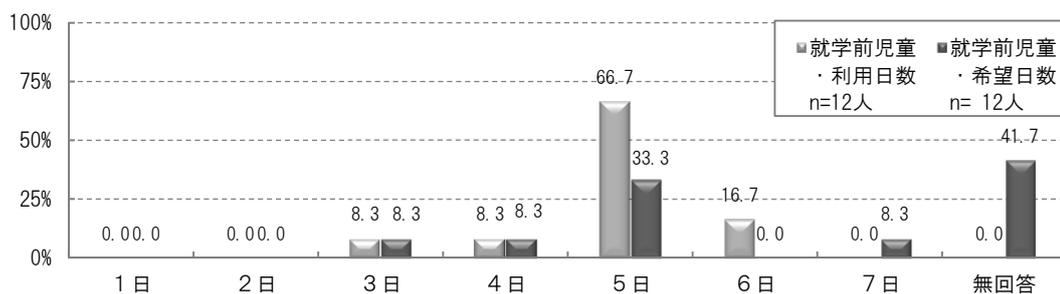
問 15-4. ⑥ 事業所内保育施設を利用している理由



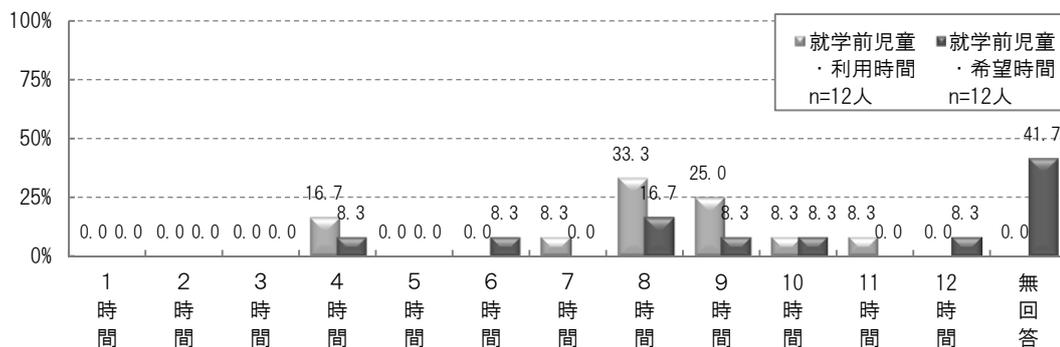
事業所内保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（66.7%）、「6日」（16.7%）の順、希望では「5日」（33.3%）が減少しました。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「8時間」（33.3%）、「9時間」（25.0%）、「4時間」（16.7%）の順に多く、希望では「8時間」「9時間」が減少した一方で「6時間」「12時間」が増加しているため、一部の利用者で時間延長の希望が伺えます。

問 15-2(1)-1. (2)-1. ⑥ 事業所内保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）

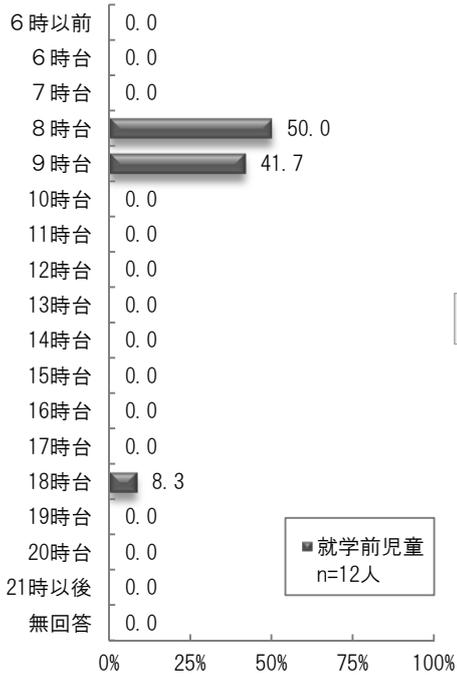


問 15-2(1)-2. (2)-2. ⑥ 事業所内保育施設の利用時間と希望時間（1日当たり）

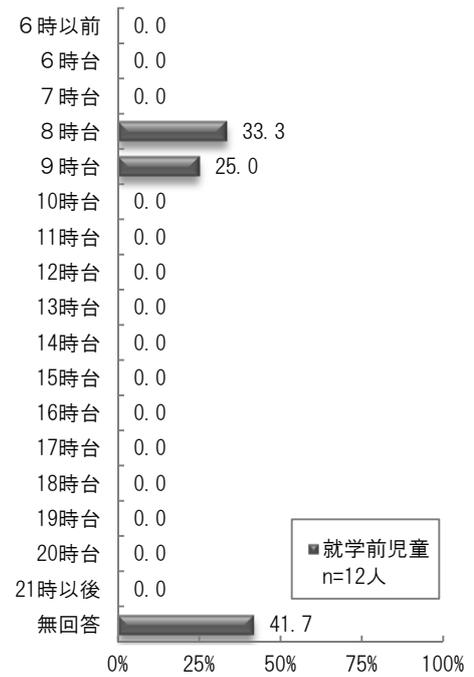


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8 時台」(50.0%)、「9 時台」(41.7%)の利用順、終了時間は「17 時台」(33.3%)、「18 時台」(25.0%)、「13 時台」(16.7%) の利用順となっています。利用時間と希望時間との差は、希望終了時間において「13 時台」～「19 時台」が減少した一方で「20 時台」以後が増加しています。

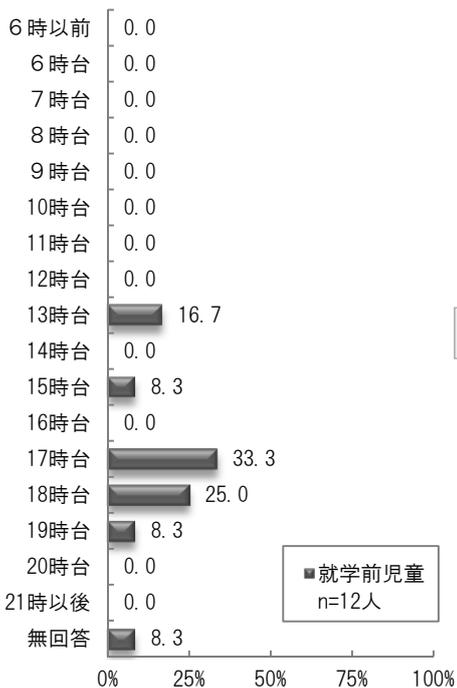
問 15-2(1)-3. ⑥ 利用開始時間



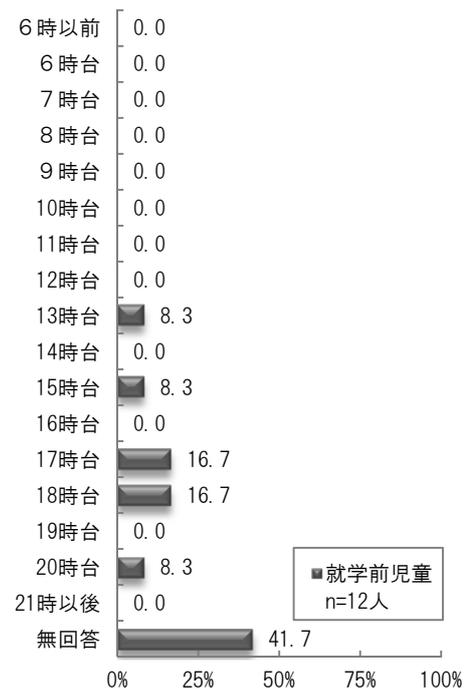
問 15-2(2)-3. ⑥ 希望開始時間



問 15-2(1)-4. ⑥ 利用終了時間



問 15-2(2)-4. ⑥ 希望終了時間

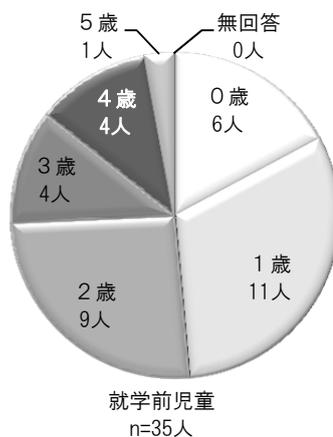


(6) 家庭保育室・ナーサリールーム

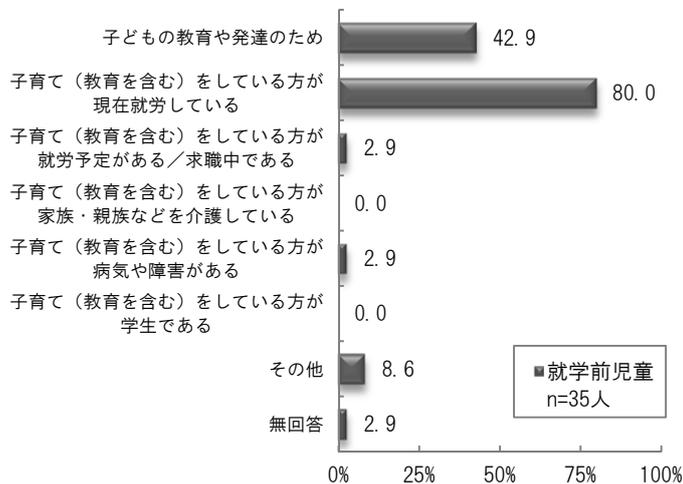
その他認可外保育施設の年齢別利用者数は、1歳（11人）、2歳（9人）、0歳（6人）、3歳と4歳（各4人）の順に利用されています。

利用している理由は、ほとんどが「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（80.0%）であり、次いで「子どもの教育や発達のため」（42.9%）の順に多く、その他理由はごく少数となっています。

問 15-1. ⑦ 家庭保育室・ナーサリールームの年齢別利用者数



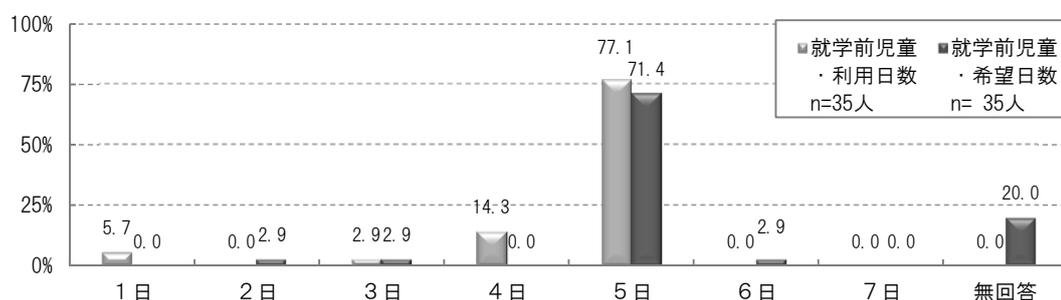
問 15-4. ⑦ 家庭保育室・ナーサリールームを利用している理由



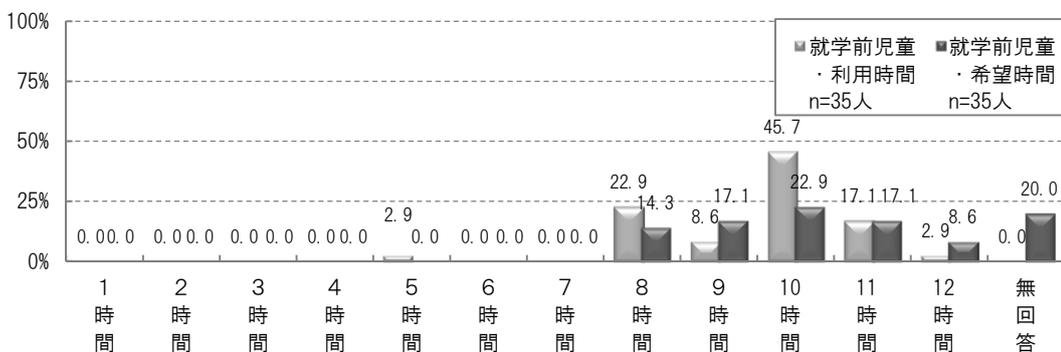
その他認可外保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（77.1%）、「4日」（14.3%）、「1日」（5.7%）の順に多く、希望では「2日」と「6日」（2.9%）が増加した一方で「5日」（71.4%）、「4日」（0%）が減少しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「10時間」（45.7%）、「8時間」（22.9%）の順に多く、希望では「8時間」と「10時間」が減少した一方で「9時間」「12時間」が増加しているため、一部の利用者に時間延長の希望が伺えます。

問 15-2(1)-1. (2)-1. ⑦ 家庭保育室・ナースルームの利用日数と希望日数（1週当たり）

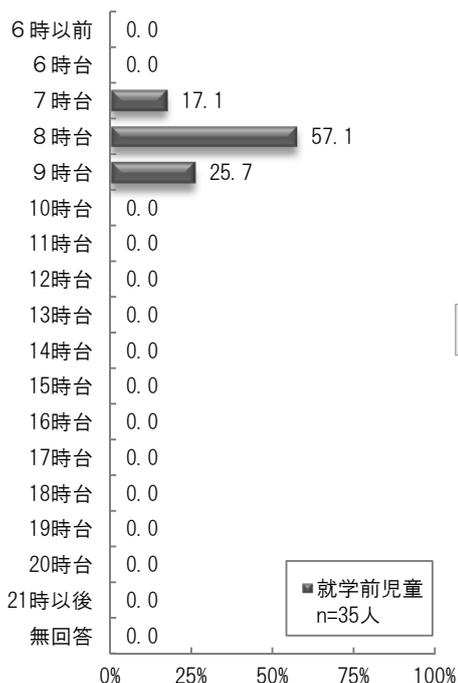


問 15-2(1)-2. (2)-2. ⑦ 家庭保育室・ナースルームの利用時間と希望時間（1日当たり）

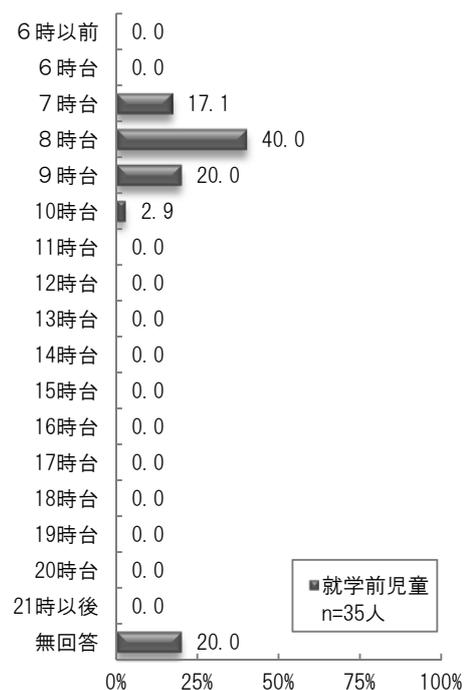


利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(57.1%)、「10時台」(25.7%)、「7時台」(17.1%)の利用順、終了時間は「18時台」(54.3%)、「17時台」が25.7%、「19時台」(14.3%)、「14時台」(2.9%)の利用順となっています。利用時間と希望時間との差は、「17時台」と「18時台」が減少した一方で「19時台」が増加しています。

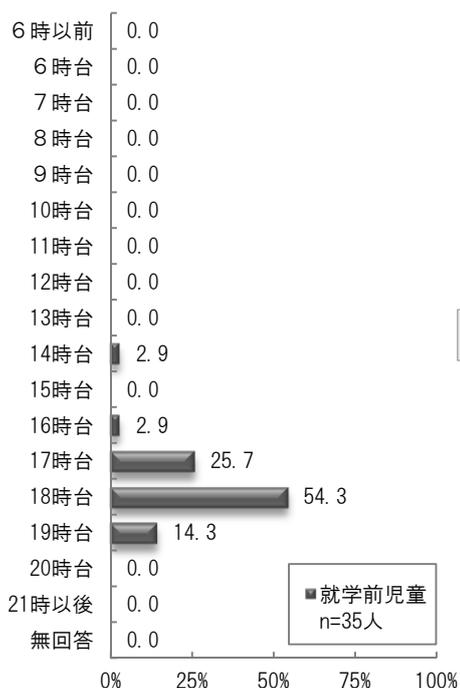
問 15-2(1)-3. ⑦ 利用開始時間



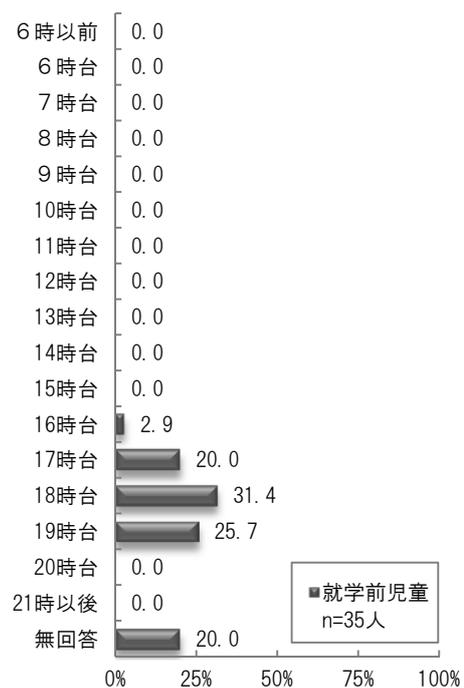
問 15-2(2)-3. ⑦ 希望開始時間



問 15-2(1)-4. ⑦ 利用終了時間



問 15-2(2)-4. ⑦ 希望終了時間

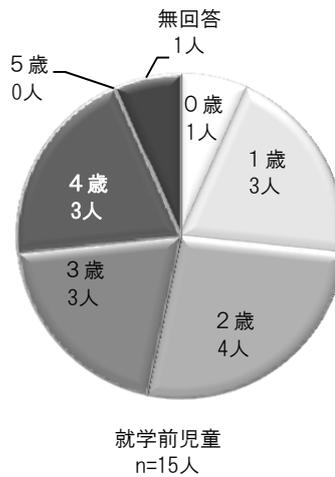


(7) その他認可外保育施設

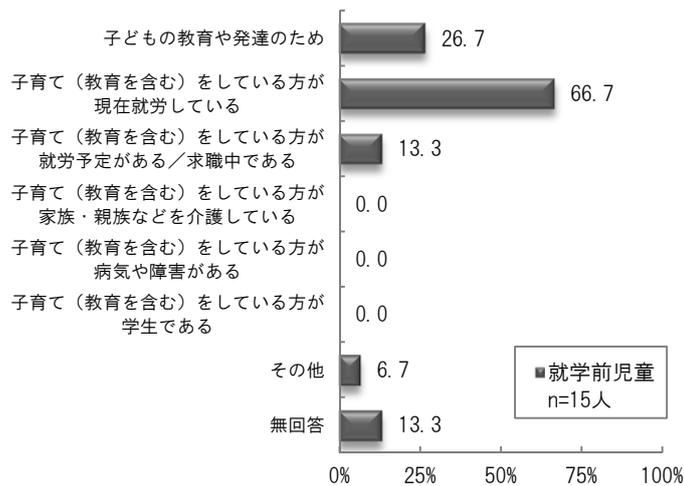
その他認可外保育施設の年齢別利用者数は、2歳（4人）、1歳と3歳と4歳（各3人）、0歳（1人）、無回答（1人）の順に利用されています。

利用している理由は、ほとんどが「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（66.7%）であり、次いで「子どもの教育や発達のため」（26.7%）の順に多く、その他理由はごく少数となっています。

問 15-1. ⑧ その他認可外保育施設の年齢別利用者数



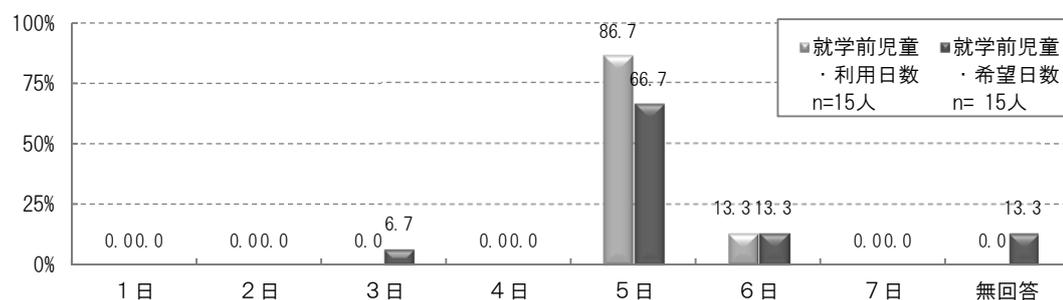
問 15-4. ⑧ その他認可外保育施設を利用している理由



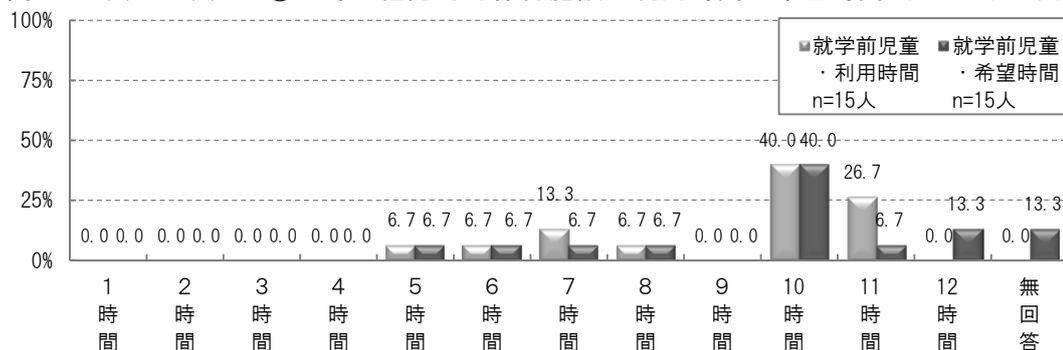
その他認可外保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）をみると、利用では「5日」（86.7%）、「6日」（13.3%）の順に多く、希望では「3日」（6.7%）が増加した一方で「5日」（66.7%）が減少しています。

また、利用時間と希望時間（1日当たり）について、利用では「10時間」（40.0%）、「11時間」（26.7%）、「7時間」（13.3%）の順に多く、希望では「7時間」「11時間」が減少した一方で「12時間」が増加しているため、一部の利用者に時間延長の希望が伺えます。

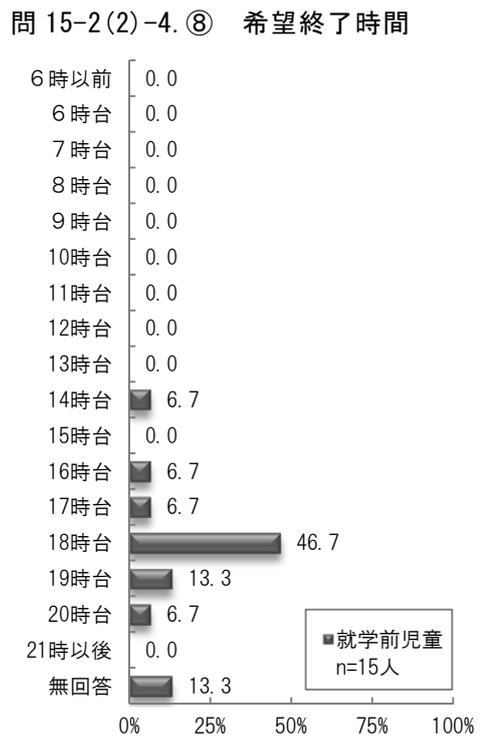
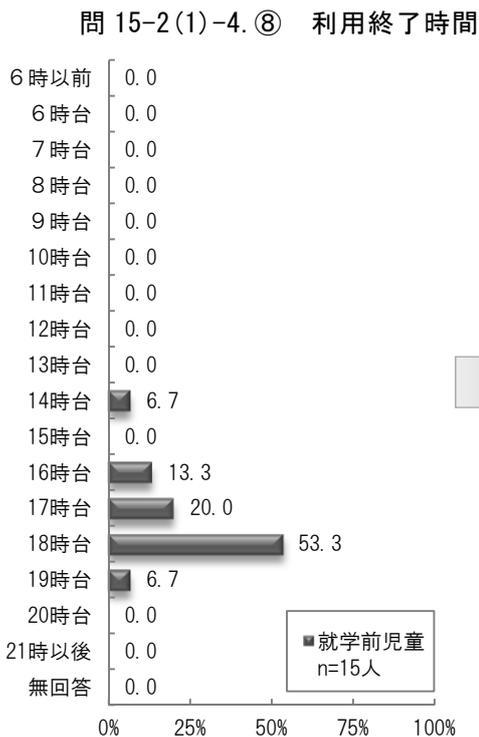
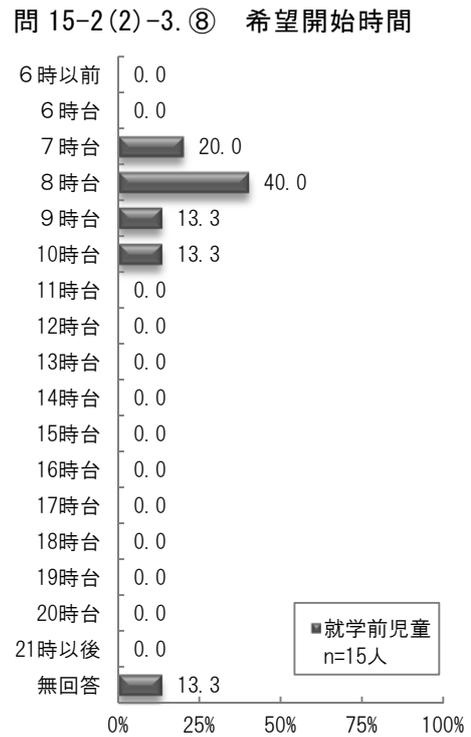
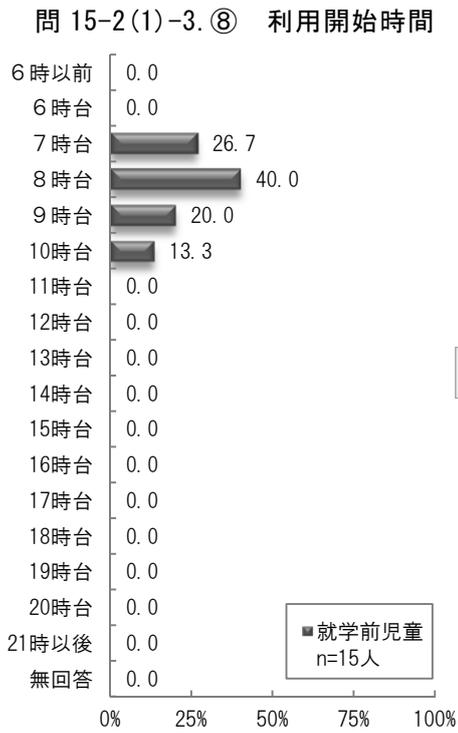
問 15-2(1)-1. (2)-1. ⑧ その他認可外保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）



問 15-2(1)-2. (2)-2. ⑧ その他認可外保育施設の利用時間と希望時間（1日当たり）



利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(40.0%)、「7時台」(26.7%)、「9時台」(20.0%)の利用順、終了時間は「18時台」(53.3%)、「17時台」(20.0%)、「16時台」(13.3%)、「14時台」(6.7%)と「19時台」(6.7%)の利用順となっています。利用時間と希望時間との差は、「16時台」～「18時台」が減少した一方で「19時台」以後が増加しています。

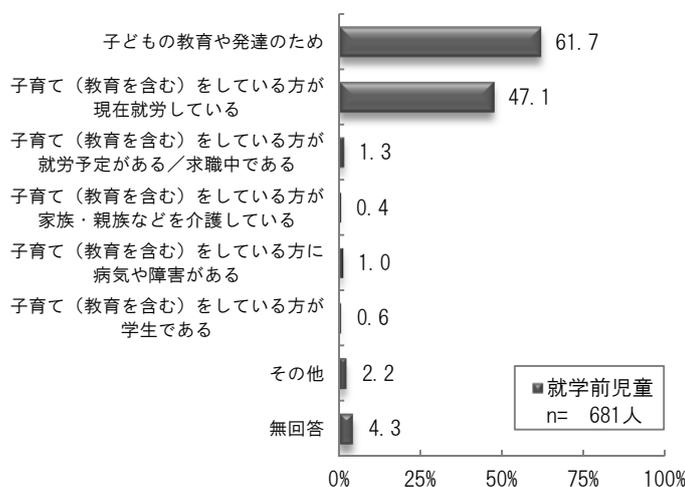


(8) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由

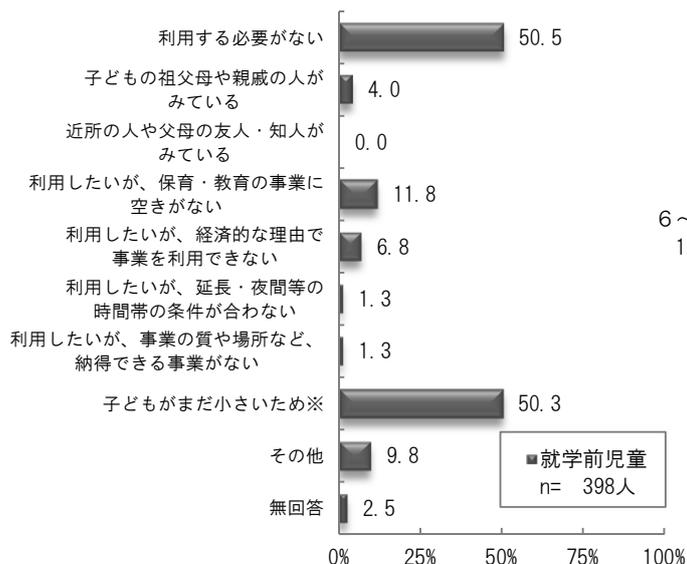
定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(61.7%)、「子育てをしている方が現在就労している」(47.1%)、の順に多く、その他の理由はごく少数となっています。一方、利用しない理由は、「利用する必要がない」(50.5%)、「子どもがまだ小さいため」(50.3%)、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」(11.8%)の順になっています。

利用を希望する子供の年齢は、「0～3歳」(75.0%)、「4～5歳」(19.0%)の順に多くなっています。

問 15-4 定期的な教育・保育事業を利用している理由

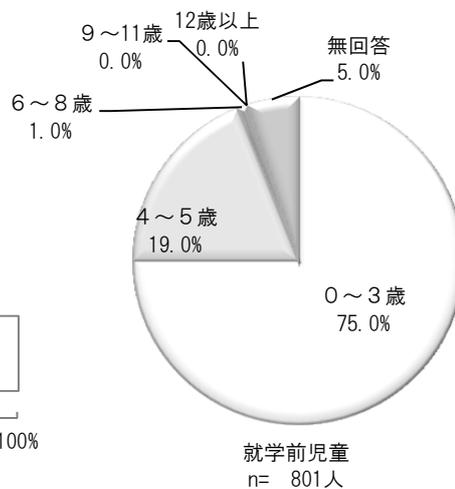


問 15-5 定期的な教育・保育事業を利用しない理由



※ (何歳くらいになったら利用しようと考えている)

問 15-5⑧ 利用を希望する子どもの年齢

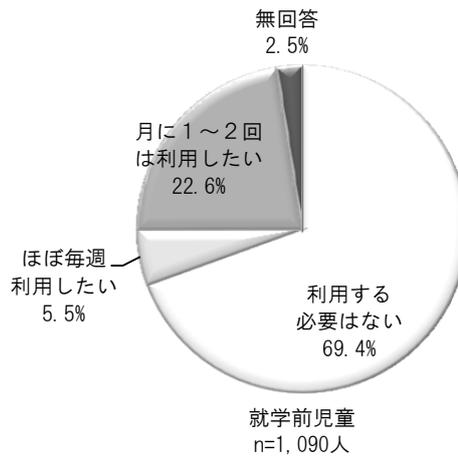


(9) 休日の教育・保育事業の利用意向

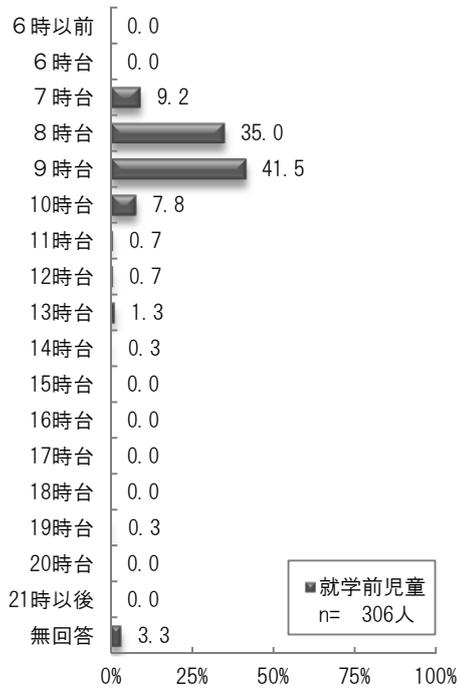
土曜日の利用希望は、「利用する必要はない」(69.4%)、「月に1～2回は利用したい」(22.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(5.5%)となっています。

また、利用希望の開始時間は「9時台」(41.5%)、「8時台」(35.0%)、「10時台」(7.8%)の順、終了時間は、「17時台」(26.1%)、「18時台」(24.5%)、「16時台」(12.7%)の順に希望しています。

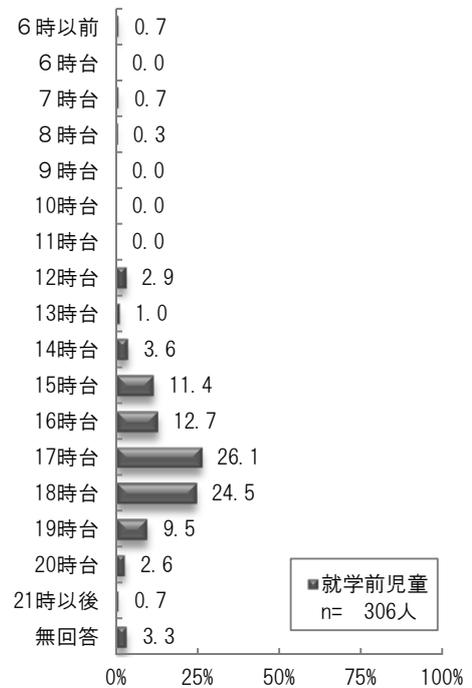
問 20(1) 土曜日の利用希望



問 20(1).1 土曜日の利用希望開始時間



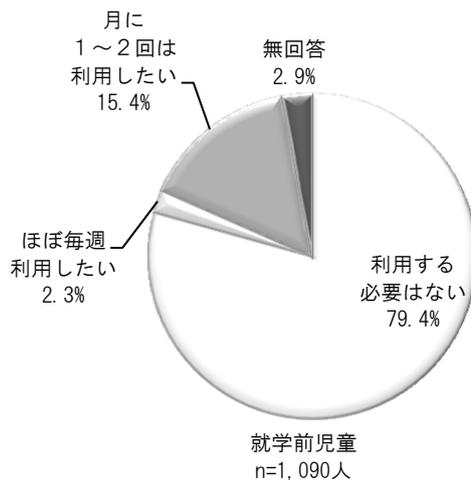
問 20(1).2 土曜日の利用希望終了時間



日曜・祝日の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」(15.4%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.3%)と、17.7%の方が希望しています。

また、利用希望の開始時間は「9時台」(39.9%)、「8時台」(33.2%)、「10時台」(11.9%)の順、終了時間は、「17時台」(26.4%)、「18時台」(23.8%)、「16時台」(9.3%)の順に希望しています。

問 20(2) 日曜・祝日の利用希望



問 20(2).1 日曜・祝日の利用希望開始時間

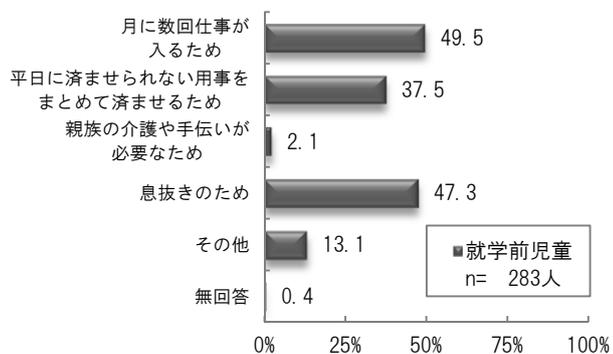


問 20(2).2 日曜・祝日の利用希望終了時間



土曜・日曜・祝日において「月に1～2回は利用したい」方の理由は、「月に数回仕事が入るため」(49.5%)「息抜きのため」(47.3%)「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(37.5%)、の順に多くなっています。

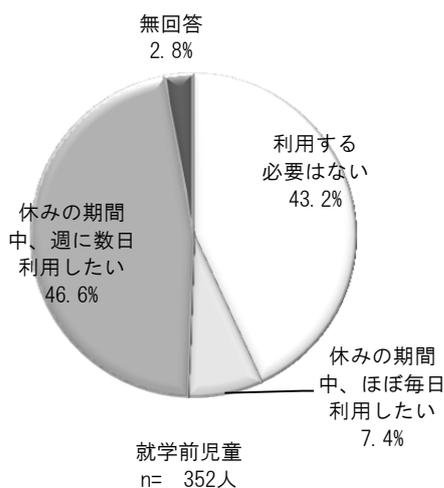
問 20-1 土曜・日曜・祝日「月に1～2回は利用者したい」方の理由



長期休暇中において教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）は、「休みの期間中、週に数日利用したい」（46.6%）、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（7.4%）と、54%の方が希望しています。

また、希望する開始時間は、「9時台」（66.8%）、「8時台」（20.5%）、「10時台」（6.3%）の順、終了時間は「15時台」（28.4%）、「17時台」（22.1%）、「14時台」（16.8%）の順に希望しています。

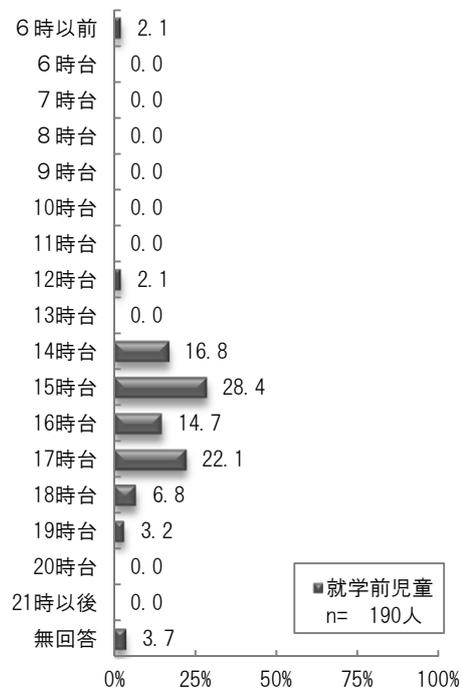
問 21 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）



問 21.1 長期休暇中の希望開始時間

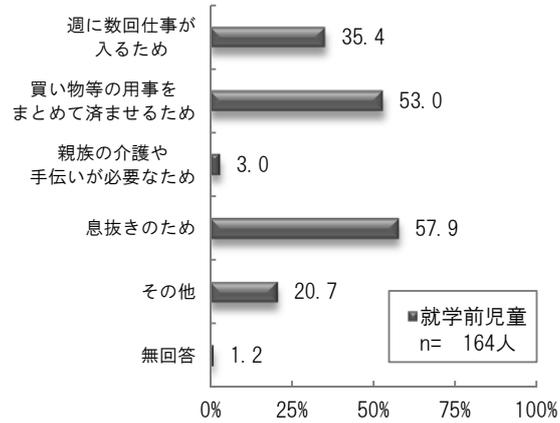


問 21.2 長期休暇中の希望終了時間



長期休暇中において「週に数日利用したい」方の理由は、「息抜きのため」(57.9%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(53.0%)、「週に数回仕事が入るため」(35.4%)の順に多くなっています。

問 21-1 長期休暇中「週に数日利用したい」方の理由



(10) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

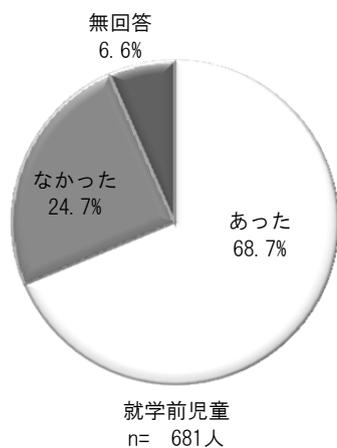
病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことは、「あった」(68.7%)となっています。対処方法は、「母親が休んだ」(62.4%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(33.3%)、「父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた」(31.4%)の順に多くなっています。

母親が休んだ日数は、「10日」(20.9%)、「5日」(16.4%)、「3日」(11.6%)の順、父親では「2日」(24.5%)、「1日」(19.6%)、「5日」(17.5%)の順に多くなっています。

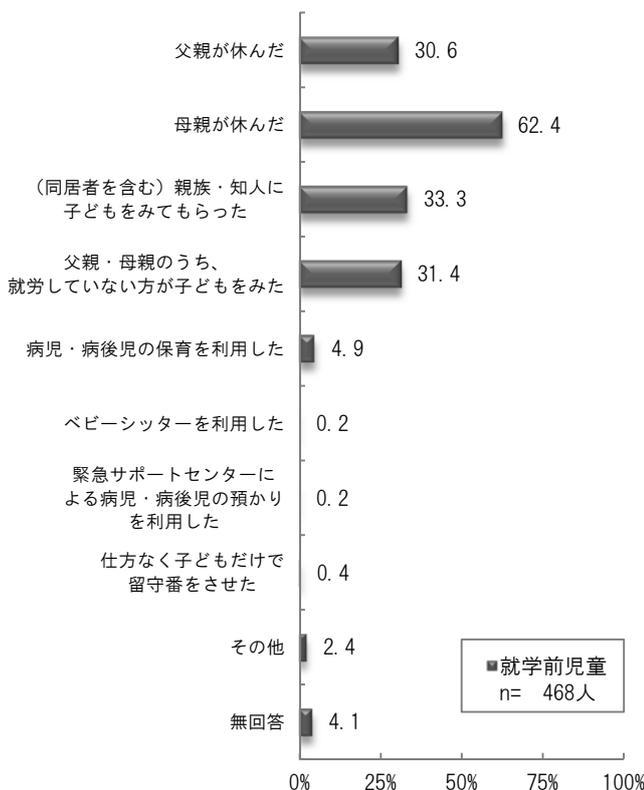
(同居者を含む)親族・知人に預けた日数は、「2日」(16.7%)、「5日」(15.4%)、「3日」(14.7%)の順、就労していない保護者がみた日数は「5日」(19.0%)、「3日」(11.6%)、「7日」(10.9%)の順に多くなっています。

病児・病後児保育を利用した日数は、「1日」(26.1%)、「2日」(21.7%)、「5日」(17.4%)の順、ベビーシッターでは「4日」(100.0%)、緊急サポートセンターでは、「1日」(100%)でした。

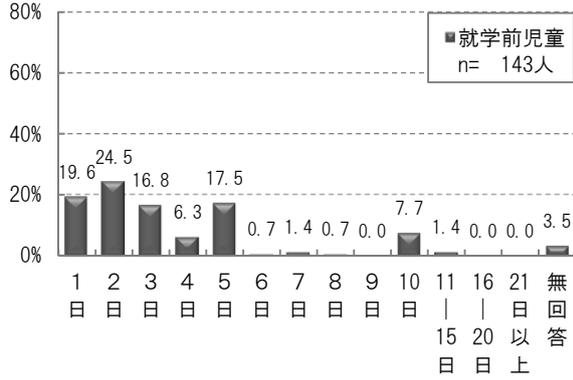
問 22 病気やケガで、通常の事業が利用できなかったことの有無



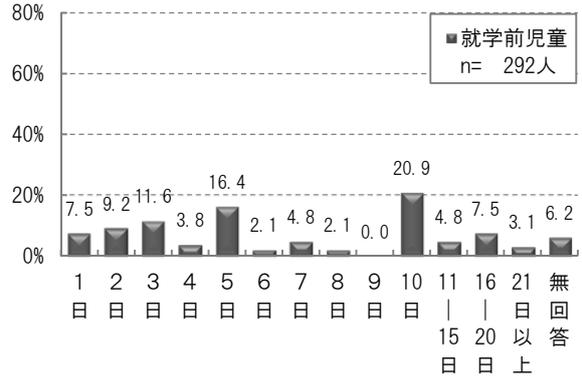
問 22-1 この1年間の対処方法



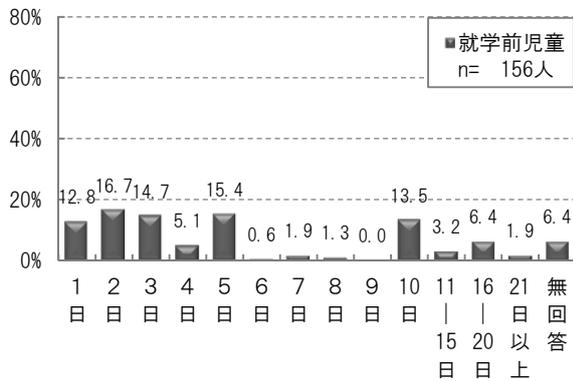
問 22-1.1 父親が休んだ日数



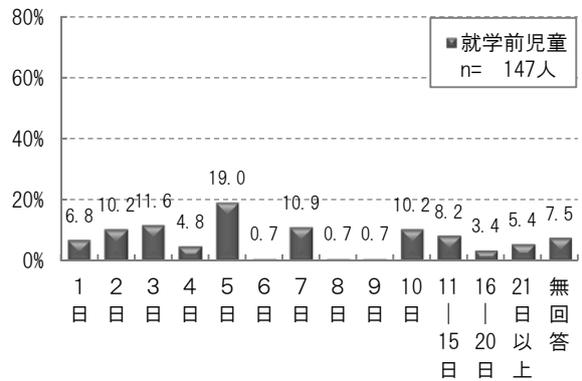
問 22-1.2 母親が休んだ日数



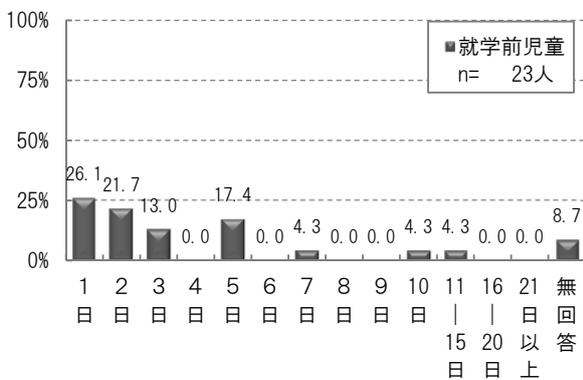
問 22-1.3 (同居者を含む) 親族・知人に預けた日数



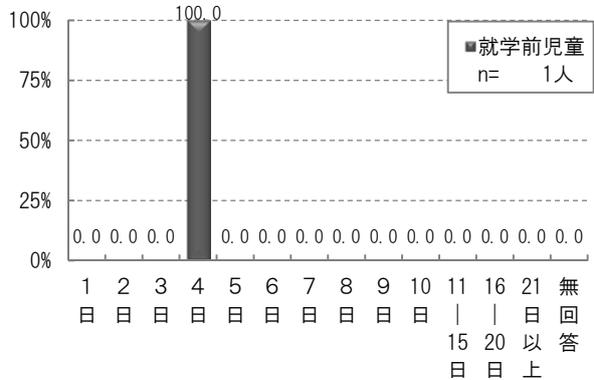
問 22-1.4 就労していない保護者がみた日数



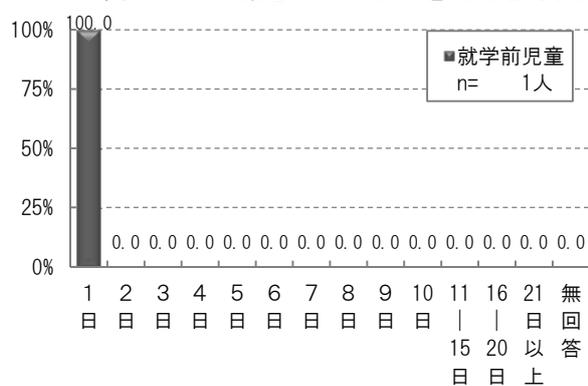
問 22-1.5 病児・病後児保育を利用した日数



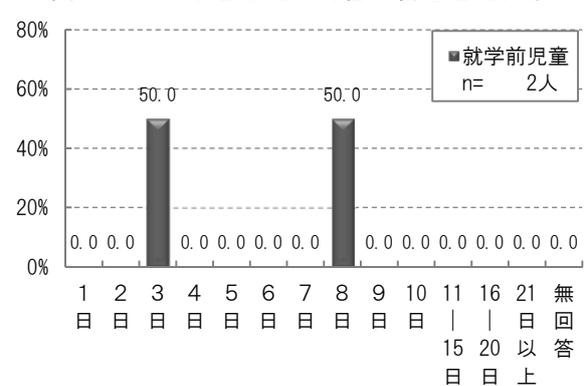
問 22-1.6 ベビーシッターを利用した日数



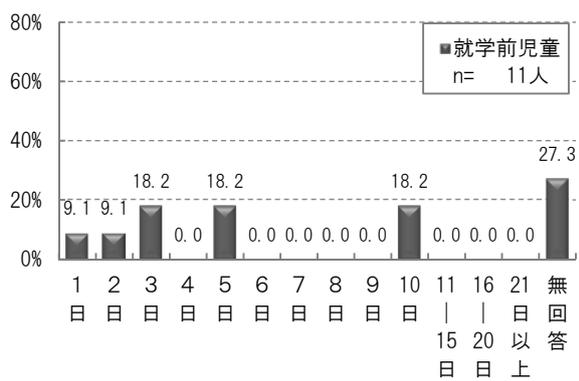
問 22-1.7 緊急ヘルプセンターを利用した日数



問 22-1.8 子どもだけで留守番させた日数



問 22-1.9 その他

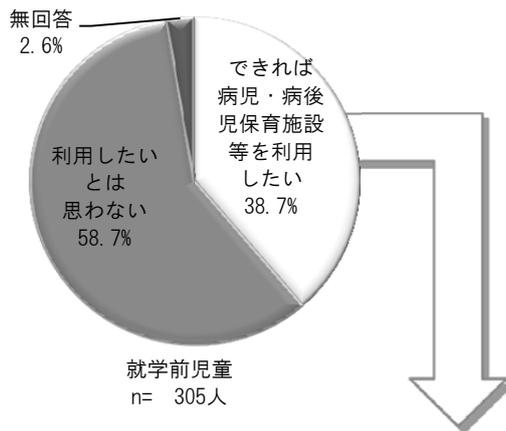


父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、38.7%の方が希望し、その利用日数は「5日」(18.6%)、「10日」(14.4%)の順に多くなっています。

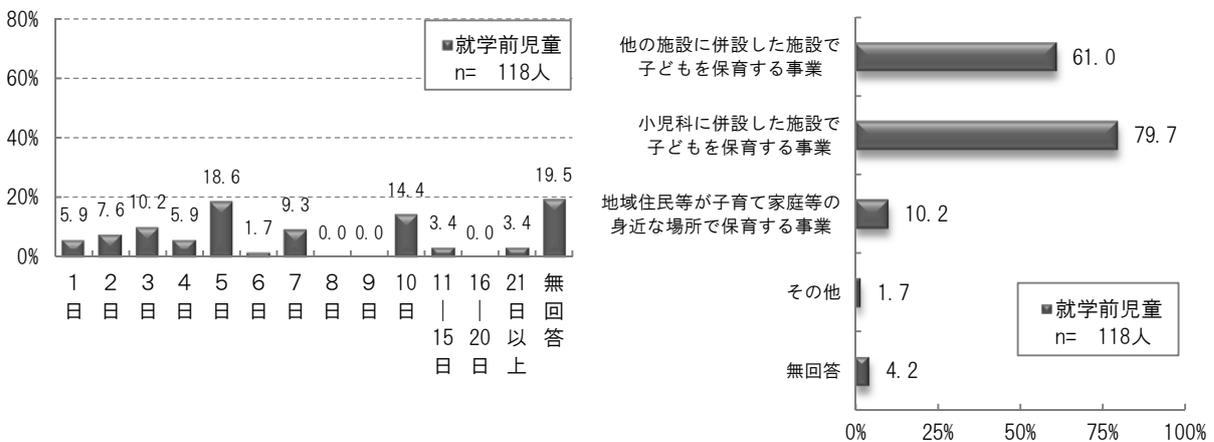
また、子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(79.7%)、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(61.0%)の順に多くなっています。一方、利用意向のない方の理由は、「親が仕事を休んで対応する」(44.7%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(41.3%)、「その他」(30.2%)の順に多くなっています。

父母が休む以外の対処方法を選んだ方に対して「父母が休んで看たい」という意向をみると、45.0%の方が「できれば仕事を休んで看たい」と回答しています。一方、「仕事を休んで看ることは非常に難しい」方の理由は、「子どもの看護を理由に休みが取れない」(54.9%)、「その他」(37.4%)の順に多くなっています。

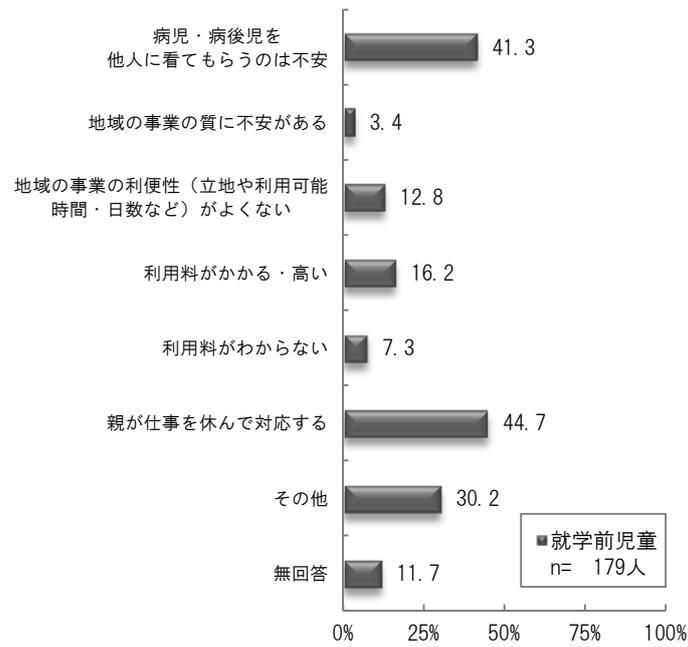
問 22-2 父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設利用意向



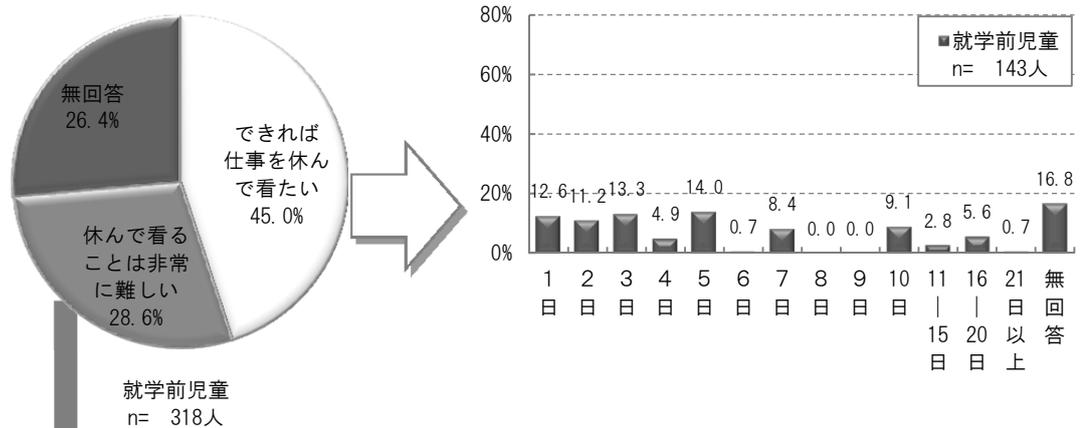
問 22-2.1 問 22-3 子どもを預ける場合の望ましい希望日数（年間）と事業形態



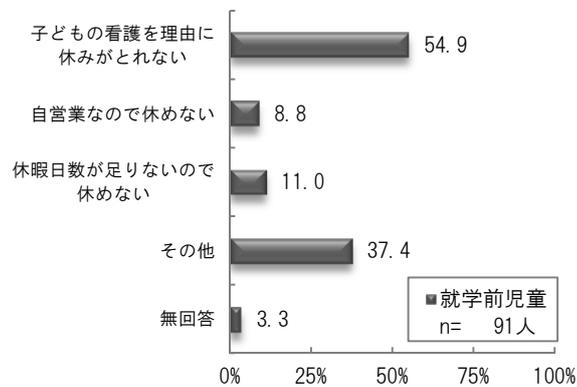
問 22-4 病児・病後児のための保育施設利用意向のない方の理由



問 22-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が休んで看たい」意向と希望日数



問 22-6 「仕事を休んで看することは非常に難しい」の理由



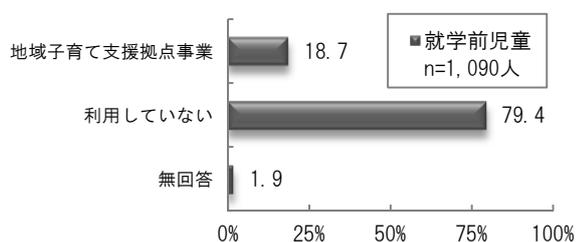
## 2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

### (1) 地域子育て支援拠点事業の利用について

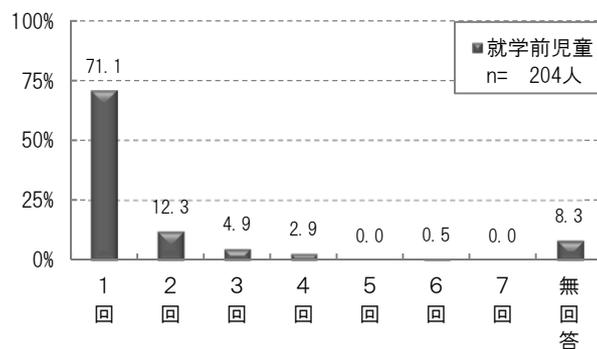
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業」の利用者が18.7%、「利用していない」が79.4%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数（1週当たり）は、「1回」（71.1%）が最も多く、次いで「2回」（12.3%）、「3回」（4.9%）となっています。

問 17 地域子育て支援拠点事業の利用状況



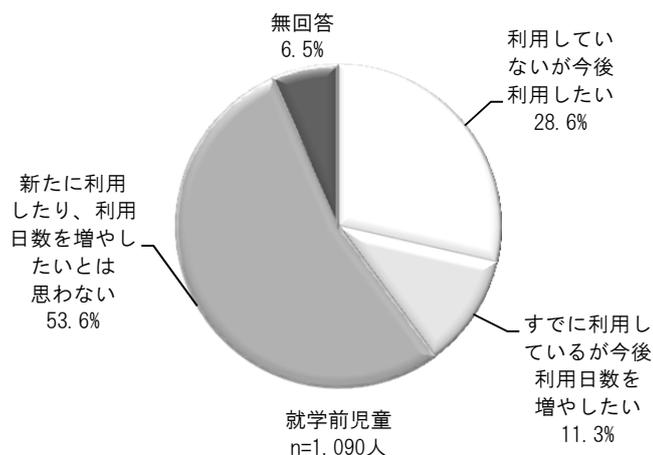
問 17.1.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数（1週当たり）



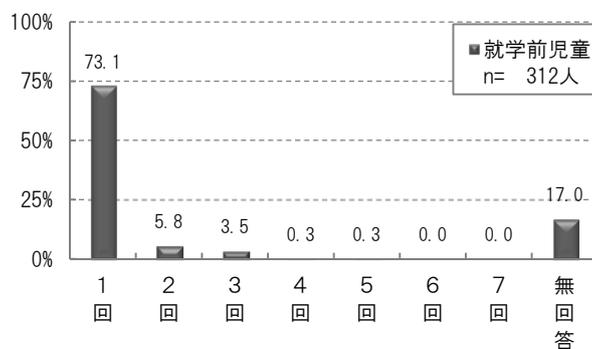
未利用者は、「利用していないが今後利用したい」(28.6%)、利用者は「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」(11.3%)のみとなり、現状維持の利用が多くなっています。

未利用者の希望利用回数(1週当たり)は、就学前児童で「1回」(73.1%)が最も多くなっています。また、利用者の増やしたい利用回数(1週当たり)は、就学前児童で「1回」(52.8%)、「2回」(13.8%)の順に多くなっています。

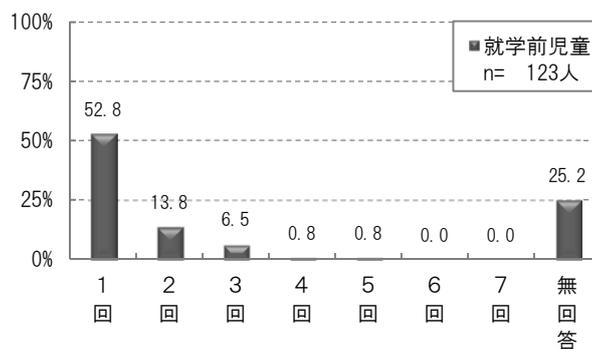
問 18 未利用者・利用者の利用及び利用回数増加希望



問 18.1 未利用者の希望利用回数(1週当たり)



問 18.2 既利用者の増やしたい利用回数(1週当たり)

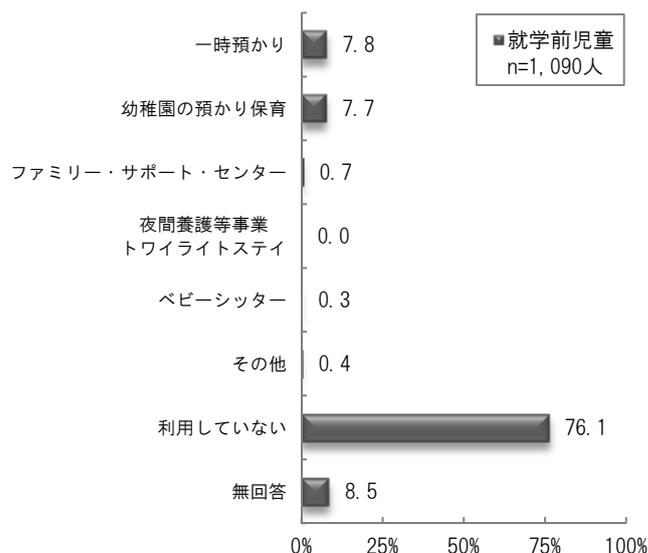


## (2) 不定期の一時保育の利用について

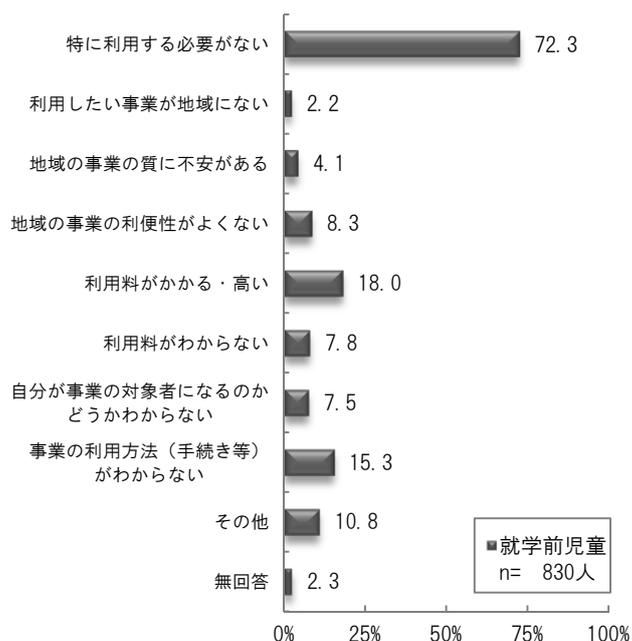
一時保育の利用状況をみると、「幼稚園の預かり保育」(7.7%)、「一時預かり」(7.8%)と、あまり利用がない状況です。

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(72.3%)、「利用料がかかる・高い」(18.0%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(15.3%)の順に多くなっています。

問 23 一時保育事業の利用状況

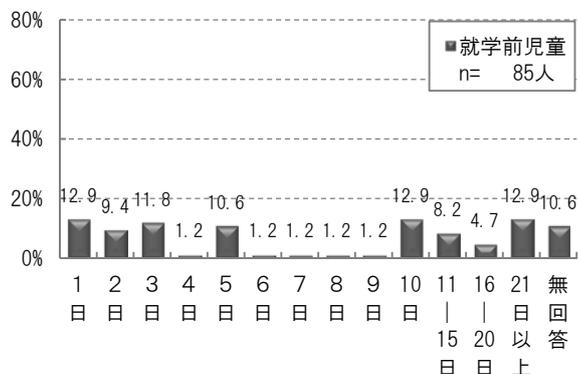


問 23-1 一時保育を利用していない理由



事業ごとに利用日数をみると、一時預かりは、年間「1日」「10日」「21日以上」（各12.9%）、「3日」（11.8%）の順に多くなっています。

問 23.1 一時預かり（年間）



幼稚園の預かり保育は、年間「10日」（22.6%）、「5日」（17.9%）、「1日」（10.7%）の順に多くなっています。

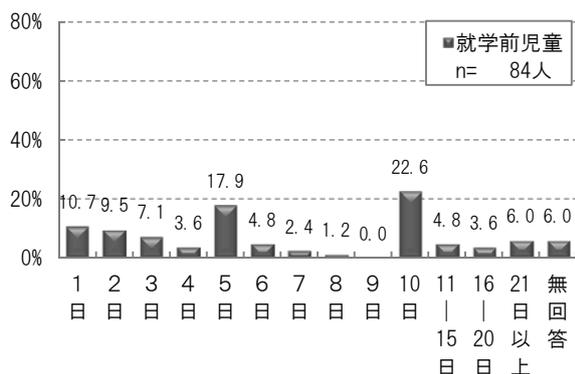
ファミリー・サポート・センターは、「1日～4日」、「7日」、「10日」、「16～20日」（各12.5%）、となっています。

夜間養護等事業（トワイライトステイ）は、該当者はいませんでした。

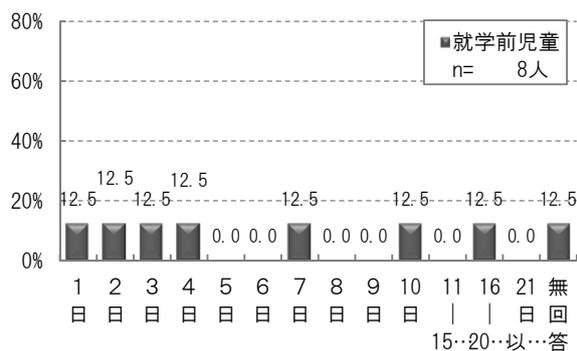
ベビーシッターは、「4日」「7日」（各33.3%）となっています。

その他の事業は、「1日」「10日以上」（各25.0%）、となっています。

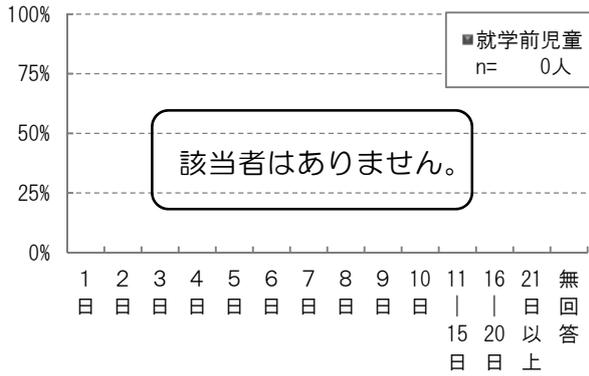
問 23.2 幼稚園の預かり保育（年間）



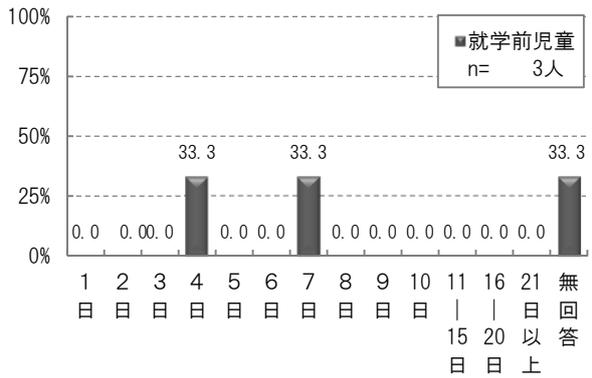
問 23.3 ファミリー・サポート・センター（年間）



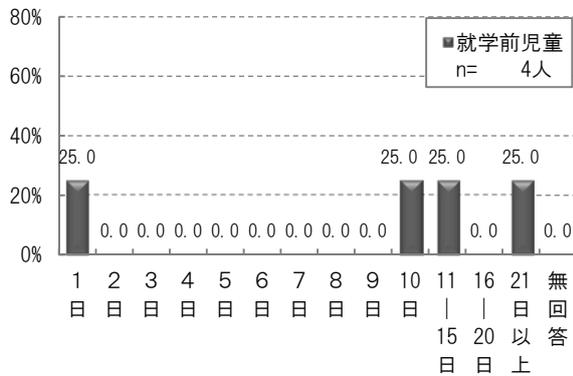
問 23.4 夜間養護等事業（年間）



問 23.5 ベビーシッター（年間）

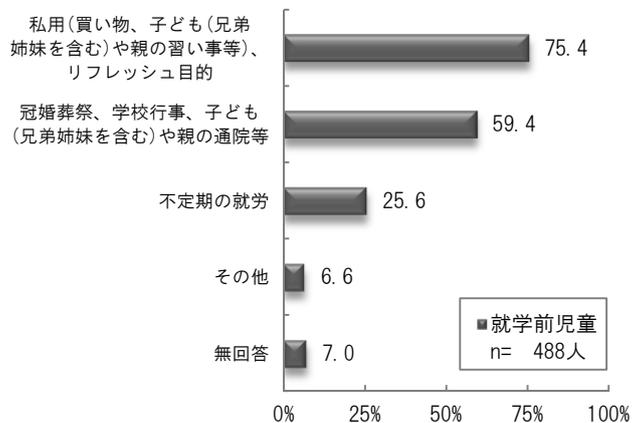
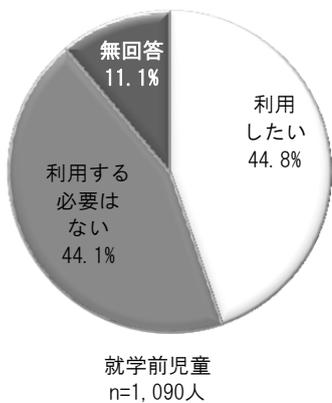


問 23.6 その他（年間）

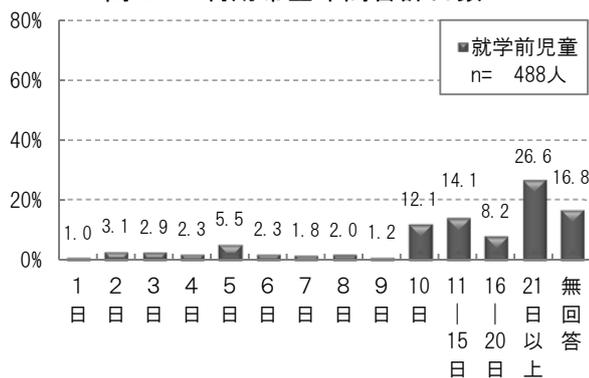


一時保育事業の利用希望とその目的は、「利用する必要はない」（44.1%）、「利用したい」（44.8%）となっています。利用したい方の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」（75.4%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（59.4%）、「不規則の就労」（25.6%）の順に多くなっています。

問 24 一時保育事業の利用希望とその目的



問 24.1 利用希望年間合計日数



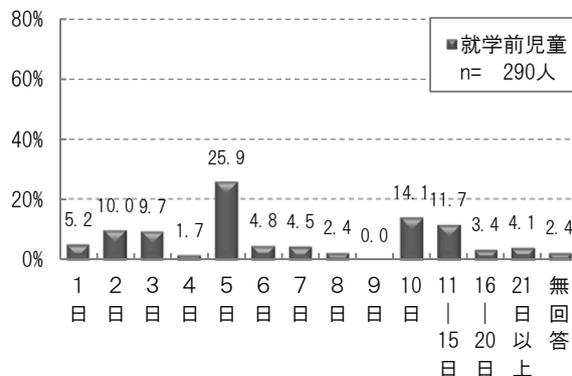
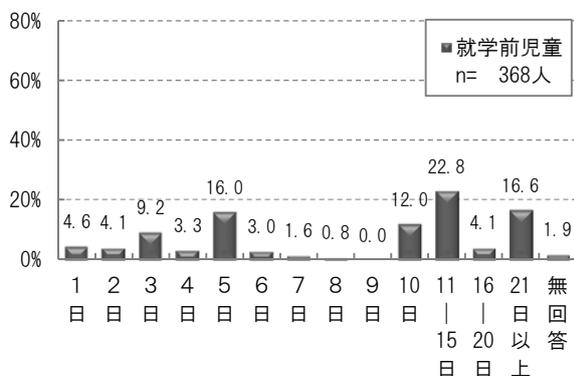
目的ごとの希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、年間「11日～15日」(22.8%)、「21日以上」(16.6%)、「5日」(16.0%)、「10日」(12.0%)の順に多くなっています。

冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的は、「5日」(25.9%)、「10日」(14.1%)の順に多くなっています。

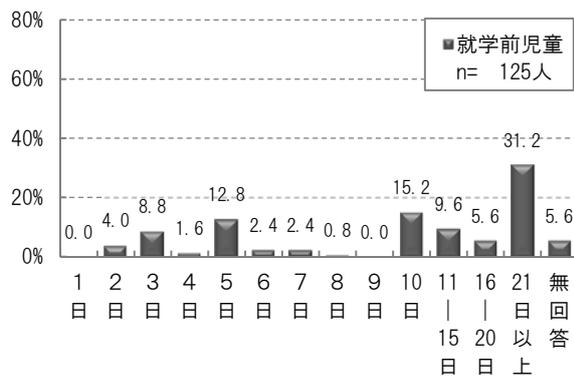
不定期の就労目的は、「21日以上」(31.2%)、「10日」(15.2%)、「5日」(12.8%)の順に多くなっています。

その他の目的は、「3日以上」(18.8%)が最も多くなっています。

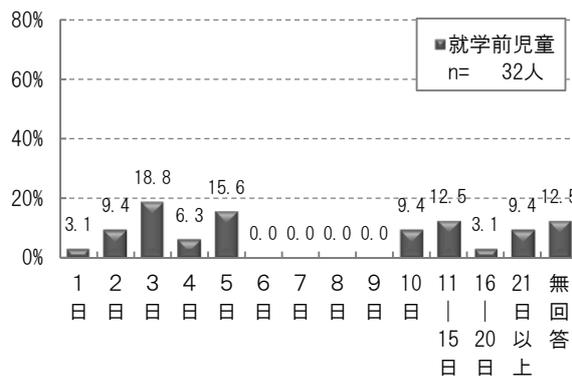
問 24.1.① 私用、リフレッシュ目的 問 24.1.② 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的



問 24.1.③ 不定期の就労目的

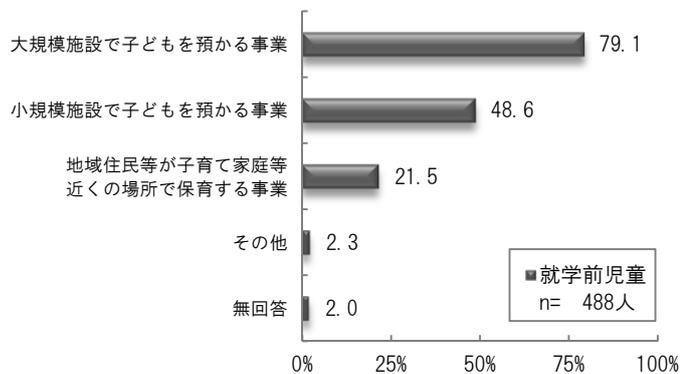


問 24.1.④ その他の目的



子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを預かる事業」(79.1%)、「小規模施設で子どもを預かる事業」(48.6%)、「地域住民等が子育て家庭等近くで保育する事業」(21.5%)の順に多くなっています。

問 24-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

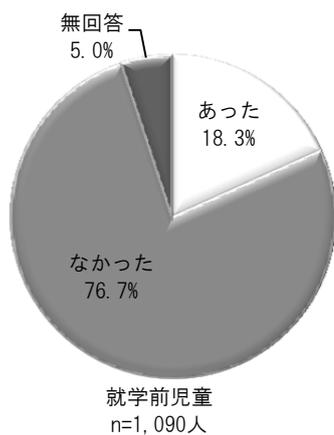


(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について

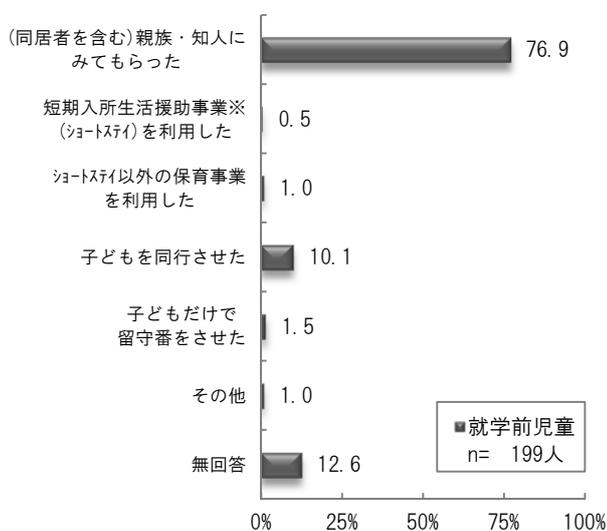
この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けた方は、2割強います。

この対処方法は、「(同居人を含む)親族・知人にみてもらった」(76.9%)が最も多くなっています。また、親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「特に困難ではない」(48.4%)、「どちらかという困難」(33.3%)となっています。

問 25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

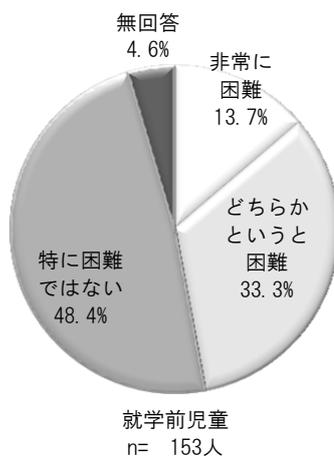


問 25.1 1年間の対処方法



※短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

問 25-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度



(同居者を含む)親族・知人に預けた泊数は、「1泊」(24.2%)、「2泊」(19.6%)、「3泊」(13.7%)の順になっています。

ショートステイを利用した泊数は、無回答(100%)でした。

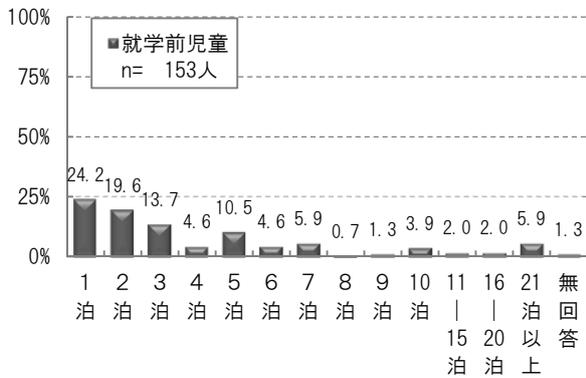
ショートステイ以外を利用した泊数は「5泊」「21泊以上」(50.0%)となっています。

子どもを同行させた泊数は、「1泊」「2泊」(各20.0%)、「10泊以上」(10.0%)の順に多くなっています。

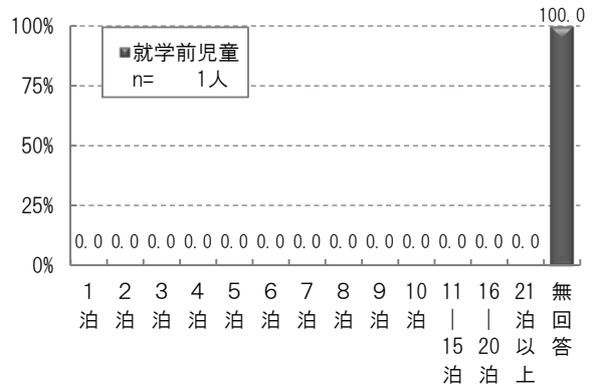
子どもだけで留守番をさせたでは、「1泊」「2泊」(各33.3%)でした。

その他の対処をした泊数では、就学前児童で「1泊」(50.0%)の回答がありました。

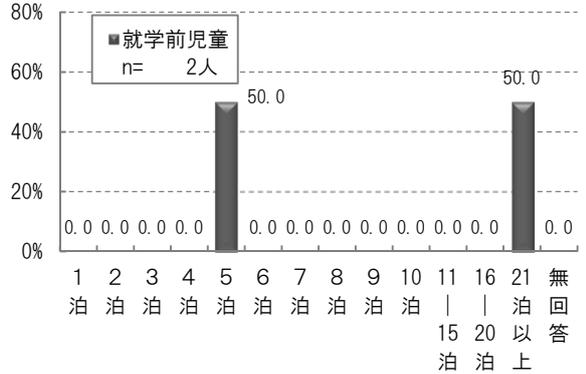
問 25. 1. ① (同居者を含む) 親族・知人に預けた泊数



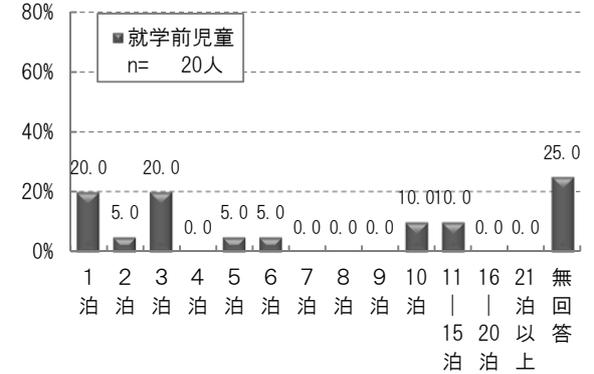
問 25. 1. ② ショートステイを利用した泊数



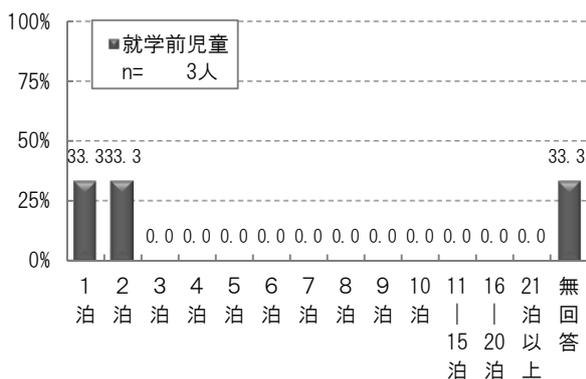
問 25. 1. ③ ショートステイ以外を利用した泊数



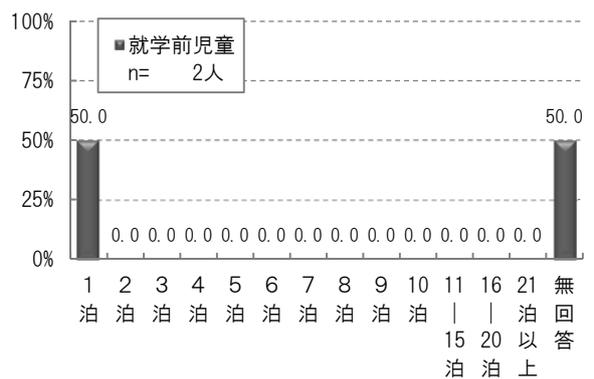
問 25. 1. ④ 子どもを同行させた泊数



問 25. 1. ⑤ 子どもだけで留守番をさせた泊数



問 25. 1. ⑥ その他の対処をした泊数



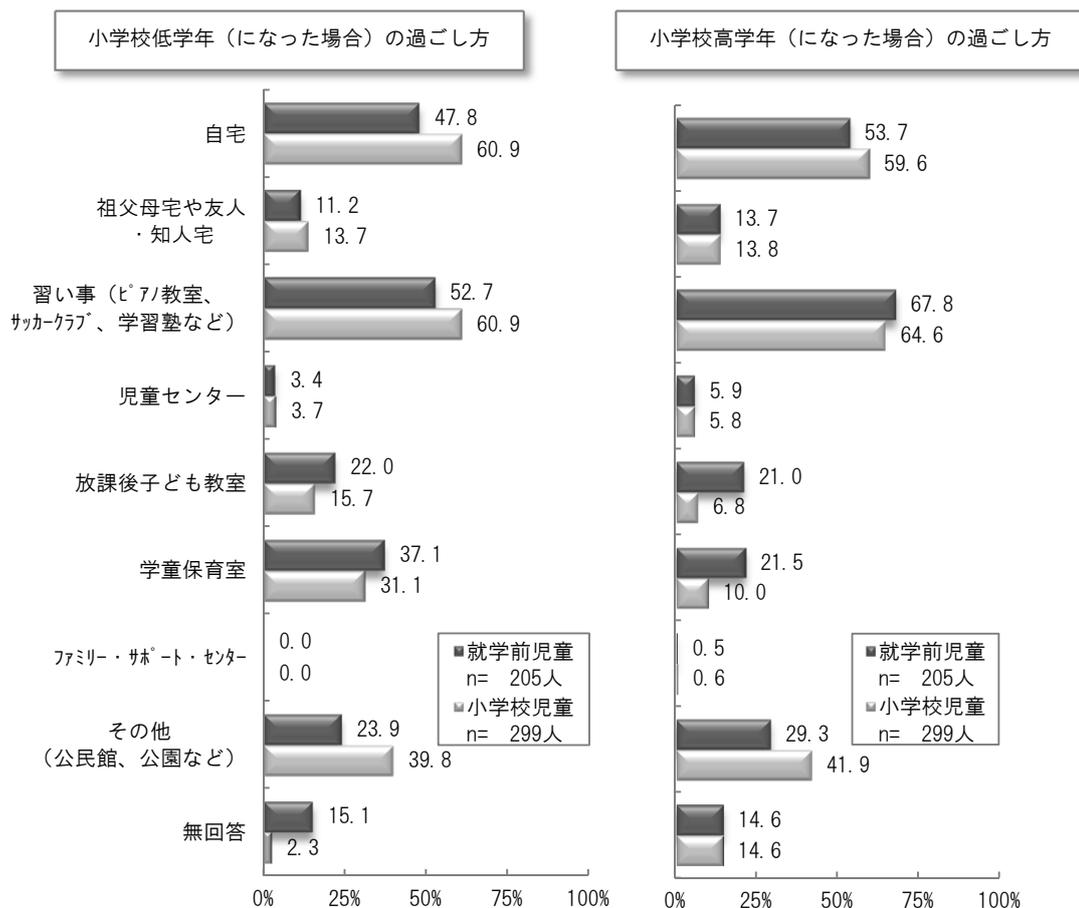
### 3 放課後の過ごし方について

#### (1) 平日の放課後の過ごし方について

放課後の過ごし方をみると、就学前児童では小学校低学年のうち「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（52.7%）、「自宅」（47.8%）、「学童保育室」（37.1%）の順に希望しています。一方、小学校低学年児の希望では、「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（各 60.9%）「その他（公民館、公園など）」（39.8%）となっています。

また、就学前児童からの希望では小学校高学年になっても「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（67.8%）、「自宅」（53.7%）、「その他（公民館、公園など）」（29.3%）」となり、小学校低学年児の希望も同じ傾向となっています。

問 26・問 27[問 10・問 11] 放課後の過ごし方の希望



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生、「小学校児童」は1～6年生の意味です。

就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「2日」（低学年時期 27.6%）「1日」（高学年時期 36.4%）が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、「1日」（低学年時期 65.2%・高学年時期 50.0%）が最も多くなっています。

「習い事」では、低学年・高学年の時期ともに「1～3日」という回答が多くを占めています。「児童センター」と「放課後子ども教室」では、低学年の時期において「1～5日」の中で回答がばらついています。低学年の時期は「1日」、高学年の時期も「1日」という回答が多くなっています。

「学童保育室」では、「5日」（低学年時期 55.3%・高学年時期 43.2%）が最も多くなっています。「ファミリー・サポート・センター」では、希望人数がごく少数であるため、傾向はみられません。

一方、小学校児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「5日」（低学年時期 21.4%）と「1日」「2日」（高学年時期 25.4%）が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」（低学年時期 65.9%・高学年時期 52.7%）が最も多く、次いで「2日」（低学年時期 24.4%・高学年時期 22.0%）となっています。

「習い事」では、低学年・高学年の時期にかかわらず「1～3日」という回答が多くを占めています。「児童館」では、低学年の時期には希望がありますが、高学年の時期になると利用希望が大幅に減少しています。「放課後子ども教室」では、「1日」が最も多く（低学年時期 87.2%・高学年時期 66.7%）となっています。

「学童保育室」では、「5日」（低学年時期 54.8%・高学年時期 34.8%）が最も多く、低学年の時期での利用希望が多くなっています。

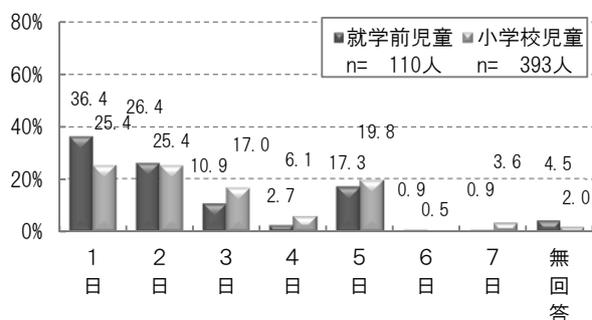
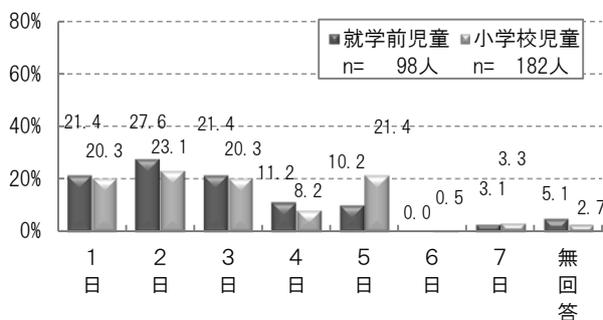
「ファミリー・サポート・センター」では、希望人数がごく少数であるため、傾向はみられません。

問 25・問 26[問 9・問 10] 放課後の過ごし方の希望日数  
(※小学生は現状または希望する日数)

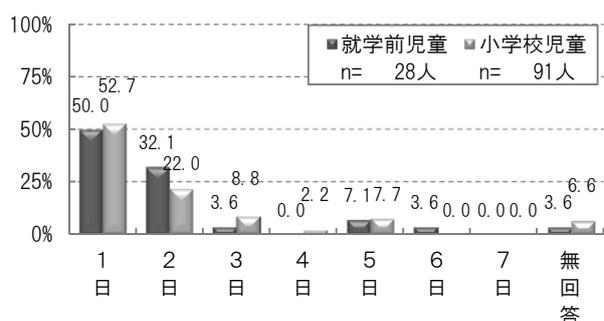
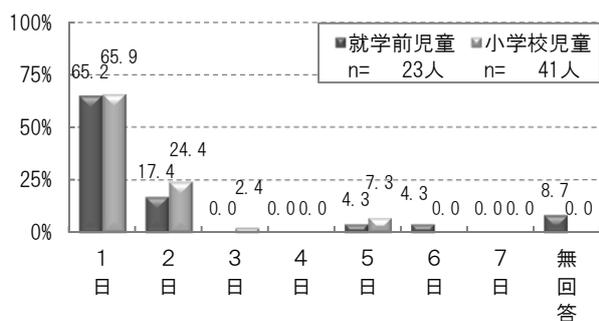
小学校低学年(なった場合)の過ごし方

小学校高学年(なった場合)の過ごし方

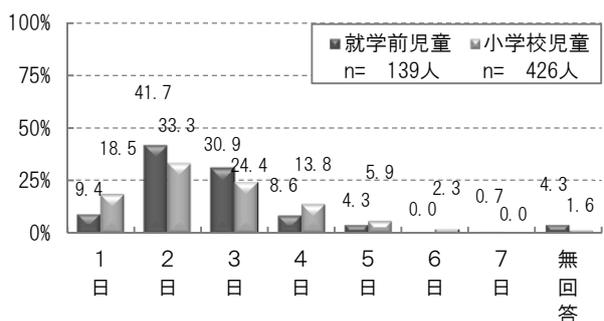
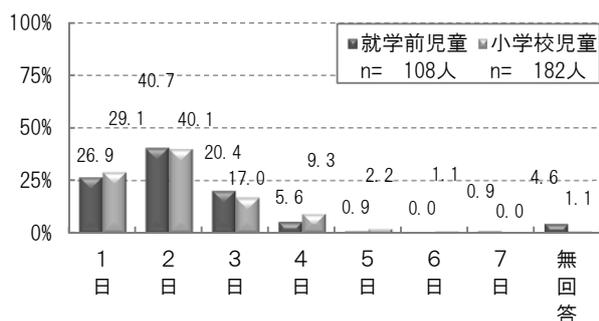
自宅



祖父母宅や友人・知人宅



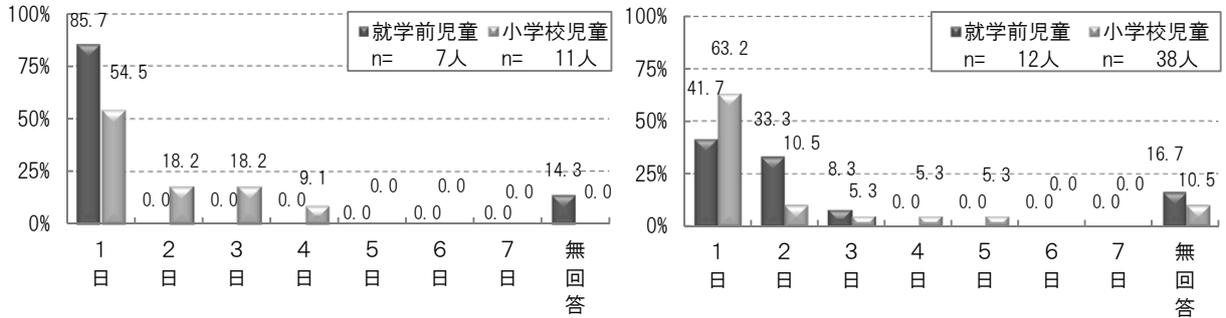
塾や習い事



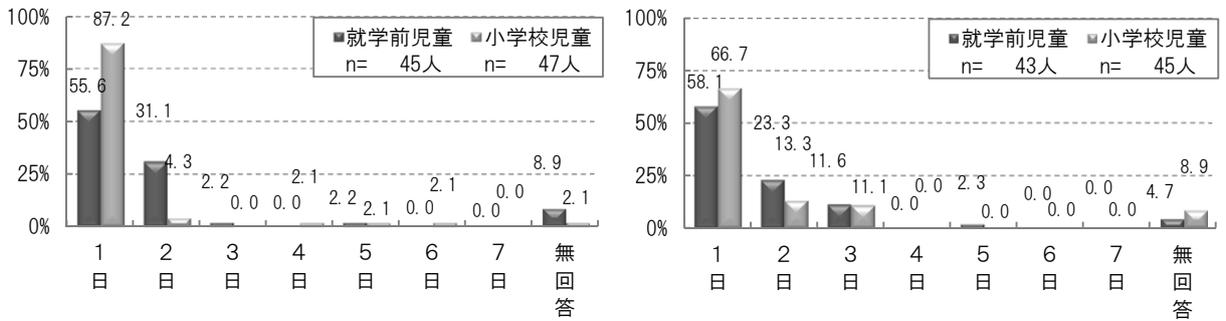
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

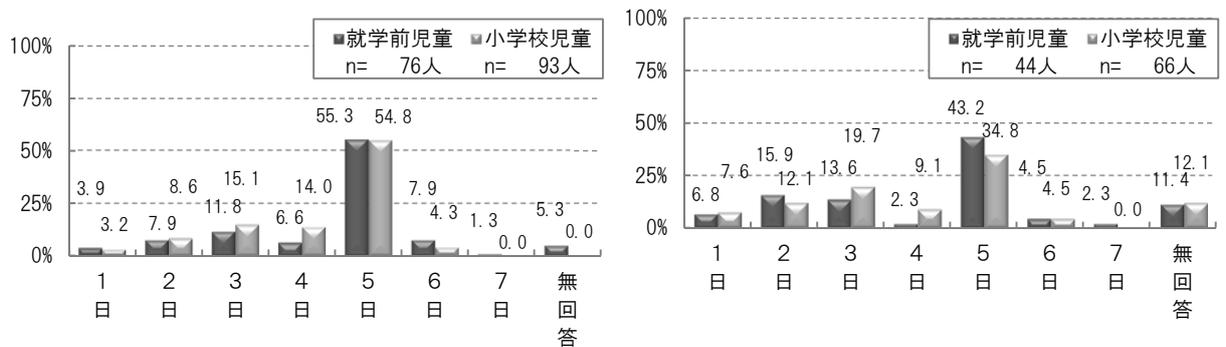
児童センター



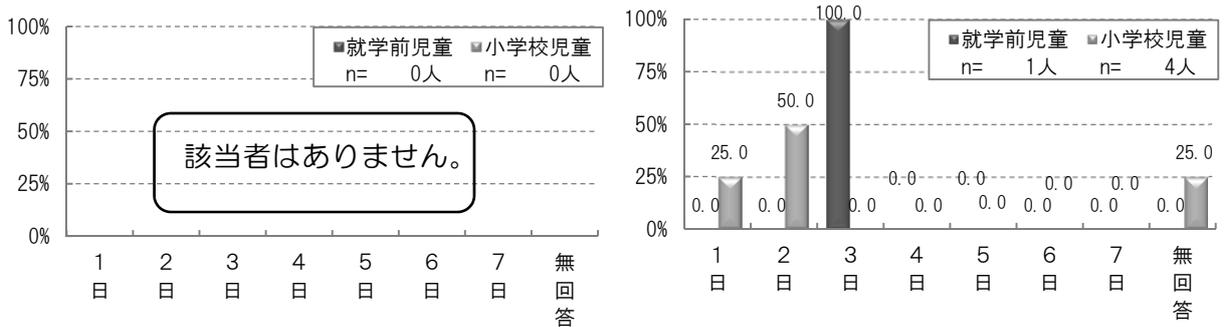
放課後子ども教室



学童保育室



ファミリー・サポート・センター

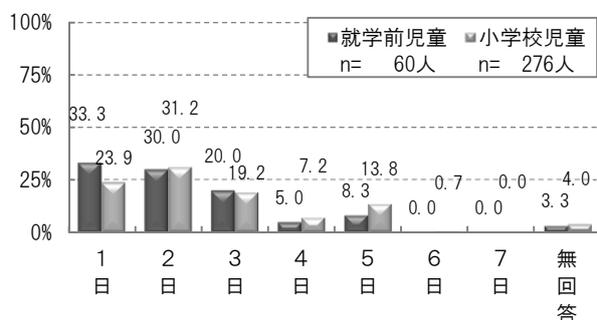
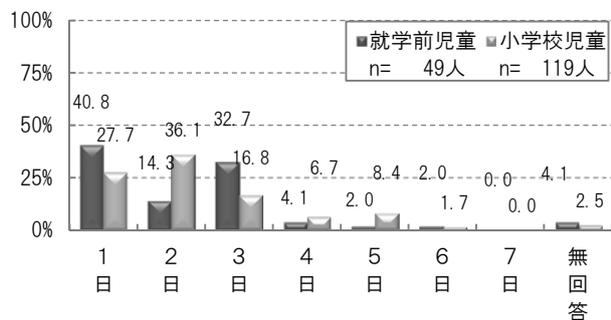


該当者はありません。

小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

その他（公民館、公園等）



下校時から学童保育室を何時まで利用したいかをみると、就学前児童では低学年の時期で「19 時台」(35.5%)、「18 時台」(34.2%)、「17 時台」(19.7%)の順、高学年の時期で「17 時台」「19 時台」(各 29.5%)、「18 時台」(20.5%)の順に希望し、高学年の時期で「17 時台」までの利用希望がやや増えています。

一方、小学校児童では低学年の時期で「18 時台」(41.9%)、「19 時台」(23.7%)、「17 時台」(19.4%)の順、高学年の時期で「18 時台」(45.5%)、「19 時台」(22.7%)の順に希望しています。低学年の時期で「18 時台」が4割程度ありましたが、高学年の時期でもさほど変わっていません。

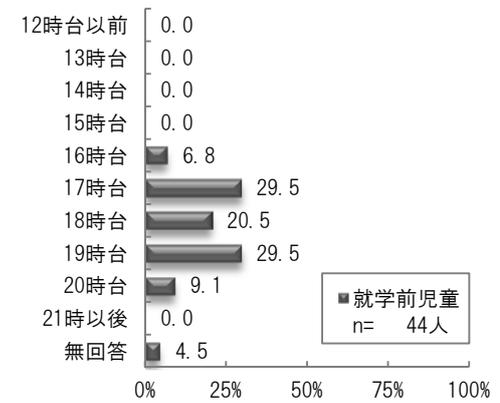
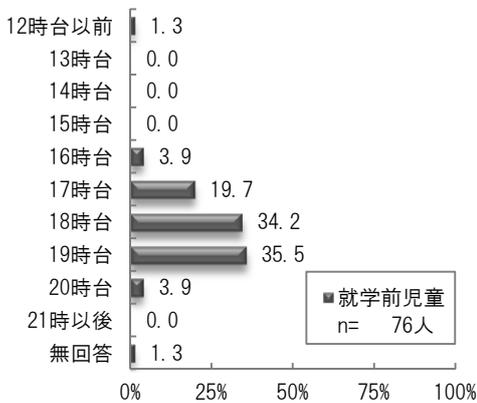
「学童保育室」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（就学前児童の希望）

【小学校低学年の時期】

【小学校高学年の時期】

問 26. 6. 1 下校時からの利用希望時刻

問 27. 6. 1 下校時からの利用希望時刻



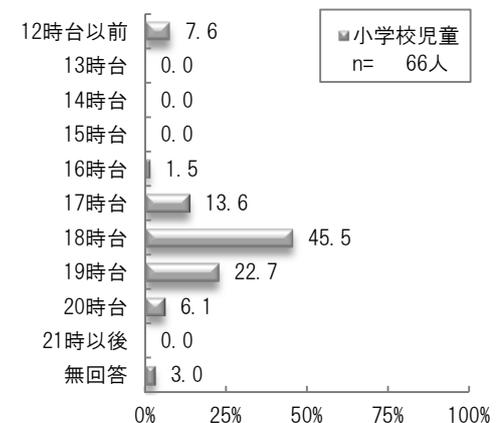
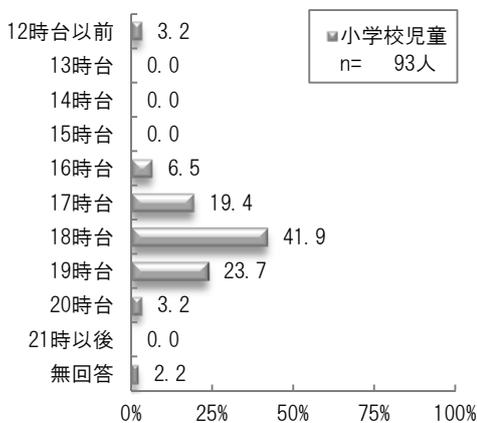
「学童保育室」を選んだ場合の具体的な利用希望時間（小学校児童の希望）

【小学校低学年の時期】

【小学校高学年の時期】

[問 10] . 6. 1 下校時からの利用希望時刻

[問 11] . 6. 1 下校時からの利用希望時刻



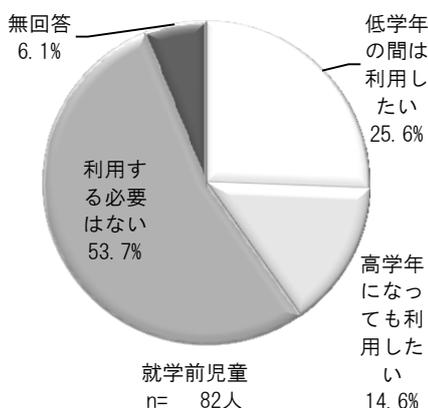
(2) 土曜・休日の学童保育室利用について

学童保育室の土曜・休日の利用希望をみると、就学前児童では「低学年の間は利用したい」(土曜 25.6%・休日 11.0%)、「高学年になっても利用したい」(土曜 14.6%・休日 0.8%)、「利用する必要はない」(土曜 53.7%・休日 76.8%)となっています。一方、小学校児童では「低学年の間は利用したい」(土曜 7.4%・休日 0.8%)、「高学年になっても利用したい」(土曜 27.0%・休日 13.1%)、「利用する必要はない」(土曜 50.0%・休日 68.2%)となっており、小学校児童の希望割合が低下しています。

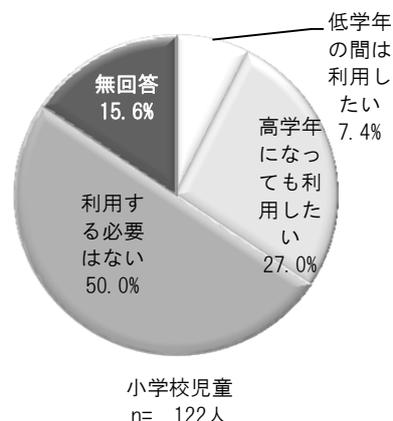
土曜日の希望利用開始時刻は、「8 時台」(就学前児童 43.8%・小学校児童 47.1%)が最も多く、希望利用終了時刻では就学前児童が「17 時～19 時台」(各 27.3%)、小学校児童は「18 時台」(33.3%)が最も多くなっています。

休日の希望利用開始時刻は、「8 時台」(就学前児童 45.9%・小学校児童 51.9%)が最も多く、希望利用終了時刻では就学前児童が「19 時台」(43.8%)、小学校児童は「18 時台」(41.2%)が最も多くなっています。

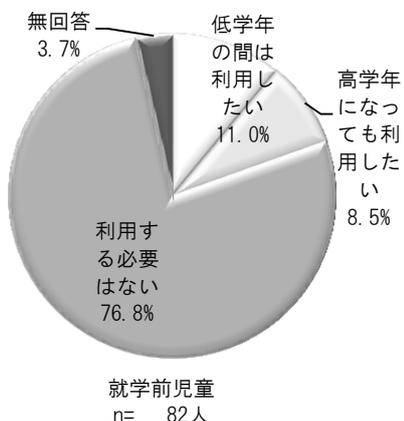
問 28(1) 土曜日の利用希望



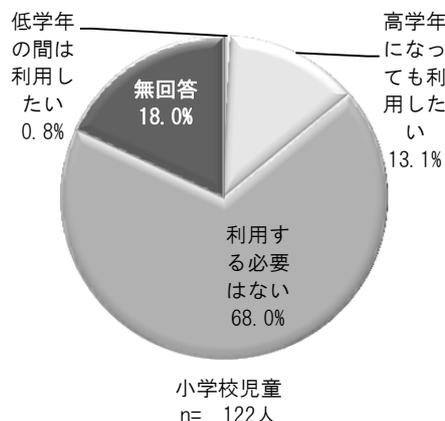
[問 12] (1) 土曜日の利用希望



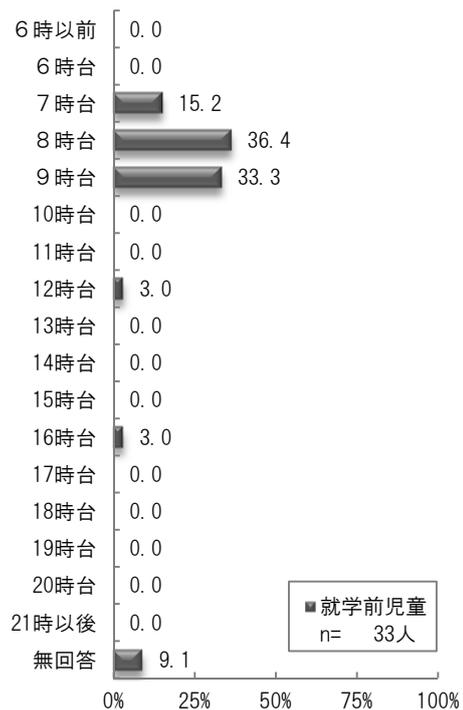
問 28(2) 日曜・祝日の利用希望



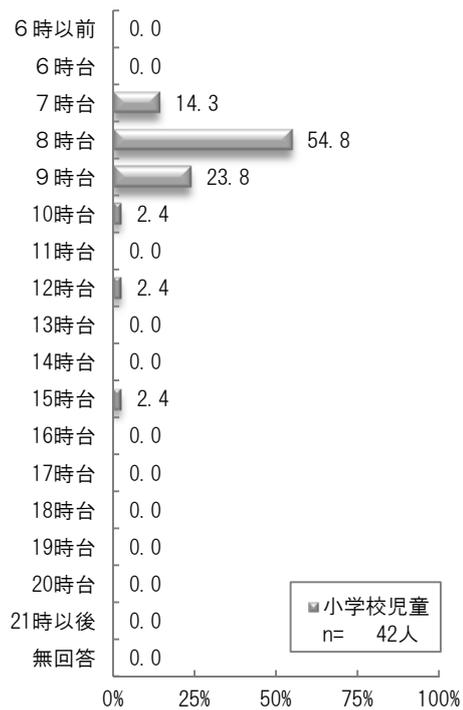
[問 12] (2) 日曜・祝日の利用希望



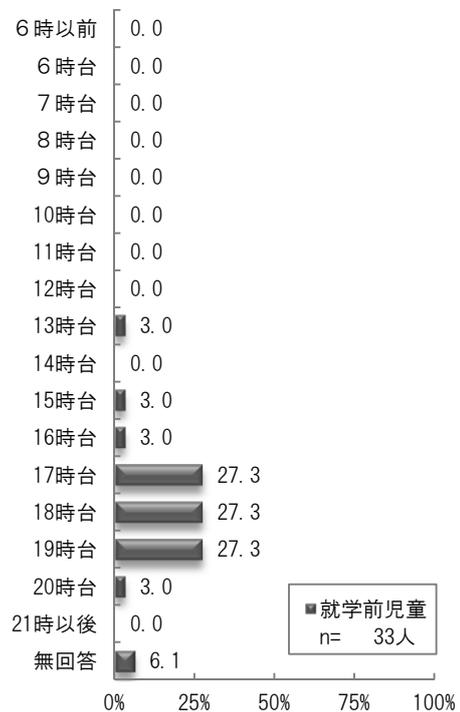
問 28(1).1 土曜日の希望利用開始時間



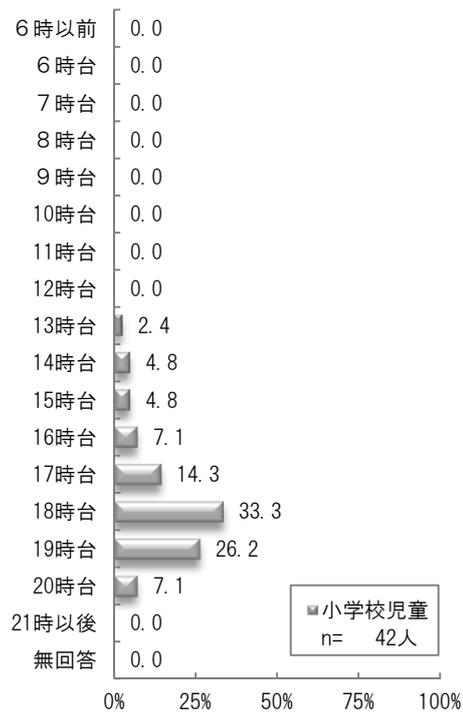
[問 12] (1).1 土曜日の希望利用開始時間



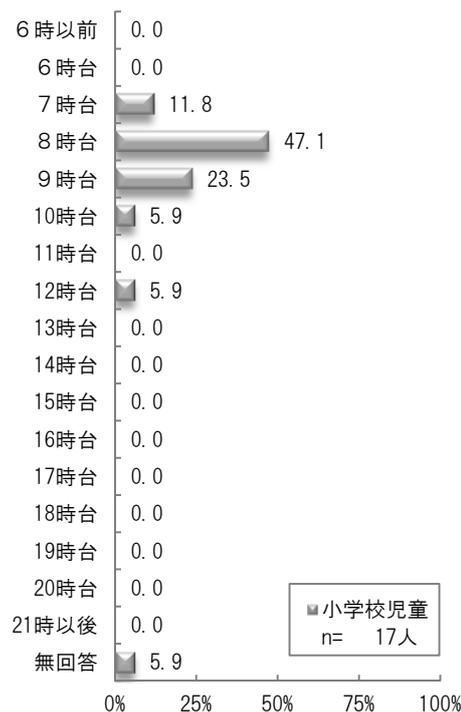
問 28(1).2 土曜日の希望利用終了時間



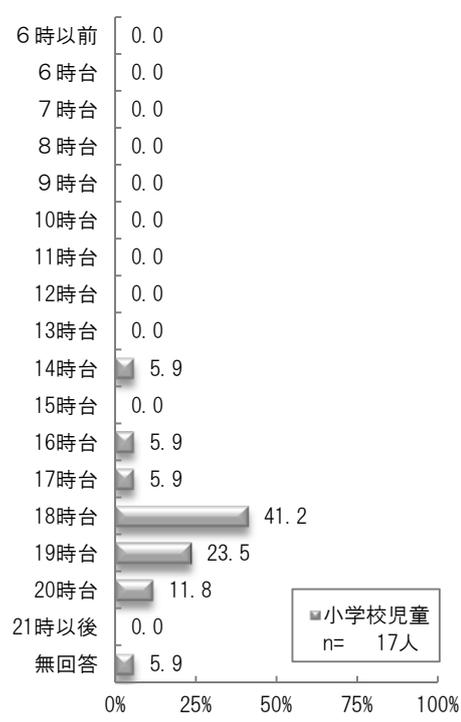
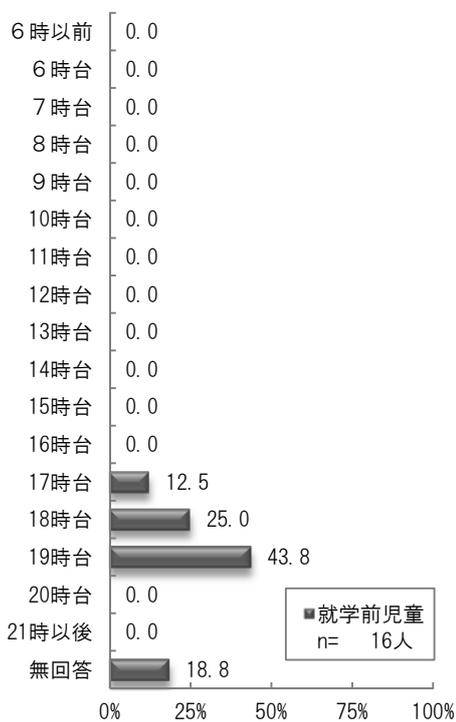
[問 12] (1).2 土曜日の希望利用終了時間



問 28(2).1 日曜・祝日の希望利用開始時間 [問 12] (2).1 日曜・祝日の希望利用開始時間



問 28(2).2 日曜・祝日の希望利用終了時間 [問 12] (2).2 日曜・祝日の希望利用終了時間

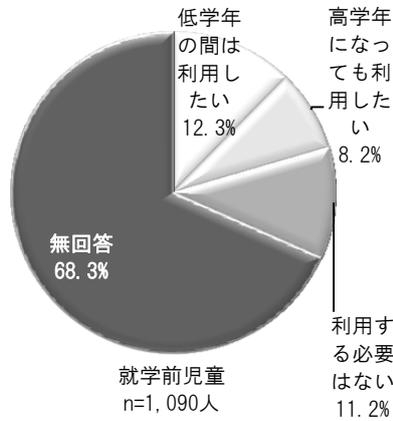


(3) 長期休暇期間中の学童保育室利用について

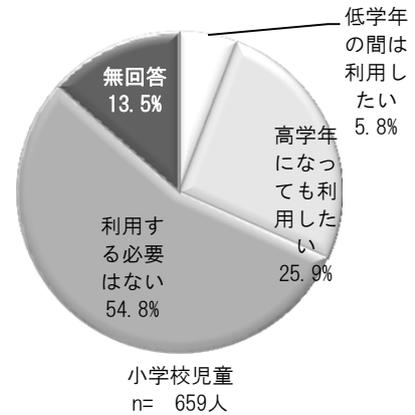
長期休暇中の利用希望をみると、就学前児童では「低学年の間は利用したい」(12.3%)、「高学年になっても利用したい」(8.2%)、「利用する必要はない」(11.2%)となっています。一方、小学校児童では「低学年の間は利用したい」(5.8%)、「高学年になっても利用したい」(25.9%)、「利用する必要はない」(54.8%)となっており、小学校児童の希望割合が大きく低下しています。

希望利用開始時刻は、「8時台」(就学前児童 55.2%・小学校児童 50.7%)が最も多く、希望利用終了時刻は「18時台」(就学前児童 33.6%・小学校児童 26.8%)が最も多くなっています。

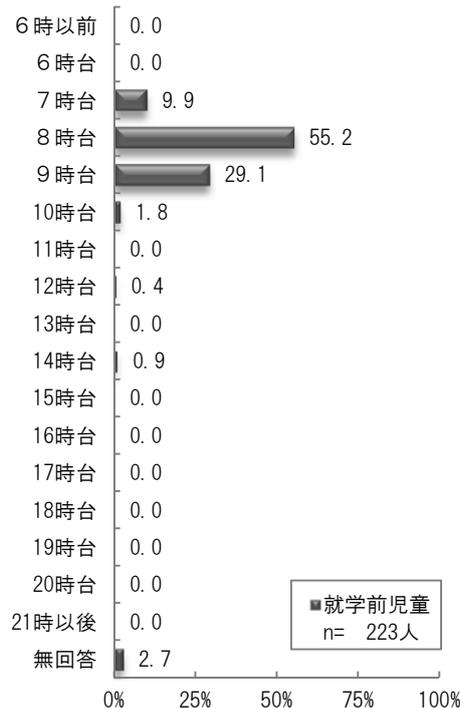
問 29 長期休暇中の利用希望



[問 13] 長期休暇中の利用希望



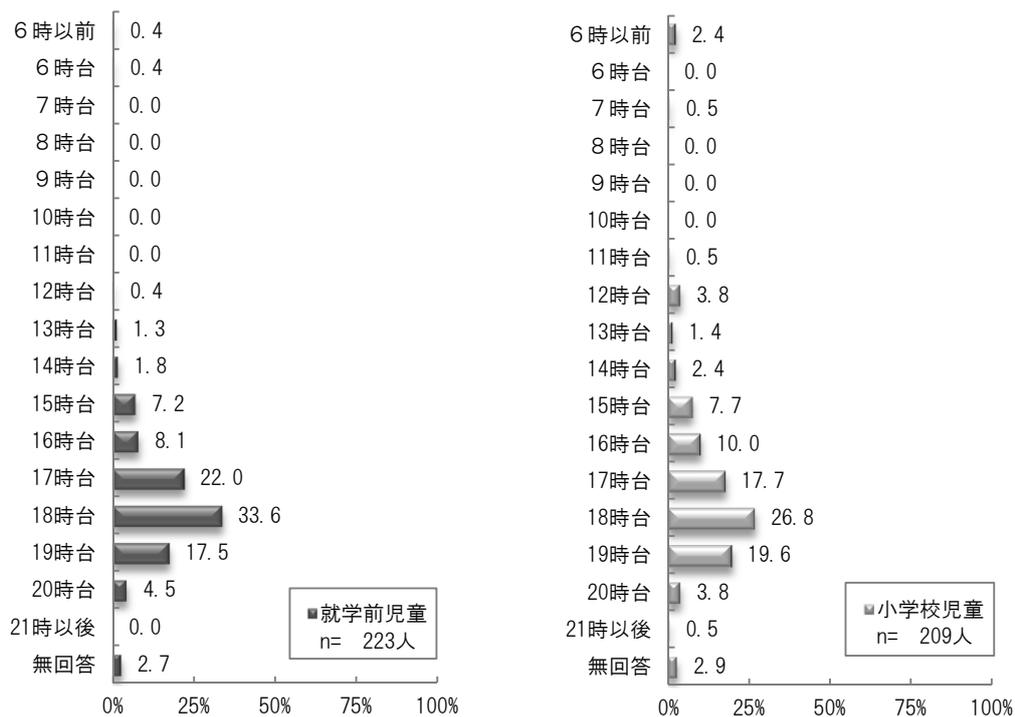
問 29.1 長期休暇中の希望利用開始時間



[問 13].1 長期休暇中の希望利用開始時間



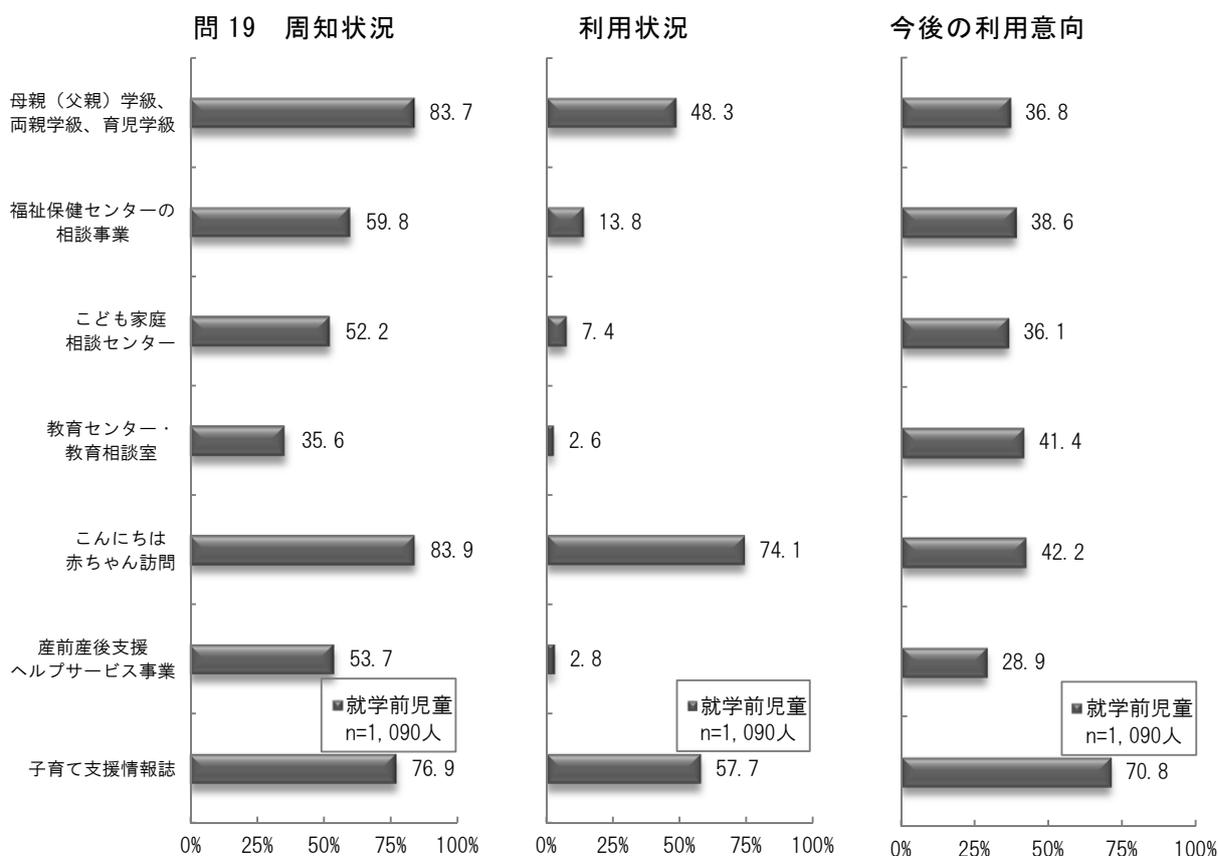
問 29.2 長期休暇中の希望利用終了時間 [問 13] .2 長期休暇中の希望利用終了時間



## 4 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

子育て支援事業の周知度をみると、「こんにちは赤ちゃん訪問」(83.9%)、「母親〈父親〉学級、両親学級、育児学級」(83.7%)、「子育て支援情報誌」(76.9%)が上位を占めているものの、「こども家庭相談センター」(52.2%)、「教育センターでの教育相談」(35.6%)、の周知度は低くなっています。

また、今後の利用意向では「子育て支援情報誌」(70.8%)が最も多くなっています。



## **第 4 章**

### **育児休業制度の利用状況**



## 第4章 育児休業制度の利用状況

### 1 育児休業制度の利用状況

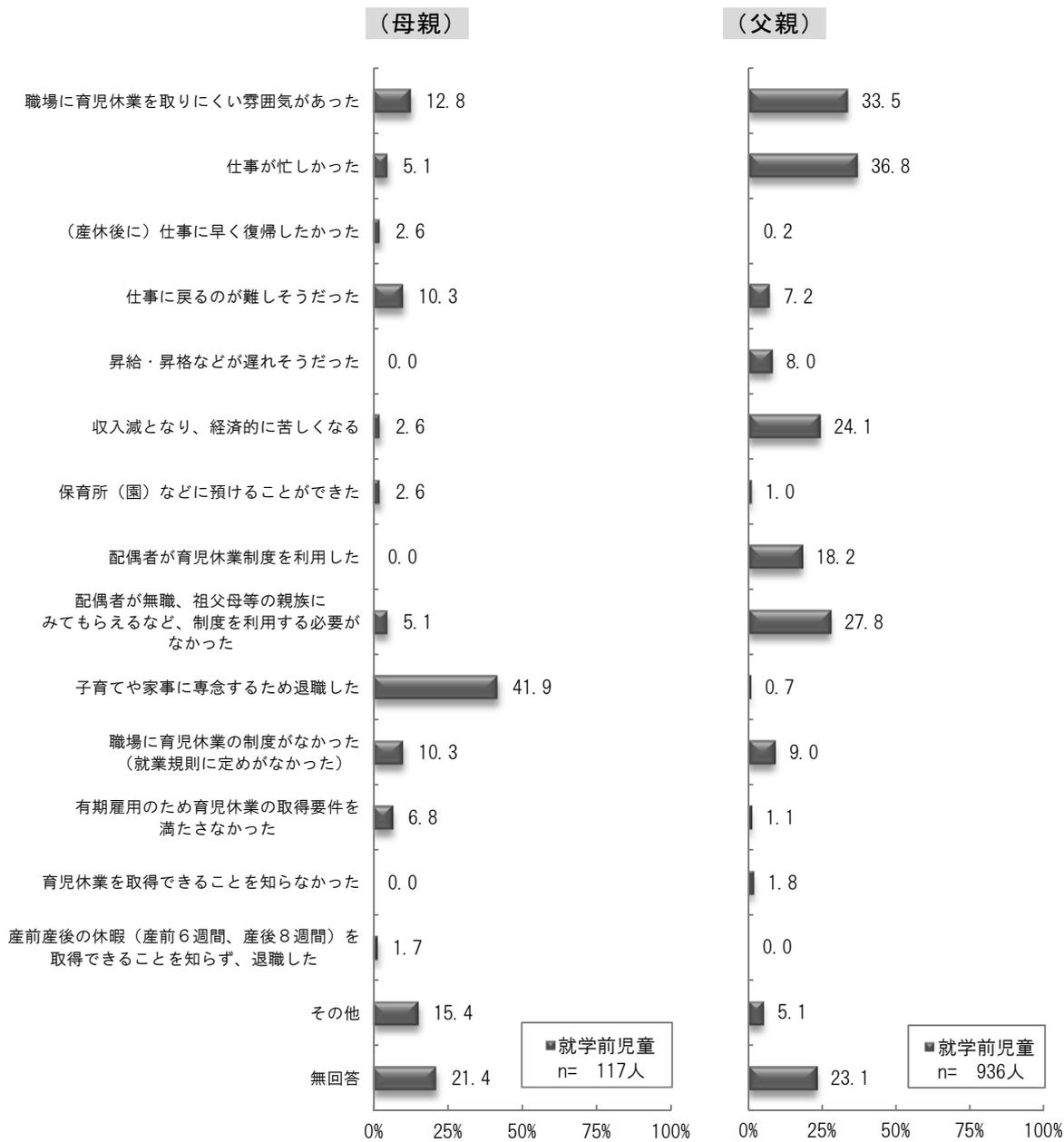
育児休業制度の利用状況をみると、母親は「働いていなかった」(56.3%)に対して、父親は「取得した(取得中である)」(2.8%)となり、父親が取得することの難しさが伺えます。

また、育児休業を利用しない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(41.9%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(12.8%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(10.3%)、の順に多く、一方父親は、「仕事が忙しかった」(36.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(33.5%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(27.8%)、など、母親の理由との違いが見られます。

問 30 育児休業制度の利用状況

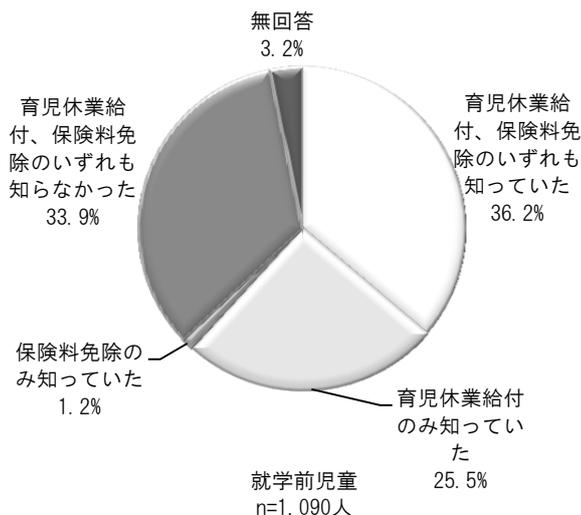


問 30.3 育児休業を利用しない理由



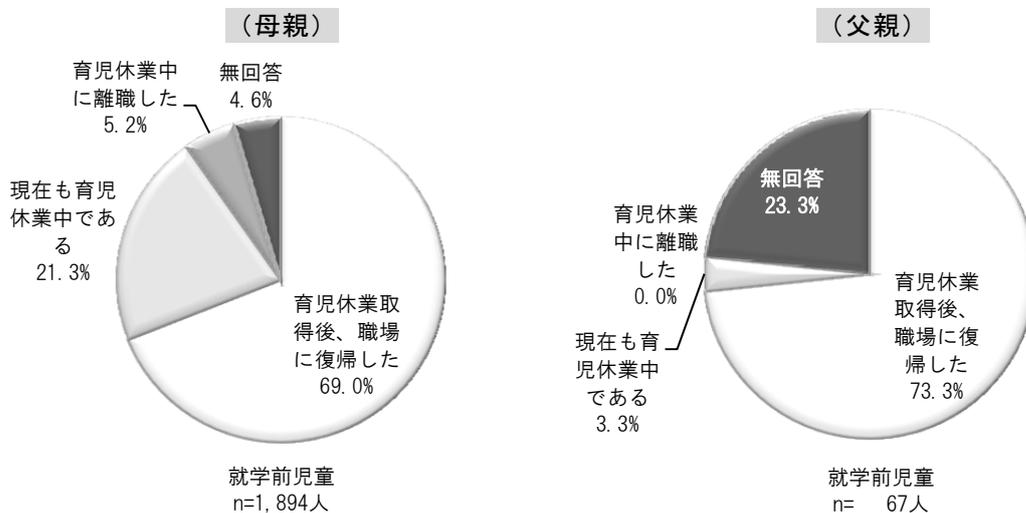
育児休業給付と社会保険料免除の仕組みの認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」（36.2%）、「育児休業給付のみを知っていた」（25.5%）、「保険料免除のみを知っていた」（1.2%）となっている一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（33.9%）という回答も多い状況です。

問 30-1 育児休業給付の支給と健康保険・厚生年金保険料免除の仕組みを知っている



育児休業取得後の対処をみると、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」（69.0%）、「現在も育児休業中である」（21.3%）、「育児休業中に離職した」（5.2%）となっています。一方父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」（73.3%）、「現在も育児休業中である」（3.3%）となっており、「育児休業中に離職した」方はいませんでした。

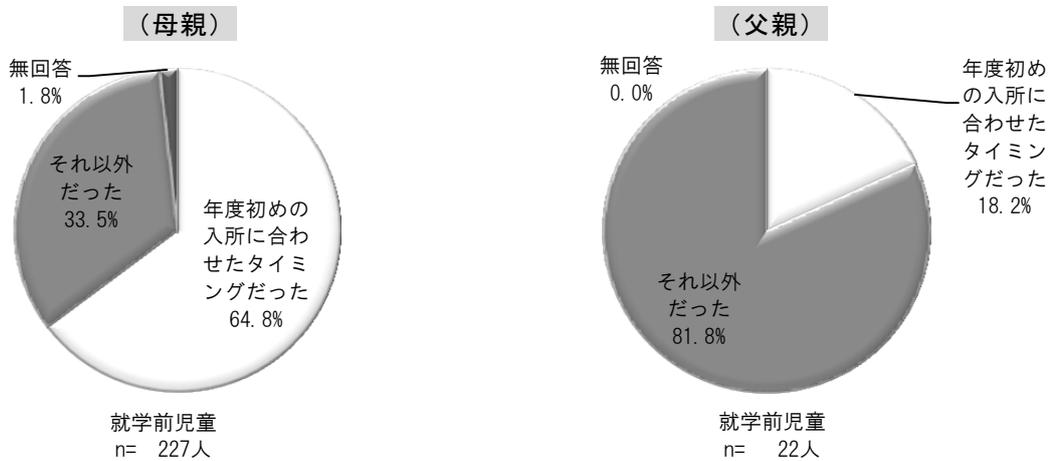
問 30-2 育児休業後の対処



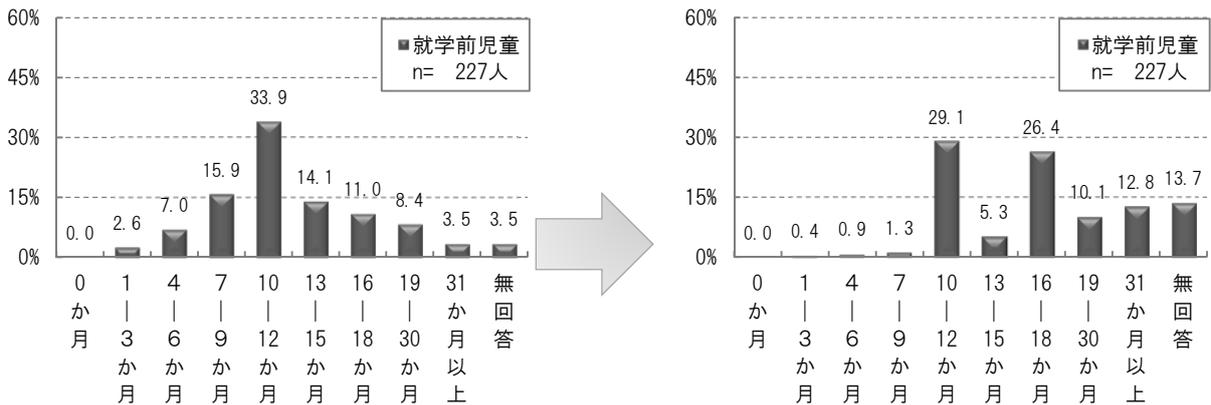
育児休業取得後に職場へ復帰した時期をみると、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(64.8%)、「それ以外だった」(33.5%)、一方父親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(18.2%)、「それ以外だった」(81.8%)となっています。

育児休業から復帰したときの子どもの実年齢をみると、母親は「10—12か月」(33.9%)が最も多く、希望する月齢でも「10—12か月」(29.1%)が最も多くなっています。一方、父親は「1—3か月」(27.3%)が最も多く、希望する月齢でも「1—3か月」「4—6か月」「10—12か月」(各9.1%)となっています。

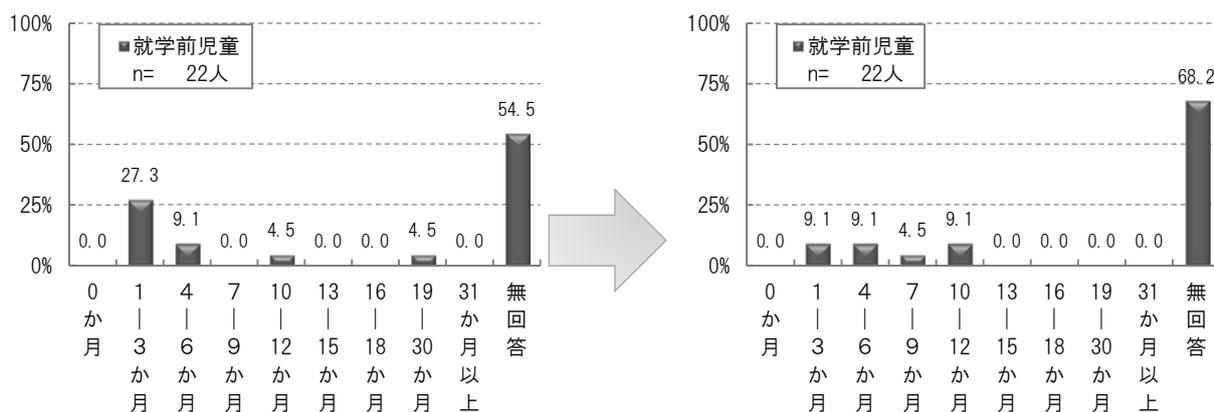
問 30-3 育児休業後に職場へ復帰した時期



問 30-4(1) 育児休業から復帰したときの子どもの実年齢と希望月齢 (母親)

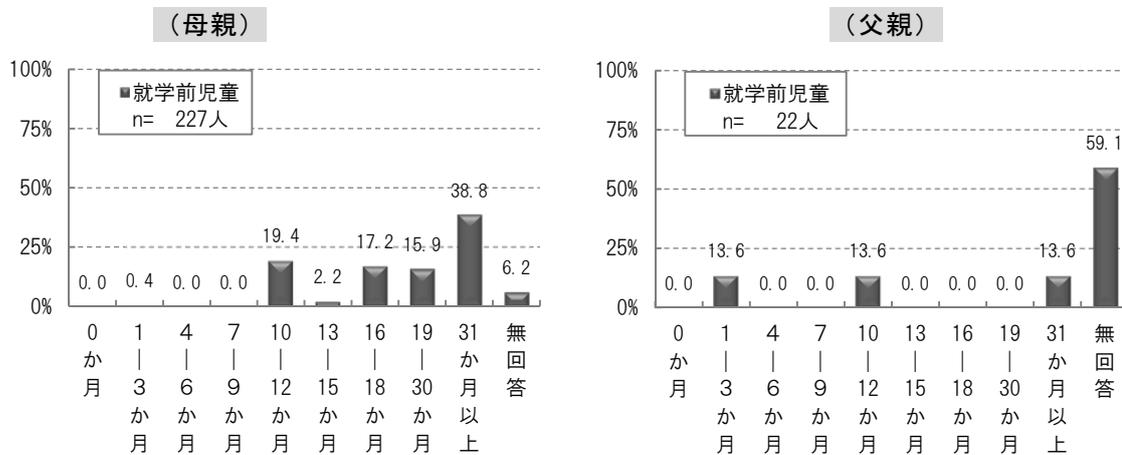


問 30-4(2) 育児休業から復帰したときの子どもの実年齢と希望月年齢（父親）



3歳までの育児休業制度があった場合の子どもの希望月年齢について、母親は「31か月以上」(38.8%)が最も多く、父親は「1—3か月」「10—12か月」(各 13.6%)が最も多くなっています。

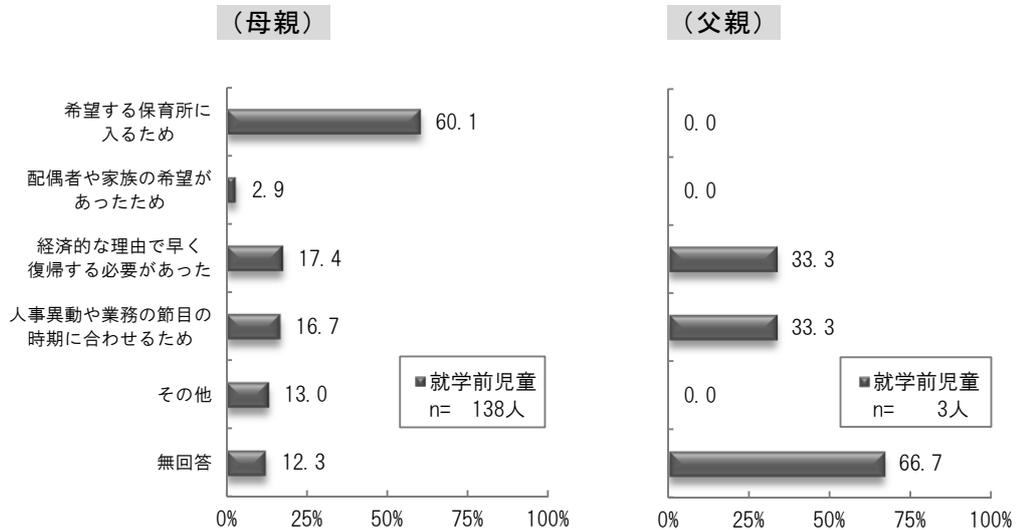
問 30-5 3歳までの育児休業があった場合の子どもの希望月年齢



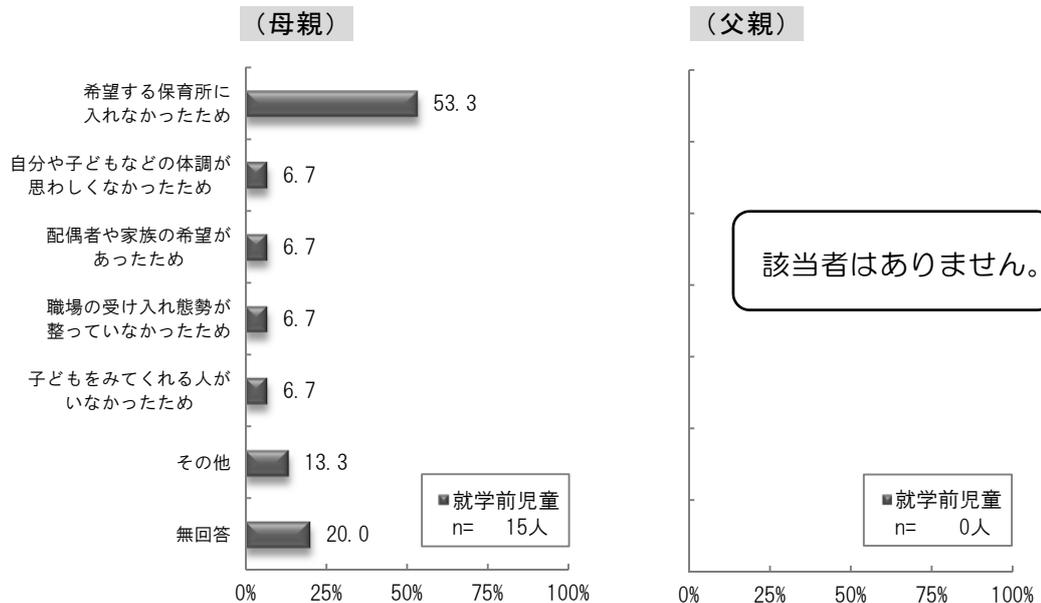
育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入るため」（60.1%）「経済的な理由で早く復帰する必要があった」（17.4%）、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（16.7%）、の順に多くなっています。父親は、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」など、母親と同様の理由をあげています。

一方、育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入れなかったため」（53.3%）が最も多く、父親の回答はありませんでした。

問 30-6(1) 育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由



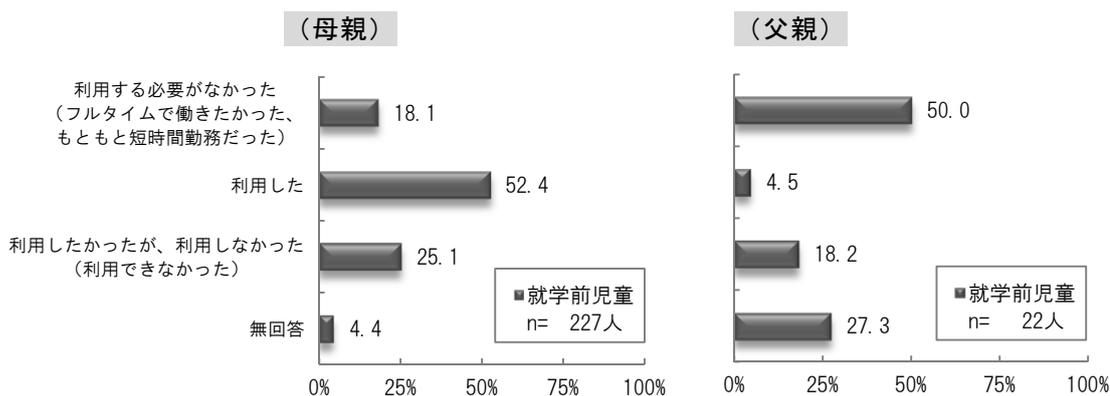
問 30-6(2) 育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由



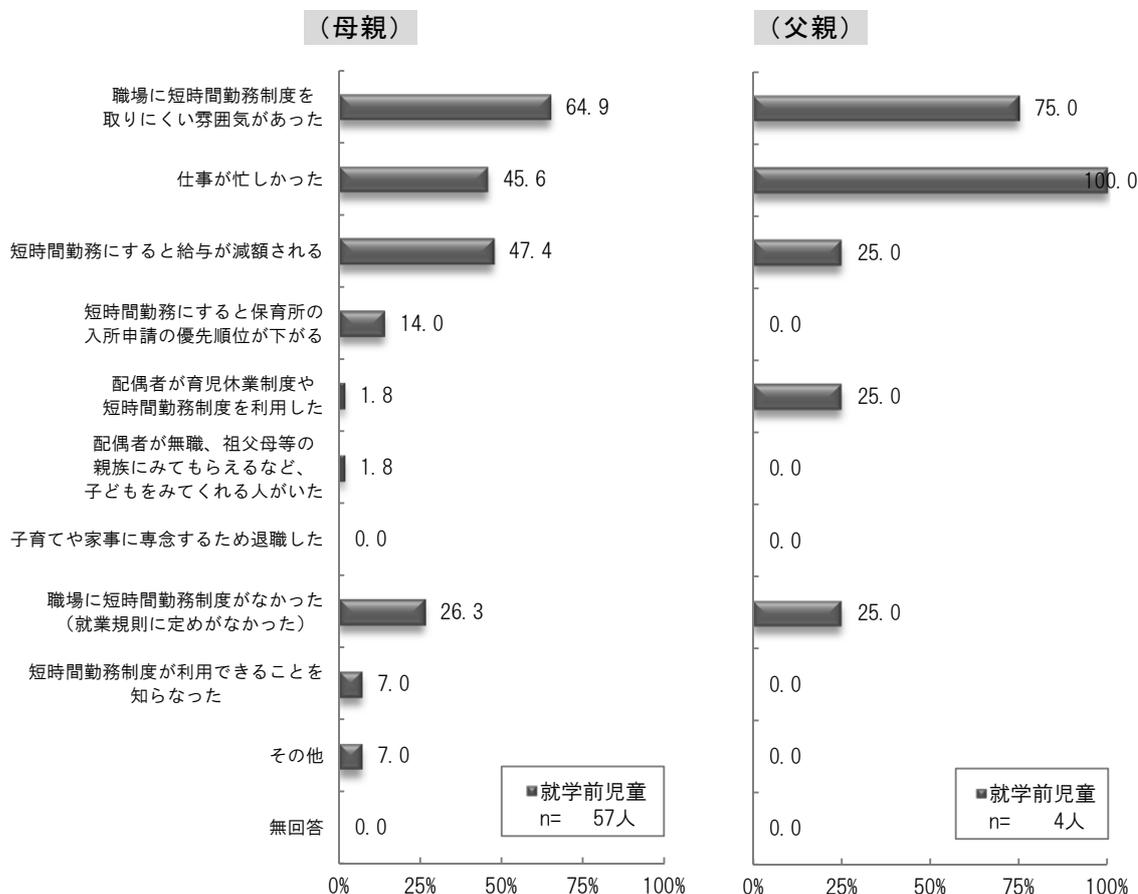
職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、母親は 52.4%の利用に対して、父親は 4.5%の利用とごく少数となっています。

職場復帰時に短時間勤務制度を利用しない理由をみると、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(64.9%)、父親は「仕事が忙しかった」(100.0%)「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(75.0%)が最も多くなっています。

問 30-7 職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況

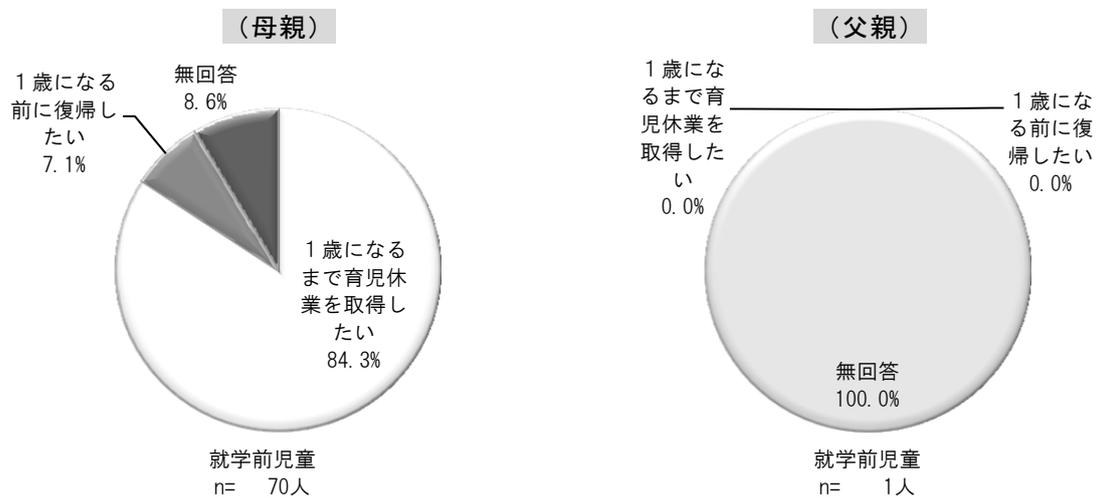


問 30-8 職場復帰時に短時間勤務制度を利用しない理由



1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望をみると、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が8割以上を占め、父親は無回答でした。

問 30-9 1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望

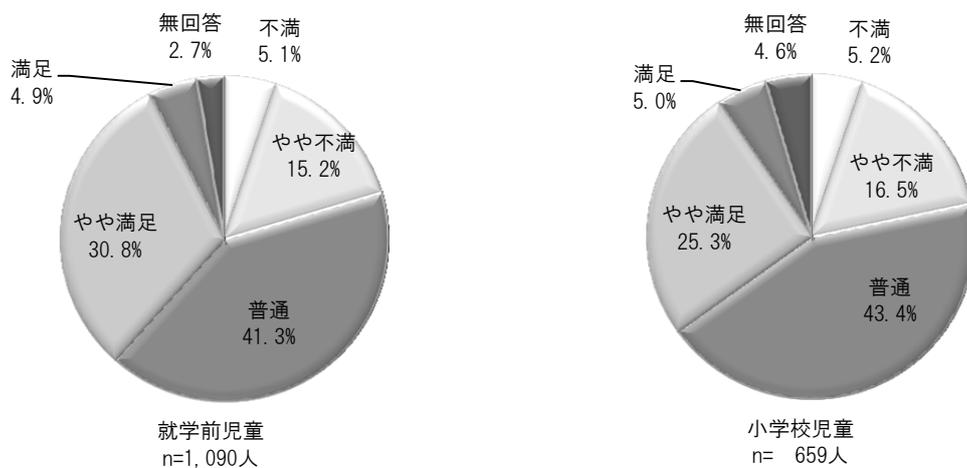


## 2 地域の子育て支援の環境や支援への満足度

地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度の状況について、就学前児童では「普通」(41.3%)、「満足」と「やや満足」の計が35.7%、「やや不満」と「不満」の計が20.3%で前者が15.4ポイントと上回っています。

一方、小学校児童でも「満足」と「やや満足」の計が30.3%、「やや不満」と「不満」の計が21.7%で前者が8.6ポイント上回っています。

問 31[問 14] 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況



# 第 5 章

## 自由記述



## 第5章 自由記述

問 11-3 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

※就学前児童のみ

- 母親同士や地域の人々（年配の方など）とコミュニケーションができるカフェなど手軽に行けるような場があると先輩（年配の人）の話も聞いておもしろいかなと思う。
- 子育てをする過程で気軽に相談できるサイトがあればいいなと思います。授乳、子の体調、その他の事を電話で相談できる場所はあるかもしれないけれど、そこまでの相談（深刻な）でないと相談できない。
- こんにちは赤ちゃん訪問のように、保健師さん等が数ヶ月に一度訪問してきて下さったら質問や不安の解消などができて良いと思います。
- 子育て支援施設に行くと、ボランティアの方や職員の方がいらっしゃって子どもを見てくれるが、何か子育てについての相談をしても自分の子どもの話だったり、一緒に悩んだりしてはくれるが明解な答えが出てこない。そういった施設に専門のスタッフの方がいてくれるとありがたい。
- 親の体調不良など育児が困難な時に子供を見て貰えるようサポートがあればいいなと思います。（一時保育は予約が必要なので緊急の時などスムーズに預けられる所があるといいです）
- 父親と子供で同じ様な立場の人と交流できる場所があれば嬉しく思います
- 現在、地域に住む人との交流がほとんどないので子供会や自治会など交流の場があったらいいなと思います。子供が悪い事をしたら叱ってくれる近所の方がいてほしいです。地域でもあたたかく子供をみてくれたら嬉しいです
- 難しいですが昔のように地域の人達皆で子供を育てるようなサポートが1番必要な気がします、大人中心の社会で子供達の声がうるさい等の声や子育て中の親へのきびしい目等子供達がのびのび生きられる環境をつぶしてしまわない暖かい社会になって欲しいです、また子供が1人で歩けるような安心して生活できる日本に戻って欲しい。
- 企業の協力（育休）
- 安心して子どもを預けられる場所と子育てを理解してくれる職場。
- ファミリーサポート的なもので緊急時などにより融通が利くもの（保育園の送迎や習い事の送迎をお願いしたい）。
- 小学校へ行く前に子供と親が準備をできる（心構え気をつける事生活面など）講座などがあるといいと思う。
- はじめての子育てで不安なことや分からないこともあるので1ヶ月に1回くらい福祉センターなどで同年に生まれ近い生まれ月の子をもつ親子が集まれる機会があるといいなと思う。

- 
- 小さなテーマで小さな相談会のようなものがちょこちょこ行われているとうれしい、例えば遊びと発達とか、ぐずった時の対応や好き嫌いのこと等、小さなグループのワークショップのような話を聞いてもらったり何かヒントをもらえるような会を相談員の方がいる形式で行って欲しい。
  - 行政が主体となる未就学児の教育（習い事等）の充実。保育園通園者でも参加しやすいもの。
  - 気軽に相談できる窓口。地域の情報（育児、レクレーション、行事等）
  - 0歳代の予防接種に関して新生児訪問の時に説明を受けたが種類も回数も多くとても分かりにくい、どこの小児科は何本まで同時接種してくれるか予約制かどうかなどの情報提供やスケジュールの相談など新生児訪問とは別途サポートあったら良かったと思う。
  - 同世代の方や同じ環境の方ともっと交流できる取り組みが増えると嬉しい。参加募集人数が少なく、参加できない事が多い。
  - 毎年幼児健診を行って欲しい、その際に専門知識のあるスタッフに育児についてアドバイス等して欲しい。
  - 産前産後ヘルプサービスを利用してみたいけど申し込みが市役所へ出向かなくてはいけなく大変不便、まず市役所へ行くのが大変もっと楽にして頂けるサービスがあるとよい（緊急OK、申し込みTELOK）
  - 子育て情報の配信

問 32[問 17] 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

## 1 生活環境の整備

### (1) 就学前児童

- ・ 作られた公園も良いのですが「森」のようにその中に子ども達が入っていき五感を使って遊べるような環境を作って頂けると嬉しいです。
- ・ 歩きタバコが多く、子どもを連れていると特に気になります。吸い殻も多く落ちていて子どもが触らないように気を使います。
- ・ 公園もゴミや犬のフンなどで汚れているので、定期的に掃除してもらいたいと思います。
- ・ プリムローズのような雨の日でも遊べる施設を各学区内に一つは欲しい。
- ・ 戸田、戸田公園の方面ばかり色々と新しく開発、発展しているように思います。北戸田（美女木地区）の方面ももう少し発展してほしいと思います。美女木（特に大字美女木地区）エリアは特に保育・教育に関する施設が少なく非常に利用しにくいと感じています。まずは地域差をなくし、特に外環下の道路を横断している道の歩道の整備を早急をお願いしたいと考えます。

### (2) 小学校児童

- ・ 戸田の公園はボール遊びが禁止の所が多い。子どもの運動能力低下と言われているが、公園のボール遊び禁止等の結果。もう少し公園近くの家の人との折り合いをうまくして子供たちが自由に遊べるようにして欲しい。（何かあるとすぐそれを禁止するのではなく）。
- ・ サッカーや野球が公園でできるようにネットの設置希望。
- ・ 夕焼けチャイムは日の落ち方に同期して欲しい。（もう少し細分化を）10月は4時半では早すぎます
- ・ 自転車で通れる安全な道（きちんと幅広い歩道）や夜も十分な明るさのある外灯をもっと増やしてほしい。
- ・ 図書館の充実。雨天時に遊べる場所の充実。
- ・ 児童館がない地区や少ない地区に作ってほしい。

## 2 教育・保育の充実

### (1) 就学前児童

- ・ 認可保育所と家庭保育室の資金的負担（利用料）格差の解消。（無認可へ預けざるをえない保護者への補助金拡充）を早急に進めて頂きたい。
- ・ 仕事をしても結局高い保育料の支払いで、残るお金はわずかになってしまいます。保育料の見直しはできないのでしょうか？
- ・ 4月入所でない保育園に入れにくいいため、1歳を待たずに復職予定です。できれば1歳までは自分で子育てしたかったのですが、現行の制度だと生まれ月によっては1歳未

満で4月に入園させないと入園できず仕事を辞める（辞めさせられる）ことになってしまうので改善されたいと思います。

- ・ 戸田市はマンションが建ち、子どもの数が増えているので、保育園・幼稚園を増やしてほしい。また幼稚園で預かり保育を利用できる園が増えると良いと思う。
- ・ 認定こども園を作ってほしい。
- ・ 兄弟で別々の保育園に通っている場合でも転園するのは難しいと聞いた。兄弟が同じ保育園に通えるように配慮してもらいたい。2カ所の送迎は本当に大変そうです。
- ・ 一時預かりやファミリーサポートなど色々と支援はあるが、どれも前もって面接や予約が必要で緊急時に使えない。支援を1番必要とするのは、急病や急な仕事など、突発的な状況の時であるが、その時に利用できる制度がほとんどない。緊急時に利用できる制度の整備を。

#### (2) 小学校児童

- ・ 4～6年生になっても学童保育を利用することができるようになってほしい。今、1人で家にいさせること、1人で帰宅させたりすることで、事件にあったりしています。世の中不審者が多いので学童保育室の利用をぜひお願い致します。
- ・ 夏休みや冬休み、春休みの長期休暇の時に1～6年生で預かってくれる場所があると助かります。そして、お弁当を手配出来るとなお良い。
- ・ 放課後の学校（校庭）を開放してほしい。特に冬時間は遊ぶ時間も短く帰宅してからまた行くとほとんど遊べない。

### 3 地域における子育て支援

#### (1) 就学前児童

- ・ 保育園に併設されている支援センターはとても良い、親・子供両方に友だちができるイベント（誕生会など）も楽しい。
- ・ 幼稚園から帰ってきた後からでも参加出来る子育て講座や兄弟の下の子を託児してくれる親子講座などがあるとありがたいです
- ・ もっと親同士のコミュニケーションの場を作ってほしいです。子育てについての相談をしたいが、専門家の意見やアドバイスがほしいです。
- ・ 相談支援センターなど日付の制限があり子供の様子を見て行きたいときに行けないので利用しにくい。

#### (2) 小学校児童

- ・ 子どもが参加できるイベント等が色々あるが、全てを知る事ができていないので、お知らせ等が届いたりして情報を色々得られたらいいと思う。

### 4 学校教育環境の整備

#### (1) 就学前児童

- ・ 戸田市は他の地域に比べて教育環境が悪いと思います、幼稚園などでも都や他市ではもっと勉強に力を入れています、このままだと他の地域と比べても学力が低下していくと思います。
- ・ 小学校との連続性を踏まえた就業前教育を充実させてほしい。

## (2) 小学校児童

- ・ 小学校の英語の時間を増やして英語に慣れるといいと思います。
- ・ 児童数の少ない学校は学校設備の改善など、何においても後回しにされている印象は受ける。新しい学校でばかりイベントを行うのは不公平感がある

**5 安全等の確保**

## (1) 就学前児童

- ・ 車道に信号があるのに歩行者専用の信号がないのはなぜか？ところどころその様な所がある。
- ・ 道路にガードレールが少なく、事故が起きたらとても不安です。通学路からでも安全の整備をお願いしたいです。
- ・ 住宅、マンションが多いので死角がたくさんあります。自転車も多く小学生くらいの子達の運転等危険で、抱っこひもで歩いているとぶつかりそうになる特も多々あります。不審者を減らすのと交通ルールの徹底教育など基本的なことをお願いできたらと思います。

## (2) 小学校児童

- ・ 最近、不審者情報が多く、子どもだけで外で遊ばせる事に不安を感じ、外で遊ばせる機会が減り、お友達の家に行く時でも親がついて行く事が多くなりました。安心して遊ばせる場所が増えてほしいという気持ちと不審者など子どもを不安にさせる人がいなくなり安心して子育てできる環境が整ってくれる事を願います。
- ・ 下校時に近所のボランティアの方々が見守っていただき、有難いです。ただ、ドライバーのマナーのない運転により、TVで見るような事故がないか日々心配です。保護者も当番で交差点に立つ日もありますが、朝の通学時で、毎日ということが難しいです。勝手ではありますが、仕事を退職（定年）なさった方々でお元気な方がいらっしやれば、朝の見守りもお願いしたいなと思います。先日も当番で立ちましたが、やはり朝はスピードがかなり出ている車が多く、子どもたちが横断歩道を渡っているのに、すぐそばまで車を進めるドライバーが、かなりいました。ソツとして恐かったので、何とかならないのかと日々考えています。
- ・ 大字美女木地区ですが、運送会社の駐車場や倉庫が多く、その割に、横断歩道、信号も少なく非常に危険です。子供の安全の為、1度調査をお願い致します。
- ・ 歩道を広く、自転車レーンも、もうけてほしい。通学路になっている道路はもっと全ての人にわかりやすくしたほうがいい。

**6 健康の確保及び増進**

## (1) 就学前児童

- ・ 病児保育室を時々、利用しています。（戸田中央病院にある）利用時、何枚もの書類を記入しなくてはならないのが大変。どうか改善できないでしょうか？（年間の登録もしているが）昼食も持参しなければならないので有料でも提供してほしい。
- ・ 健診が1年1回あると子供の成長が確認できるので小学校へ行く前までであるといいです。

- 病児保育の受け入れ先を増やして欲しい。
- 小児科、耳鼻科、眼科、外科、全て美女木地区にない、またはほとんどない。車がないので本当に困っています。

(2) 小学校児童

- インフルエンザの予防接種を無料にしてほしいです。また各学校で行ってほしい。

## 7 職場と家庭の両立

(1) 就学前児童

- 働きたくても都内のように働き口が無い。
- フルタイムだけでなく、パートタイムでも働きやすい環境がもう少し整っていると助かります。

(2) 小学校児童

- 保育園や学童保育室があることで、女性も働けるようにはなったが、女性の負担は大きい。仕事、育児、家事、地域の活動など、仕事の都合をつけてやりくりしてはいるが、職場や家族の理解と協力がなければ成り立たない。まだまだ職場や地域など、社会の理解が不足している。保育園を増やすだけでなく、男性が仕事以外に活動する機会が増えていくような取りくみを充実して欲しい。

## 8 その他

(1) 就学前児童

- 子育てに関する情報がまとまっておらず1カ所見れば全てにつながる状態でないため情報収集がしづかった。転入してきたため子育てに関して情報を手に入れる事だけでも限られた時間の中で苦しかった。
- 子供が幼稚園に入る前に幼稚園の情報は自分で集めましたが近隣の幼稚園一覧がもっと情報を載せていただけるとありがたいと思います（例えば預かり保育の有無や習い事（課外活動）プールの有無、親が園に行く頻度など）

**資料編**  
**調査に使用したニーズ調査票**



## 資料編

## 1 「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査票」の見本

## ■就学前児童の保護者用

**就学前児童の保護者の方へ**

## 子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、お父さん・お母さんの保護者の方が入力してください。  
(無記名です。氏名・住所の記入は必要ありません)
- 回答は、選択肢に ○ をつけてお返しいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で ○ をつけてください。  
また、「その他」をお返しいただいた場合、その欄にある( )内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時刻をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時→18時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要がなくなる場合がありますので、ことわり書きや失印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、10月31日(木)までにご返送ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
戸田市役所子ども青少年部子ども家庭課 電話 048-441-1800(内線 454)

### 調査実施の趣旨とその目的

戸田市では、子ども・子育て支援法(平成27年法律第66号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実に資するため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています(平成27年度から実施予定)。

この調査は、幼稚園・保育所・学童保育室などの教育・保育・子育て支援を計画的に整備するために、住民の皆さんの利用状況や利用希望を把握することを目的としています。〔この調査の回答(施設や事業の利用希望等)により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません〕

#### いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます

子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をともに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

1

(用語の定義)  
この調査票における用語の定義は以下のとおり。

幼稚園	学校教育法に定める、3～6歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています
家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業(保育ママ)
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
家庭保育室・ナーサリールーム	市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業
ファミリーサポート・センター	保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業
緊急サポートセンター	子どもが病気の時や緊急的に保育が必要となったときに子どもを預かる事業
こんちには赤ちゃん訪問	生後4か月までの赤ちゃんのいるすべての家庭を保健師が訪問する事業
産前産後支援ヘルプサービス事業	妊娠中または出産後1年未満の方に、家事・育児を支援するヘルパーを有料で派遣する事業

2

### お住みの地域についてうかがいます。

問1 お住みの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

- 下戸田地区(西沢・喜沢南・中野・下戸田・下野・川原1～2丁目)
- 上戸田地区(上戸田・大字上戸田・本町・南町・戸田公園・川原3丁目)
- 新飯地区(大字新飯・新飯南・飯川町・大字下野台)
- 春日地区(草部・春日町・春日南町・春日北町)
- 美木木地区(美木木・大字美木木・美木木東)

### 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のおさんの生年月日をご記入ください。 年(□)内(□)に数字でご記入ください。  
平成 □ □ 年 □ □ 月 生まれ

問3 宛名のおさんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。  
※宛名のおさんを含めた人数を□内に数字で記入してください。  
※おさんが2人以上の場合は、おさんの生年月日をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)  
きょうだい数 □ 人 おさんの生年月日 平成 □ □ 年 □ □ 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のおさんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- 母親
- 父親
- その他( )

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶者についてお答えください。(あてはまる番号1つに○) (問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です)

- 配偶者がいる
- 配偶者がいない

問6 宛名のおさんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。  
※おさんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- 父母ともに
- 主に母親
- 主に父親
- 主に祖父母
- その他( )

### 宛名のおさんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のおさんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。  
※おさんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- 父母ともに
- 母親
- 父親
- 祖父母
- 幼稚園
- 保育所
- 認定こども園
- その他( )

問8 宛名のおさんの子育て(教育を含む)にもっとも影響を与えようと思う環境は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- 家庭
- 地域
- 幼稚園
- 保育所
- 認定こども園
- その他( )

3

**問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)**

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

⇒ 問9-1へ  
⇒ 問9-2へ  
⇒ 問10へ

**問9-1 問9で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。**  
祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大き心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大き心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることがお苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他( )

⇒ 問10へ

**問9-2 問9で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。**  
友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大き心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大き心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることがお苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他( )

⇒ 問10へ

**問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。(あてはまる番号すべてに○)**

1. いる/ある ⇒ 問10-1へ
2. いない/ない ⇒ 問11へ

**問10-1 問10で「1.いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。**  
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設 (子育て広場、親子ふれあい広場、児童センター等)・NPO
5. 保健所・保健センター	6. 保育所
7. 幼稚園	8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師	10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他	【別】ヘビーシッター

4

**問11【すべての方に伺います】あなたはゆっくりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。(あてはまる番号1つに○)**

1. はい
2. いいえ
3. なんともない

**問11-2【すべての方に伺います】あて名のお子さんを育てている、あなたの今の気持ちはどうですか。(あてはまる番号すべてに○)**

1. 子どもがいると、毎日の生活が楽しい
2. 子育てが、自分の生きがいになっている
3. 子育てすることで、自分も成長している
4. 子育てについて不安になったり、悩む時がある
5. 子育てを負担に感じる時がある
6. 生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある
7. 子どもを虐待しているのではないかと思うことがある
8. 子育てから解放されたいと思うときがある
9. その他( )

**問11-3 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。**

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

**問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。**

(1) 母親 (あてはまる番号1つに○) ※父子家庭の場合は記入不要です

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (1)-1へ  
⇒ (2)へ

5

(1)-1 (1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。  
※産休日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり  日 1日当たり  時間

(1)-2 (1)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。  
※時間がない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
※時刻は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻  時 帰宅時刻  時

(2) 父親 (あてはまる番号1つに○) ※母子家庭の場合は記入不要です。

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)で就労しており、産休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しており、産休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で就労しているが、産休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (2)-1へ  
⇒ 問14へ

(2)-1 (2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」を、口内に数字でご記入ください。  
※産休日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり  日 1日当たり  時間

(2)-2 (2)で「1」～「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
家を出る時刻と帰宅時刻を、口内に数字でご記入ください。  
※時間がない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
※時刻は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻  時 帰宅時刻  時

6

**問13 問12の(1)または(2)で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。⇒ 詳細は別紙15番、問14へ**

フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(週5日・1日8時間程度)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

**問14 問12の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。⇒ 詳細は別紙15番、問15へ**  
就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号・丸数字をそれぞれ1つに○)  
※該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったときに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内(1年以内)に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)  
② パートタイム・アルバイト等(1日以外)

→1週当たり  日 1日当たり  時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが  歳になったときに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内(1年以内)に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)  
② パートタイム・アルバイト等(1日以外)

→1週当たり  日 1日当たり  時間

7

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、昇降口で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、週1~5に示した事業が含まれます。

**問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。** (あてはまる番号1つに○)

1. 利用している ⇒ **問 15-1へ**      2. 利用していない ⇒ **問 15-5へ**

**問 15-1 問 15-1～問 15-4は、問 15で「1. 利用している」に○をつけた方に向かいます。**  
**宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。**  
 ※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園 (通常の就園時間を利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業(定期的な利用の場合))
3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けたもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育する事業(保育ママ))	6. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
7. 家庭保育室・ナースリールーム (市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設)	8. その他認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業)	10. ファミリー・サポート・センター (保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業)
11. その他 ( )	

**問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。**  
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

(1) **現在**

1週当たり  日      1日当たり  時間 (  時～ 時 )

(2) **希望**

1週当たり  日      1日当たり  時間 (  時～ 時 )

8

**問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。**  
 (あてはまる番号1つに○) 「2. 他の市区町村」を選んだ場合は、実施場所の市区町村名を記入してください。

1. 戸田市内      2. 他の市区町村 (      市区町村 )

**問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。**  
 (あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定がある/求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方に病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他 ( )

**問 15-5 問 15で「2. 利用していない」に○をつけた方に向かいます。**  
**利用していない理由は何ですか。** (あてはまる番号すべてに○)

※「8」に○をつけた場合は、年齢を口内に数字でご記入ください。

1. 利用する必要性がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないため等)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間等の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため (  歳くらいになったら利用しようと考えている )
9. その他 ( )

9

**問 16 すべての方に向かいます。**  
**現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。** (あてはまる番号1つに○)  
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の就園時間を利用) 【平均利用料(月額)：25,000円程度】 ※所用に応じた利用料が設定あり	2. 幼稚園の預かり保育 (1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業(定期的な利用の場合)) 【利用料：1日600～1,500円(時間による)】
3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けた保育所(定員20人以上)) 【利用料(月額)：0～57,000円(※年ごとの2,000円増額)】 ※申請・児童福祉法に基づいた利用料設定	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設機能を併せ持つ施設) 【利用料：1日4時間程度利用～4時間と同様1日8時間程度利用(保育所と同様)】
5. 小規模な保育施設 (市町村の認可を受けた定員規模が6～19人のもの) 【利用料は認可保育所と同様】	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育する事業(保育ママ)) 【利用料は認可保育所と同様】
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) ※現在お勤めの企業が運営していない施設でも、利用可能があれば○をつけて下さい	8. 家庭保育室・ナースリールーム (市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設) 【平均利用料(月額)：58,000円程度】
9. その他認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業) 【利用料は認可保育所と同様】
11. ファミリー・サポート・センター (保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業) 【平均利用料(1時間)：700～800円程度】	12. その他 ( )

**問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。** (あてはまる番号1つに○)  
**「2. 他の市区町村」を選んだ場合は、実施場所の市区町村名を記入してください。**

1. 戸田市内      2. 他の市区町村 (      市区町村 )

10

**宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。**

**問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「親子ふれあい広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。** (次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください)  
 ※なお、その利用回数(頻度)を口内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)

1週当たり  回      もしくは 1ヶ月当たり  回      程度

2. 利用していない

**問 18 問 17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。** (あてはまる番号1つに○)  
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していない/利用したい

1週当たり  回      もしくは 1ヶ月当たり  回      程度

2. すでに利用しているが利用回数を増やしたい

1週当たり 更に  回      もしくは 1ヶ月当たり 更に  回      程度

3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

**問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを教えてください。**  
 ※①～④の事業ごと、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A	B	C
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい
①母親(父親)学級、母親学級、育児学級	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
②福祉保健センターの相談事業	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
③こども家庭相談センター(こども家庭課内)	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
④教育センター・教育相談室	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
⑤こどもはさちちゃん訪問(新生児訪問事業)	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
⑥産前産後支援ヘルプサービス事業	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ
⑦子育て支援情報誌(戸田市子育て応援ブック)	はい/いいえ	はい/いいえ	はい/いいえ

11

**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）  
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。（09:05時～18時のように24時間制でご記入ください）  
※（利用料（1日）：2,000円程度）が発生します。  
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親類・知人による預かりは含まれません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

→ 利用したい時間帯  
□□時から□□時まで

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない  
2. ほぼ毎週利用したい  
3. 月に1～2回は利用したい

→ 利用したい時間帯  
□□時から□□時まで

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 月に数回仕事が入るため  
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手伝いが必要のため  
4. 息抜きのため  
5. その他（ ）

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。  
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。  
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。（09:05時～18時のように24時間制でご記入ください）  
※（利用料（1日）：1,500円程度）

1. 利用する必要はない  
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい  
3. 休みの期間中、週に数回利用したい

→ 利用したい時間帯  
□□時から□□時まで

問 21-1 問 21 で「3. 週に数回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 週に数回仕事が入るため  
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため  
3. 親族の介護や手伝いが必要のため  
4. リフレッシュのため  
5. その他（ ）

12

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  
（平日の教育・保育を利用する方のみ）**

問 22 平日の定期的な教育・保育事業を利用しているとお答えした保護者の方（問 15 で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。⇒ 問 22-1 へ  
問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法はどれになりますか。（あてはまる番号すべてに○）  
※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（平日程度の場合も1日と数えます）

1年間の対応方法	日数
1. 父親が休んだ	□□日
2. 母親が休んだ	□□日
3. (両親を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	□□日
5. 病院・病後児の保育を利用した	□□日
6. ベビーシッターを利用した	□□日
7. 緊急サポートセンターによる病院・病後児の預かりを利用した	□□日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	□□日
9. その他（ ）	□□日

問 22-2 問 22-1 で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。  
その際、「できれば病院・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。  
（あてはまる番号すべてに○）  
※日数についても口内に数字でご記入ください。  
※なお、病院・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料（1日）：2,100円程度）がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病院・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□日 ⇒ 問 22-3 へ  
2. 利用したいとは思わない ⇒ □□日 ⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1.」で「できれば病院・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれかの事業形態が望ましいと思われましたか。  
（あてはまる番号すべてに○）

1. 他施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業  
2. 小規模に併設した施設で子どもを保育する事業  
3. 家庭住民等が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業（例：緊急サポートセンター等）  
4. その他（ ） ⇒ 問 23 へ

13

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。  
そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 病院・病後児を他人に預けてもらうのは不安  
2. 地域の事業の質に不安がある  
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない  
4. 利用料がかかる・高い  
5. 利用料がわからない  
6. 親が仕事を休んで対応する  
7. その他（ ） ⇒ 問 23 へ

問 22-5 問 22-1 で「3.」～「9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。  
その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでほしい」と思われましたか。  
（あてはまる番号すべてに○）  
※「3.」～「9.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数を口内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んでほしい ⇒ □□日 ⇒ 問 23 へ  
2. 休んでくれることは非常に嬉しい ⇒ □□日 ⇒ 問 23-6 へ

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んでくれることは非常に嬉しい」に○をつけた方にうかがいます。  
そう思われる理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない  
2. 自営業なので休みがない  
3. 休前日数が足りないため休みがない  
4. その他（ ）

14

**宛名のお子さんの不定期的教育・保育事業や宿泊を伴う一時的預かり等の利用についてうかがいます。**

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の遠隔、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる番号すべてに○）  
※1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	日数
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の幼稚園時間を超えて預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	□□日
3. フォミリー・サポート・センター（保育所への送迎や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業）	□□日
4. 遠隔看護等事業：トワイライトステイ（児童発達施設等で休日・夜間、子どもを保育する事業）	□□日
5. ベビーシッター	□□日
6. その他（ ）	□□日
7. 利用していない	□□日

問 23-1 問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 特に利用する必要がない  
2. 利用したい事業が地域にない  
3. 地域の事業の質に不安がある  
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない  
5. 利用料がかかる・高い  
6. 利用料がわからない  
7. 自分が事業の対象者になるかどうか  
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない  
9. その他（ ）

問 24 宛名のお子さんについて、私用・親の遠隔、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。利用希望の有無・日数をお答えください。  
（あてはまる番号・日数字すべてに○）  
※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。  
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	□□日
① 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や靴の買い取り、リフレッシュ目的）	□□日	□□日
② 短期預かり、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や靴の送迎等	□□日	□□日
③ 不特定の就労	□□日	□□日
④ その他（ ）	□□日	□□日

2. 利用する必要はない ⇒ 問 25 へ

15

問24-1 問24で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 大規模施設で子どもを預かる事業 (例: 幼稚園・保育所等)
2. 小規模施設で子どもを預かる事業 (例: 戸田公園駅前子育て広場等)
3. 地域住民等が子育て家庭等近くの場所で開催する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等)
4. その他 ( )

問25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを預りだけで家庭以外にみてもらなければならなかったか(預け先が見つからなかった場合も含まれます)。(あてはまる番号・丸数字すべてに○)  
※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

1年間の対応方法		日数
1. あった	① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="checkbox"/> 日
	② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童発達施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="checkbox"/> 日
	③ 2以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	<input type="checkbox"/> 日
	④ 子どもを預けさせた	<input type="checkbox"/> 日
	⑤ 子どもだけで留守番させた	<input type="checkbox"/> 日
	⑥ その他 ( )	<input type="checkbox"/> 日
2. なかった		

問25-1 問25で「1. あった ① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。  
※「①」以外の選択肢は問29へ

その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 非常に困難
2. どちらかという位困難
3. 特に困難ではない

16

宛名のお子さんが5歳以上の方に、放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いませんか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。  
※「学童保育室」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

※1 「学童保育室」…保護者の収入等により期間限定で利用可能な場合、指導員の下、子どもたちの生活をサポートするものです。(平均利用料(月額):5,000円程度)

1. 自宅	<input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父祖母や友人・知人家	<input type="checkbox"/> 日くらい
3. 塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	<input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童センター	<input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	<input type="checkbox"/> 日くらい
6. 学童保育室	<input type="checkbox"/> 日くらい 一下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	<input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	<input type="checkbox"/> 日くらい

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いませんか。(あてはまる番号すべてに○)  
※それぞれ該当する週当たり日数を口内に数字でご記入ください。  
※「学童保育室」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。  
※別紙のように記載しますが、紙面が押さぬイメージでご記入ください。

1. 自宅	<input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父祖母や友人・知人家	<input type="checkbox"/> 日くらい
3. 塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	<input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童センター	<input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	<input type="checkbox"/> 日くらい
6. 学童保育室	<input type="checkbox"/> 日くらい 一下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	<input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他(公民館、公園など)	<input type="checkbox"/> 日くらい

17

問28 問26または問27で「6. 学童保育室」に○をつけた方にうかがいます。  
宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育室の利用希望はありますか。  
①(1) ② それぞれについて、あてはまる番号1つに○  
※事業の利用には一定の利用料がかかります。  
※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。(例: 08時~18時のように24時間制でご記入ください)

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯  時から  時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯  時から  時まで

問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育室の利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)  
※事業の利用には一定の利用料がかかります。  
※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。(例: 08時~18時のように24時間制でご記入ください)

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい
3. 利用する必要はない

⇒ 利用したい時間帯  時から  時まで

18

育児休業や短時間勤務制度など職場の再立支援制度についてうかがいます。

問30 宛名のお子さん生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。(母親、父親それぞれについて、あてはまる番号1つに○)  
※取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いづれかに○)	父親 (いづれかに○)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

⇒ 取得していない理由(下から番号を添えてご記入ください。(いくつでも))

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事に忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に復帰するのが遅れそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減と切り、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が育児休業の取得にみてもらえないなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他 母親 ( )

父親 ( )

問30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間だけ付する育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

19

問30で「2.取得した(取得中である)」と回答した方になります。 ⇒ 該当し441例、問31へ

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたが、(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した  
2. 現在も育児休業中である  
3. 育児休業中に退職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した  
2. 現在も育児休業中である  
3. 育児休業中に退職した

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方になります。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか。(どちらか1つに○)  
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。  
※年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」と回答してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問30-4 育児休業からは、「実期」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りかかったですか。  
※口内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間  歳  ヶ月 希望  歳  ヶ月

(2) 父親

実際の取得期間  歳  ヶ月 希望  歳  ヶ月

問30-5 お勤め先は、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りかかったですか。  
※口内に数字でご記入ください。

(1) 母親  歳  ヶ月

(2) 父親  歳  ヶ月

問30-4で実際の復帰と希望が異なる方になります。

問30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

①母親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため  
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため  
5. その他 ( )

②父親

1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため  
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため  
5. その他 ( )

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (あてはまる番号すべてに○)

①母親

1. 希望する保育所に入らなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため  
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が悪くなったため  
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため  
6. その他 ( )

②父親

1. 希望する保育所に入らなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため  
3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が悪くなったため  
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため  
6. その他 ( )

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方になります。

問30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。  
(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)  
2. 利用した  
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

(2) 父親

1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)  
2. 利用した  
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問30-7で「3.利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方になります。

問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった  
2. 仕事が多かった  
3. 短時間勤務にすると給与が削減される  
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる  
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した  
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた  
7. 子育てや家事に専念するため退職した  
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)  
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった  
10. その他 ( )

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった  
2. 仕事が多かった  
3. 短時間勤務にすると給与が削減される  
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる  
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した  
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた  
7. 子育てや家事に専念するため退職した  
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)  
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった  
10. その他 ( )

問30-2で「2.現在も育児休業中である」と回答した方になります。

問30-9 産みのお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。  
(あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1歳になる前に復帰したい

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
同封の封筒(切手は貼らず)に入れ、10月31日(木)までに郵便ポストへご投函ください。

■小学生の保護者用

小学生の保護者の方へ

## 子ども・子育て支援事業に関する ニーズ調査票

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートには、お子さんの保護者の方が記入してください。  
(無記名ですべて、氏名・住所の記入の必要はありません)
- ご回答は、選択枝に○をつけてお選びいただいた場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 質問によって、○をつける数を「1つに○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。  
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある( )内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後6時~18時)で記入してください。
- 前の設問へのご回答によっては、次の設問にご回答していただく必要がなくなる場合がありますので、こたわり書きや失印に従って回答してください。特にこたわり書きのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、10月31日(木)までにご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
戸田市役所こども家庭課子育て支援担当 電話 048-441-1800(内線 454)

調査実施の趣旨とその目的

戸田市では、子ども・子育て支援法(平成24年法律第66号)に基づく新たな子ども・子育て支援の制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています(平成27年度から実施予定)。

本調査は、この計画で確保を要するべき小学生の放課後の過ごし方に対する支援の「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答いただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただければ幸いです。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした養育形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区はどれになりますか。(あてはまる番号1つに○)

- 下戸田地区(喜沢・喜沢南・中町・下戸田・下町・川原1~2丁目)
- 上戸田地区(上戸田・大字上戸田・本町・南町・戸田公園・川原3丁目)
- 新曽地区(大字新曽・新曽南・友川町・大字下町)
- 春日地区(草津・春日・春日南町・春日北町)
- 美木地区(美木本・大字美木本・美木本末)

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。 年(口内に数字で記入)  
平成  年  月  日

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。  
宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字で記入してください。  
※お子さんが2人以上の場合は、末子の生年月日をご記入ください。(口内に数字で記入)  
きょうだい数  人 末子の生年月日 平成  年  月  日

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

- 母親
- 父親
- その他( )

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。  
(あてはまる番号1つに○)

- 配偶者がいる
- 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に持っているのはどなたですか。  
※お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- 父母ともに
- 主に母親
- 主に父親
- 主に祖父母
- その他( )

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親 (あてはまる番号1つに○) ※父子家庭の場合は記入不要です

- フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、  
産休・育休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、  
産休・育休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、  
産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒ (1)-1へ  
⇒ (2)へ

(1)-1 (1)で「1.」~「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
適当な「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をお答えください。  
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり  日 1日当たり  時間

(1)-2 (1)で「1.」~「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。  
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。  
※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。  
※時刻は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。

家を出る時刻  時  分 帰宅時刻  時  分

(2) 父親 (あてはまる番号1つに○) ※母子家庭の場合は記入不要です。

- フルタイム(週5日程度・1日8時間程度)で就労しており、  
産休・介護休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、  
産休・介護休業中ではない
- パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しているが、  
産休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない

⇒ (2)-1へ  
⇒ 問14へ

(2)-1 (2)で「1.」~「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」をお答えください。  
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
※産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり  日 1日当たり  時間



## 戸田市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書

---

発行日 平成 26 年 3 月  
発行元 戸田市子ども青少年部子ども家庭課  
住 所 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田 1 丁目 1 8 番 1 号  
連絡先 TEL 048-441-1800 (代表) FAX 048-432-8510